



建物ビルダー操作マニュアル

2026年5月11日 第3版

このテキストは2026年5月時点の内容です。
今後バージョンアップなどで内容が変わることがあります。
最新のテキストは [O7CAD WEBマニュアル](#) をご覧ください。

目次

建物ビルダーとは.....	3
建物デザイナーをご使用頂いていたお客様へ.....	4
作図の流れ.....	6
作図手順.....	6
建物基礎作成.....	6
玄関位置設定.....	7
①自動作成.....	8
作成と配置.....	8
②手動作成.....	10
変更点を確認：作成したい建物の情報を用意しましょう。.....	10
基本機能.....	12
リアルタイムパース.....	13
保存する.....	16
レイヤの選択.....	17
1階を編集する.....	18
サッシの変更.....	18
ドア・サッシの選択.....	18
サッシの移動・複製・削除.....	19
サッシのサイズ変更.....	20
サッシの入力.....	21
サッシの種類.....	21
2つの入力方法の特徴.....	21
サッシの入力方法.....	22
方法1 配置前に詳細を設定してから配置する.....	22
方法2 決まった規格のサッシを配置後、詳細設定する.....	26
サッシのオプション設定.....	27
壁の作成.....	28
壁の選択・移動・変形・削除.....	29
家具の入力.....	31
家具の選択・移動・複製・削除.....	33
家具の回転.....	35
2階を編集する.....	36
レイヤを変更する.....	36
壁の変更.....	37
サッシの変更.....	37
【サッシのサイズを変えたら、思った高さにならなかった場合】.....	39
バルコニーの作成.....	40
屋根の作成.....	41
屋根を作る.....	41
パラペットを作る.....	44
07CADへ書き出す.....	45

再編集の仕方.....	46
基本操作 詳細説明.....	47

※本書は、操作手順をまとめた「操作マニュアル編」と、各機能の詳細仕様・補足説明をまとめた「リファレンス編」の2部構成となっています。

- 操作マニュアル：P1～47
- リファレンス：P48以降（Ref 1～Ref 158）

操作マニュアルをご確認のうえ、詳細情報が必要な場合はリファレンス編をご参照ください。

建物ビルダーとは

建物デザイナーを超えた精度を実現！新時代の本格ツール「建物ビルダー」



建物表現を、もっと自由に。

魅力的なエクステリア提案には、建物のリアルな表現が重要です。

建物ビルダーは、累計7万ダウンロードを誇るプロ向け間取り作成アプリ「SpeedPlanner」をベースに、画面デザインやコンテンツ、屋根機能を刷新したO7CAD連動の建物作成ソフトです。

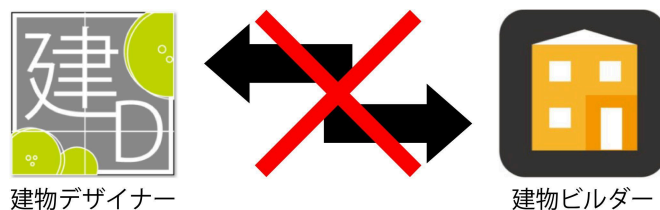
壁厚の自由変更と内外壁の自動描き分け、サッシのサイズ・オプション設定後の配置、バルコニーの壁接続、補助線の配置などに対応。

屋根面の個別編集による複雑な屋根形状への対応や、基礎形状の後から調整、垂れ壁アーチの作成など、建物形状を柔軟に作成できます。

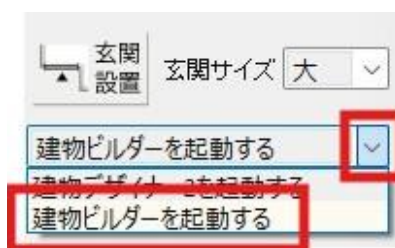
※SpeedPlannerで作成したデータは建物ビルダーにスムーズに取り込むことができます。
SpeedPlannerでは手書き感覚で間取りを作成でき、そのまま外構プランへ反映することが可能です。

建物デザイナーをご使用頂いていたお客様へ

建物デザイナーで作成した建物データを建物ビルダーで編集することはできません。



どちらもインストールされている場合はソフトの選択ができるようになっています。基本的に【建物ビルダー】を選択した状態で使用してください。



建物デザイナーで作成したものは、選択欄で【建物ビルダー】を選択していても【建物デザイナー2】が起動します。その為データが初期化されてしまう心配はありません。



作図練習

作図の流れ

建物ビルダーで建物を作成する流れは2通りあります。

- ①**自動作成**：基礎を元に自動で建物を作成します。
「基礎形状に合った何となくの建物があればよい」という方向け。
- ②**手動作成**：自動作成した建物を編集して作成します。
「手元にある資料に沿って建物を再現したい」「自由に思うような建物を作成したい」という方向け。

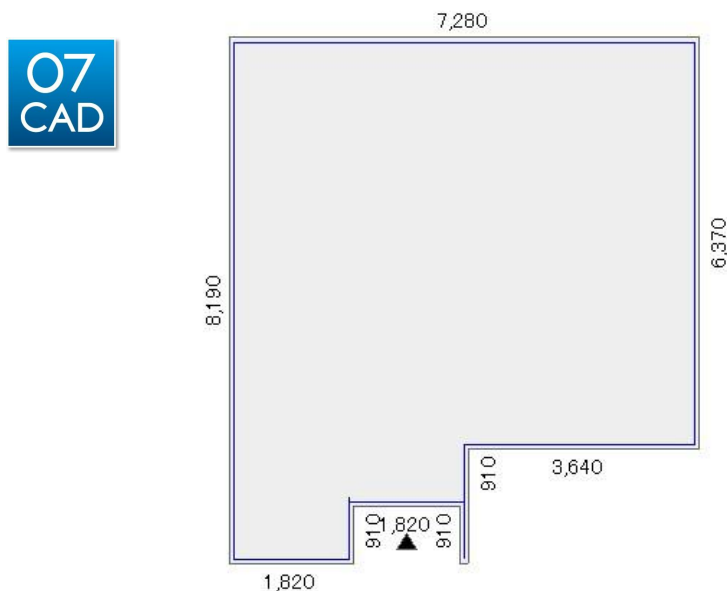
作成後、以下の作業はO7CADで行います。

- 建物にテクスチャを貼る
- 建物入りのパースを撮る

作図手順

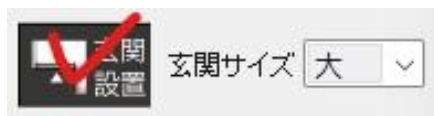
建物基礎作成

1. O7CADを起動し、基礎を作成します。

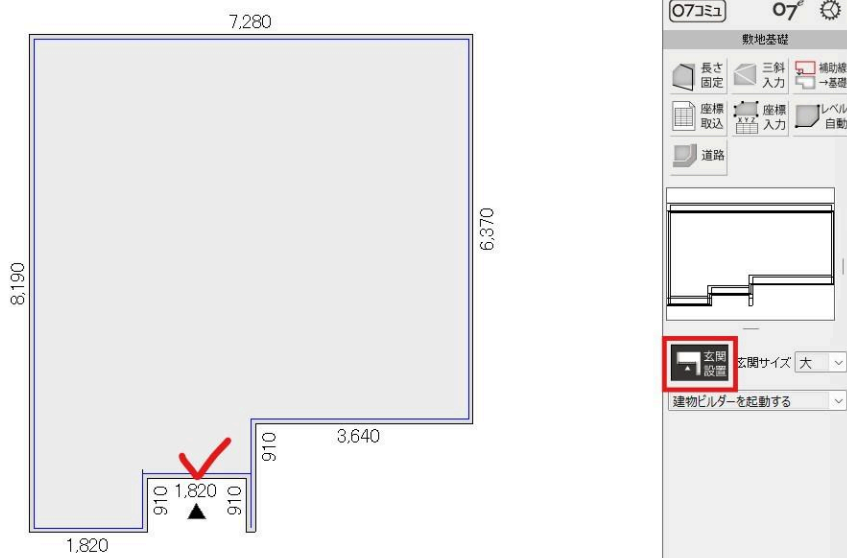


玄関位置設定

1. 玄関設置ボタンをクリックして選択します。



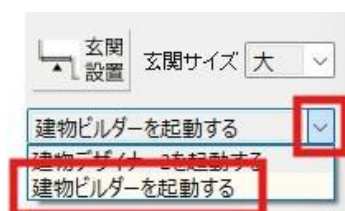
2. カーソルを玄関ドアを設置したい箇所に合わせ、▲がでたらクリックします。
▲が表示され、玄関位置が決まります。



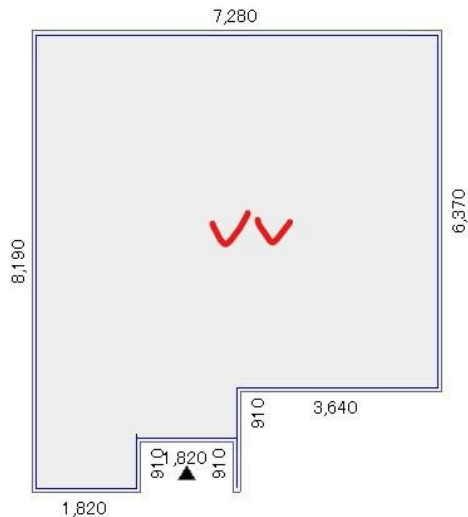
注) 間口が1820より狭い場合は、画面右の玄関サイズ「大」の隣の▼をクリックし、「小」を選択してから入れなおしましょう。910より狭い辺に玄関を設置することはできません。



3. 画面右の【建物ビルダーを起動する】を選択します。



- 基礎をダブルクリックします。



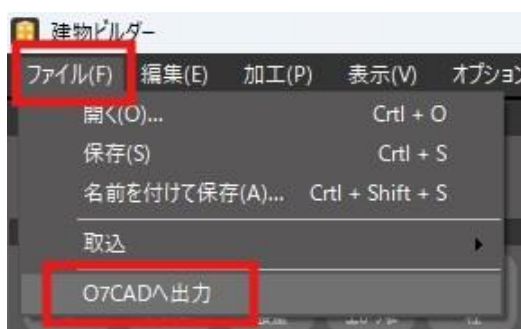
- [①自動作成](#) または [②手動作成](#) で建物を作ります。

①自動作成

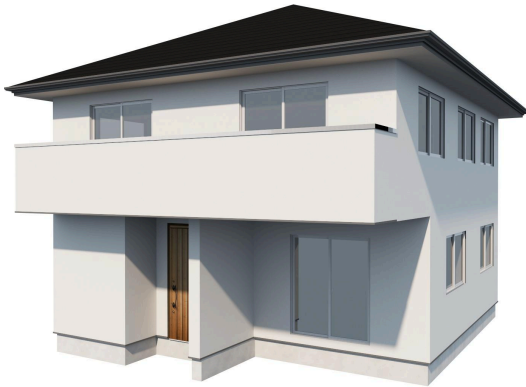
基礎を元に自動で建物を作成します。「基礎形状に合った何となくの建物があればよい」という方向けの作り方です。変更をしたい場合は[②手動作成](#)を参照してください。

作成と配置

- 「ファイル」メニュー>「O7CADへ出力」をクリック。



2. O7CADに自動作成した建物が出力されます。



3. O7CADでテクスチャの変更などをしてパースを作成してください。



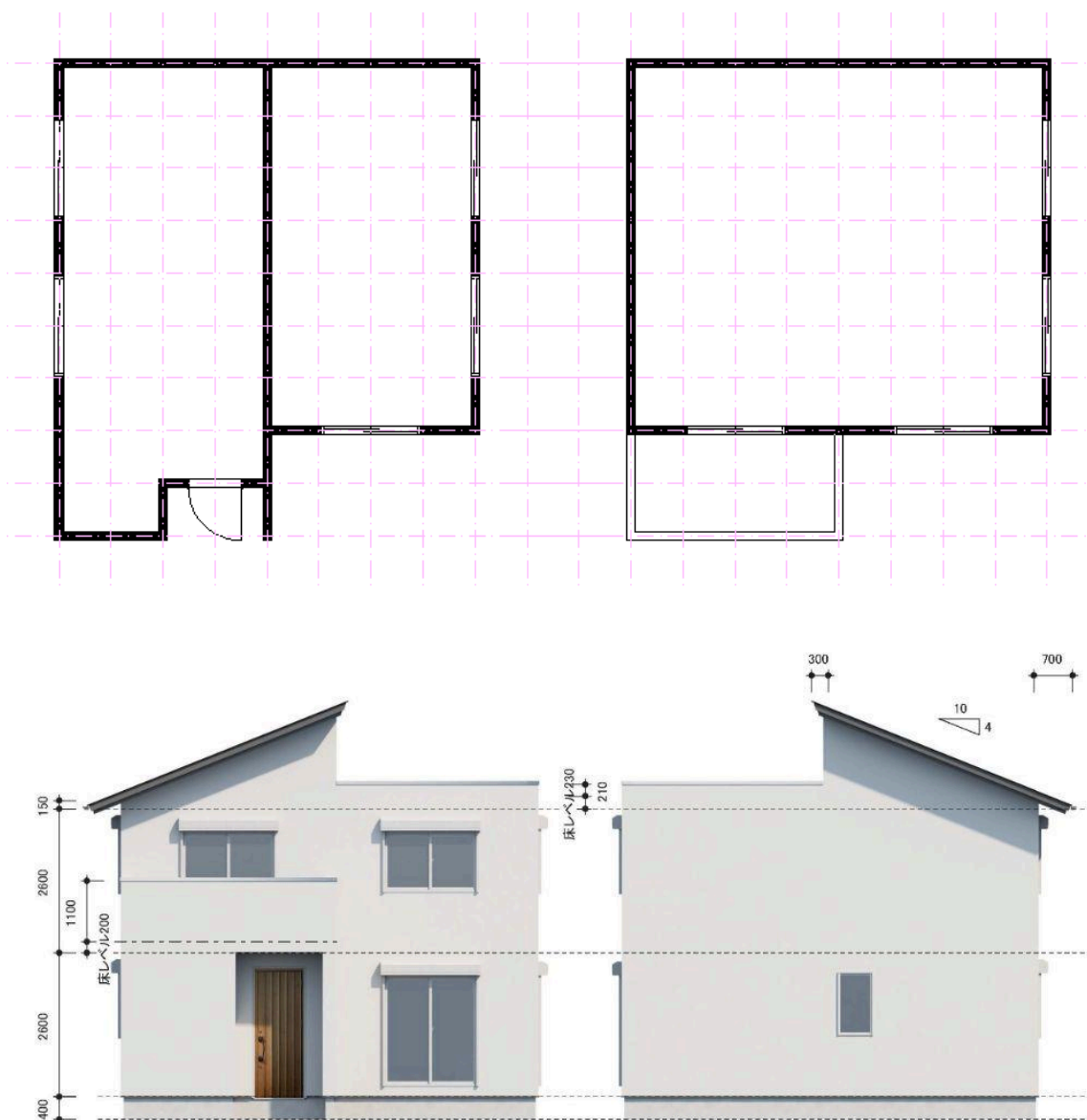
②手動作成

自動作成した建物を編集して作成します。「手元にある資料に沿って建物を再現したい」「自由に思うような建物を作成したい」という方向けの作り方です。自動作成された建物を編集して、建物をイメージに近づけましょう。

変更点を確認：作成したい建物の情報を用意しましょう。

資料（平面図、立面図）を用意しましょう。図面がない場合は外観が分かるもの（写真など）を用意しましょう。

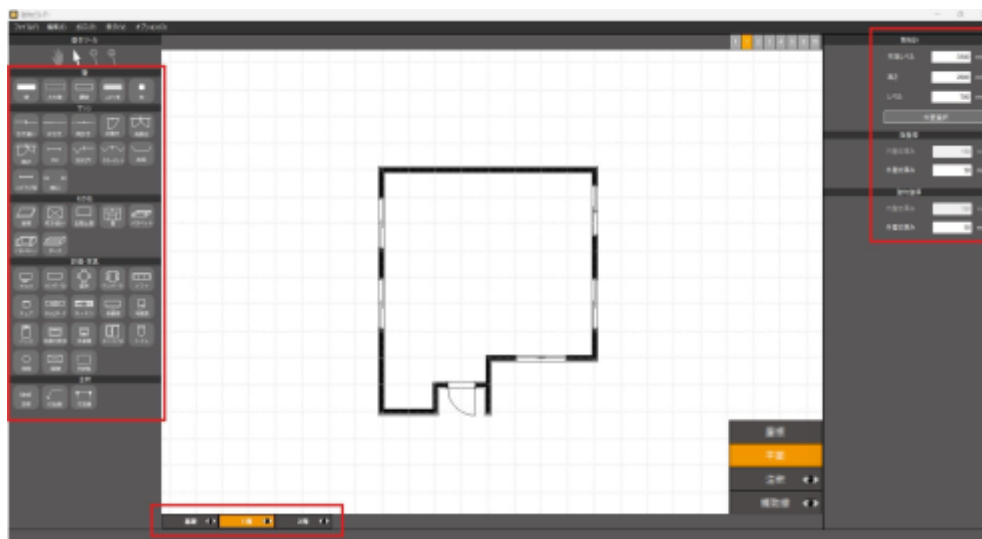
ポイント：「外構の見栄えをよくするため」の建物を作成するのが目的です。そのため資料通りにすべてを作る必要はありません。テラス工事など建物高さや窓のサイズが関係する部分のみ必要に応じて寸法を合わせましょう。





基本機能

建物ビルダーの基本、起動画面の各機能を説明します。



- メニュー
- 基本ツール
- グリッドの分割
- フロアレイヤ（各階の選択）
- 詳細設定

詳しい説明は [O7CAD WEBマニュアル](#) 建物ビルダーを参照してください。

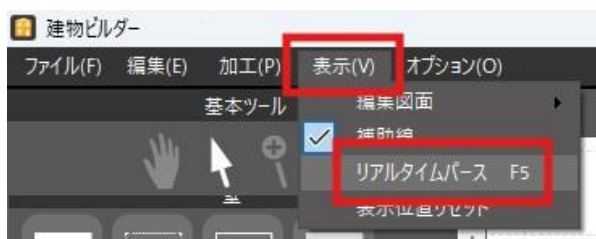
O7CAD画面右上の「O7マーク」を押し、「WEBマニュアル」のURLをクリックすると参照できます。



リアルタイムパース

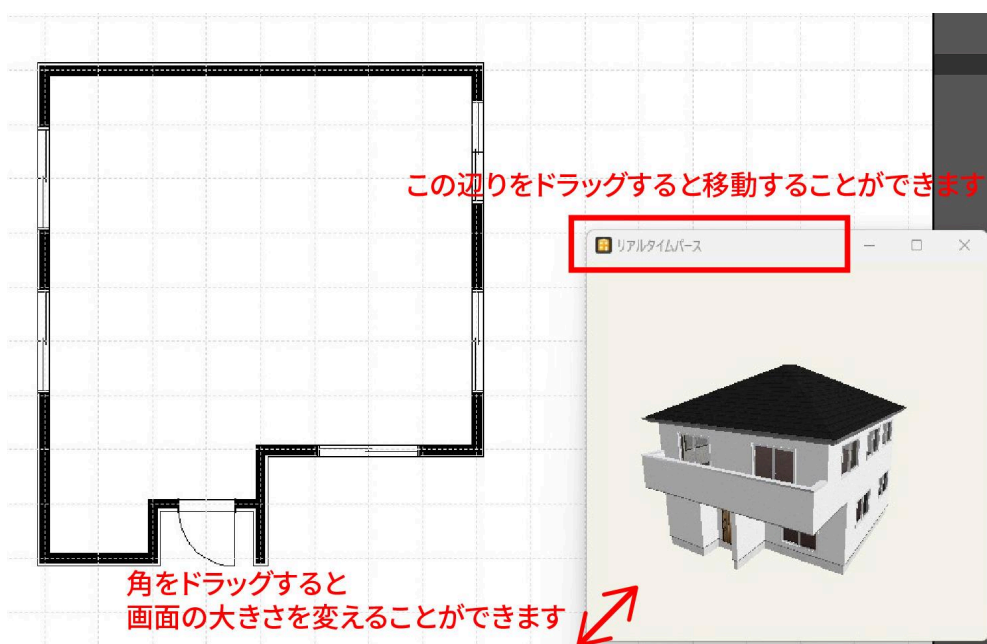
表示させると、作成中の建物をパース（3D）で確認しながら作業を進めることができます。

1. 「表示」メニューの「リアルタイムパース」をクリックします。

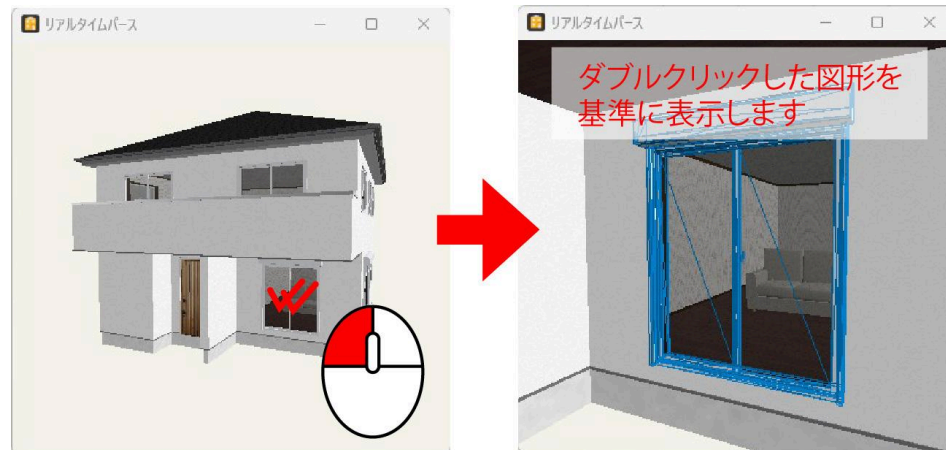


リアルタイムパース画面が開きます。

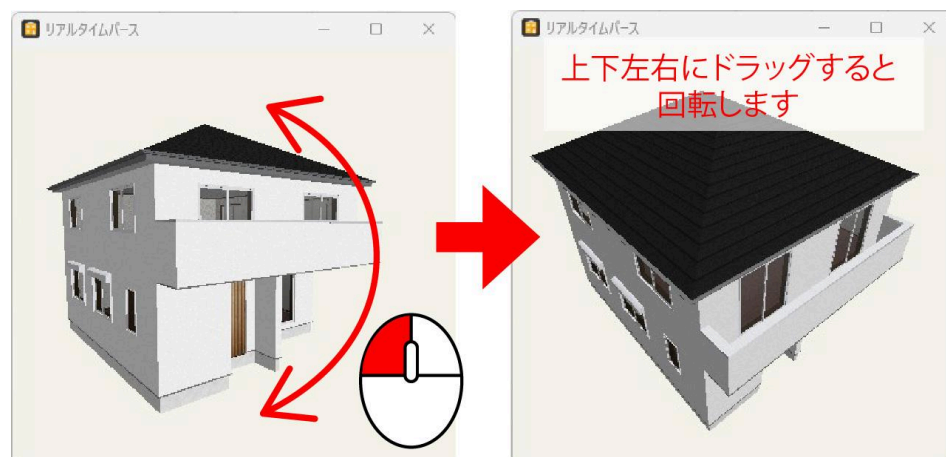
2. 任意の位置に移動させて、完成形を確認しながら作業を進めましょう。



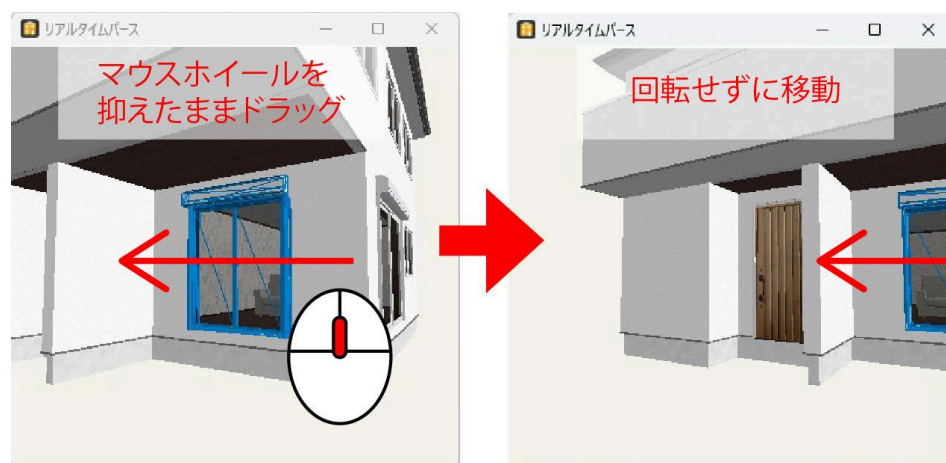
- サッシや壁をダブルクリックすると、その図形が中心にくる位置へ自動表示されます。



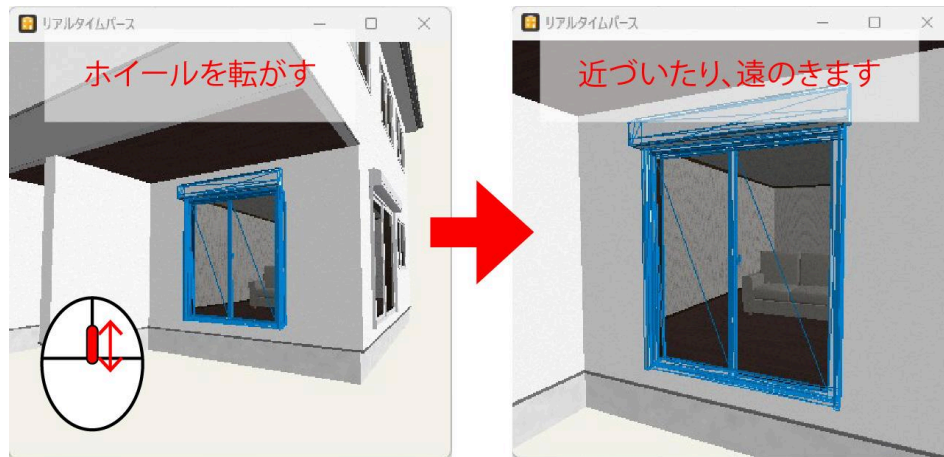
- 上下左右にドラッグすると視点が回転します。



- マウスホイールを抑えたままドラッグすると、回転せずに移動することができます。



- マウスホイールを転がすと近づいたり、遠のいたりします。



保存する

作業を始める前に「保存」します。

1. 「ファイル」メニューの「保存」をクリックします。



2. 保存先を指定してファイル名を入力し「保存」をクリックします。



作業を進めながら定期的に「保存」をしてください。

「名前を付けて保存」ではファイルを複製し、別名で保存することができます。



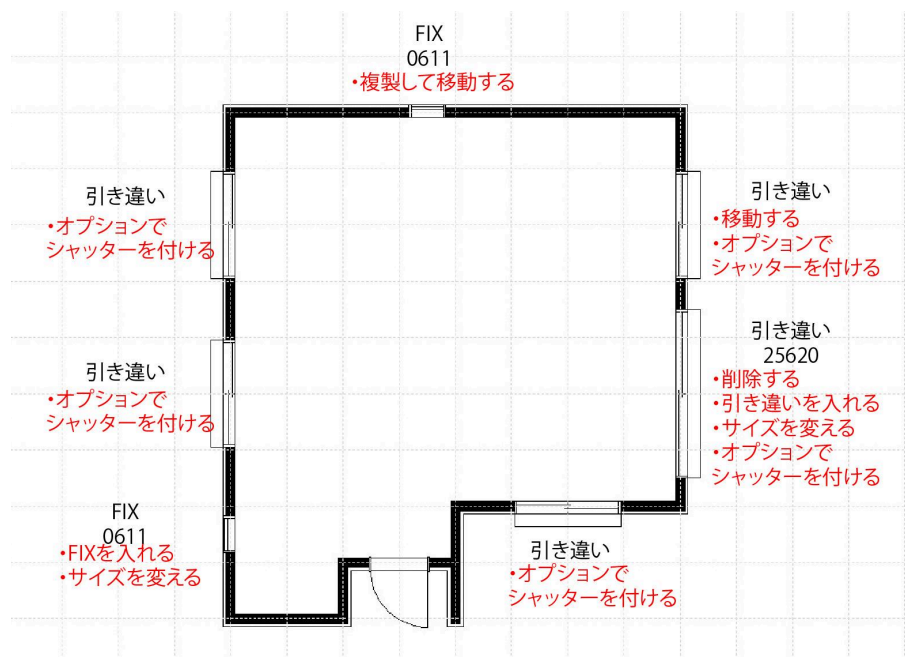
レイヤの選択

平面図下の「1階」をクリック、または リアルタイムパースの1階部分ををクリックすると1階の編集ができます。
編集したいレイヤを選択してから作業を始めてください。



1階を編集する

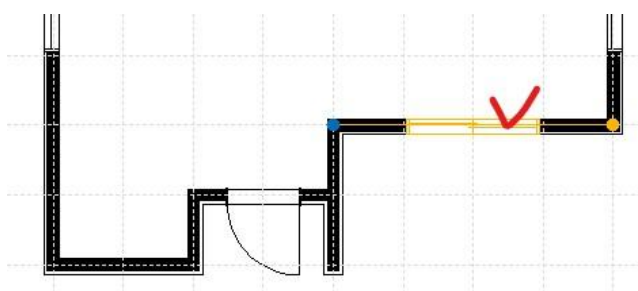
平面図の資料を確認しながら、サッシを入れてみましょう。



サッシの変更

ドア・サッシの選択

1. 基本ツールの \sphericalangle を選択し、変更したいサッシを平面図、またはリアルタイムパースでクリックします。



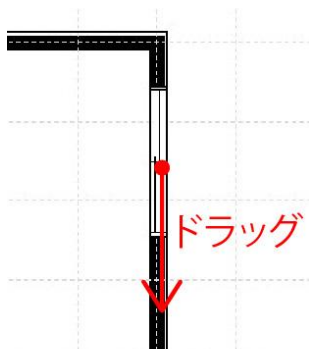
または



選択したドア・サッシの線がオレンジ色になります。

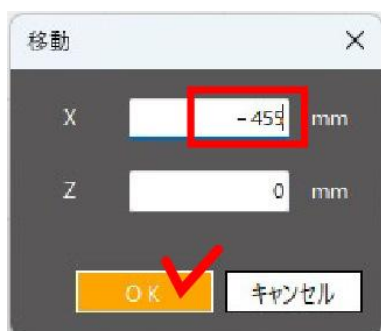
サッシの移動・複製・削除

1. **【移動】** 平面上で、対象のサッシをツールでクリックし、ドラッグで移動ができます。



ドラッグで移動する時はグリッドに吸着しやすくなっています。

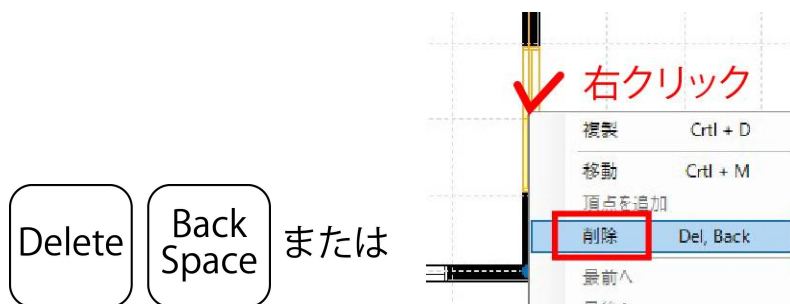
右クリックで「移動」をクリックすると数値指定で移動させることもできます。



2. **【複製】** 対象のサッシをツールで右クリックし、「複製」をクリックすると同じ位置にサッシが複製されます。

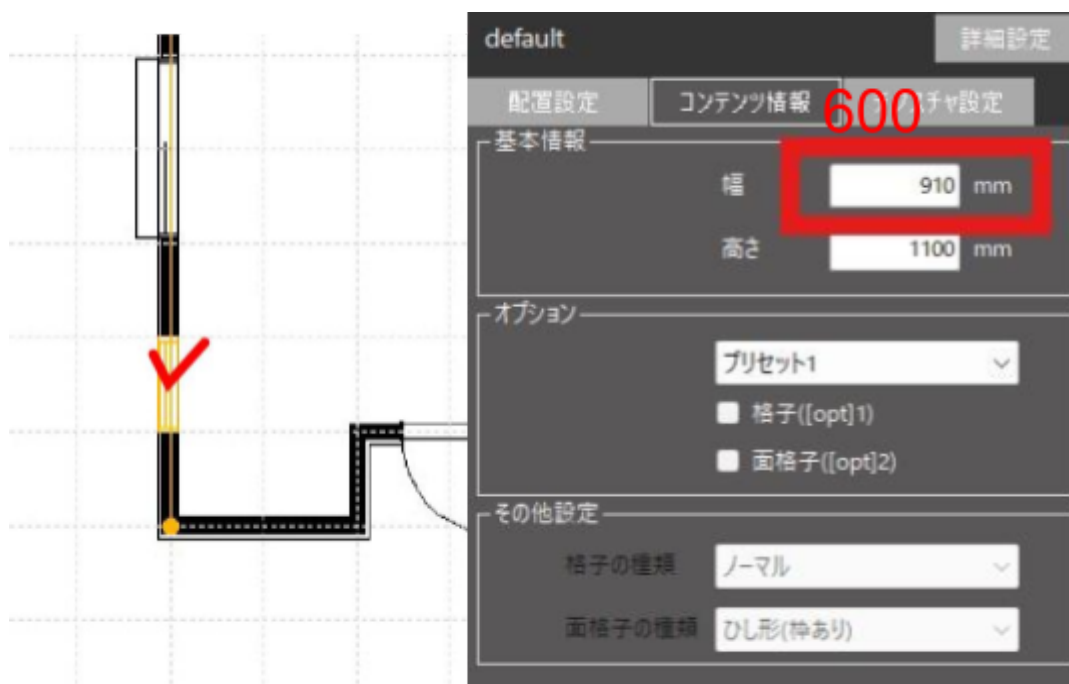


3. **【削除】** 対象のサッシをマツールでクリックし、「Delete」キーまたは「Backspace」を押します。または右クリックし、「削除」をクリックします。



サッシのサイズ変更

1. 対象のサッシをマツールでクリックし、画面右の「基本情報」でサイズを入力しEnterキーで確定します。



サッシの入力

サッシの種類

建物ビルダーのサッシは通常のサッシと特殊なサッシの2種類あります。

(※WEBマニュアル「[サッシの種類](#)」を参照)

サッシの入力方法は2つありますが、特殊なサッシは方法2のみ入力可能です。

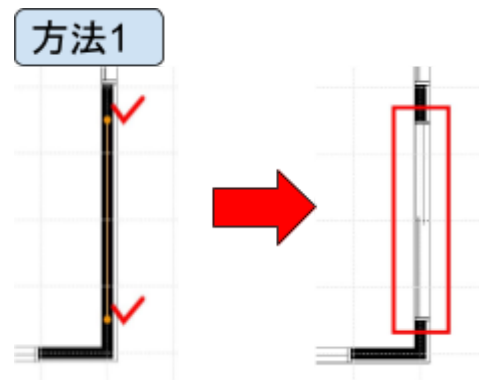
2つの入力方法の特徴

方法1はサイズ、オプション設定、カラー設定などを入力前に設定できます。

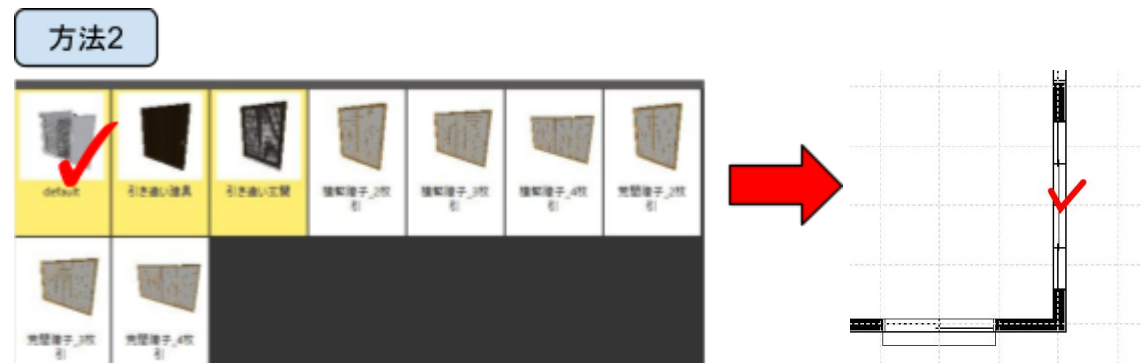
また、2点のクリックでサッシのサイズ、入力範囲を指定できます。

(開口は方法1のみ配置可能です。)

(入力後は画面右の「コンテンツ変更」ボタンで置き換えも可能です。)



方法2は、決まった規格のサッシを入れて、後からサイズやオプションを設定します。



サッシの入力方法

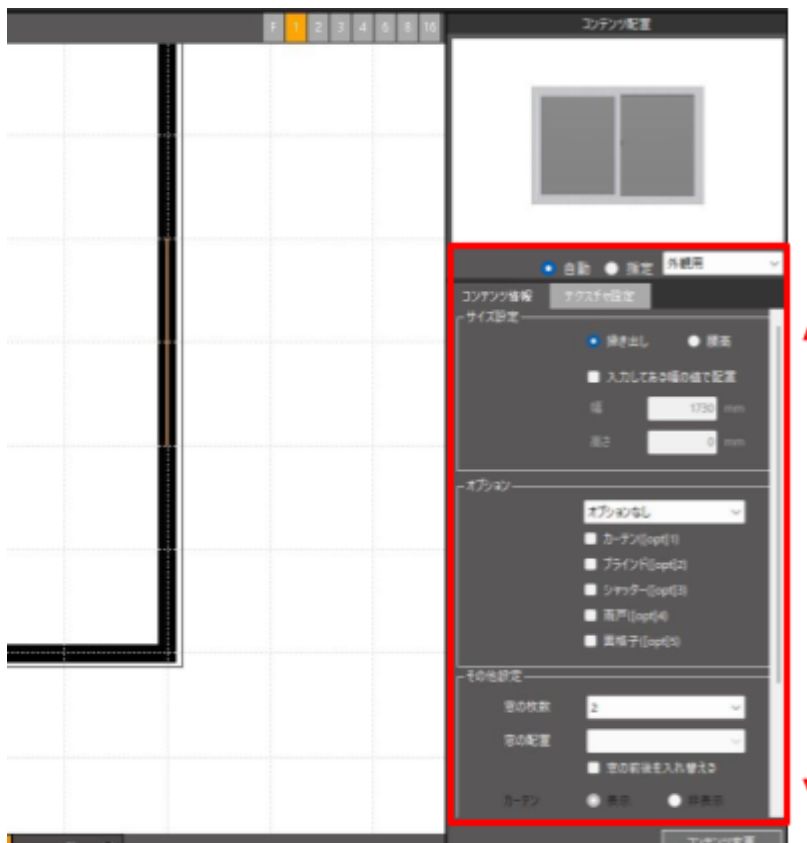
方法1 配置前に詳細を設定してから配置する

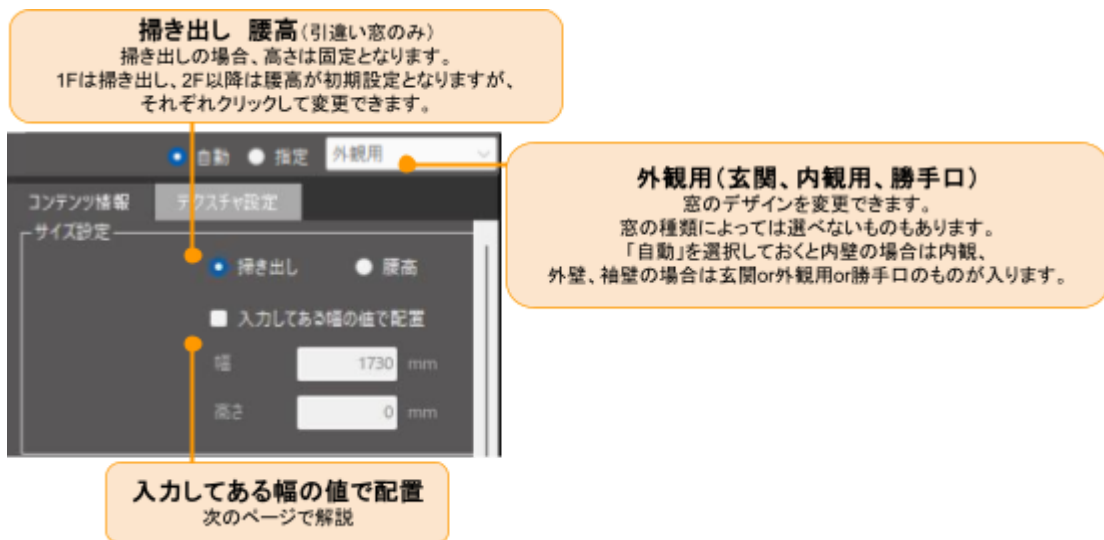
1. 画面左の「サッシ」で入力したいサッシタイプをクリックで選択します。



選択したサッシタイプがオレンジ色になります。

2. 画面右で詳細設定をします。





掃き出し 腰高 (引違い窓のみ)

掃き出しの場合、高さは固定となります。

1Fは掃き出し、2F以降は腰高が初期設定となりますが、それぞれクリックして変更できます。

外観用 (玄関、内観用、勝手口)

窓のデザインを変更できます。窓の種類によっては選べないものもあります。

「自動」を選択しておくとも内壁の場合は内観、

外壁、袖壁の場合は玄関or外観用or勝手口のものが入ります。

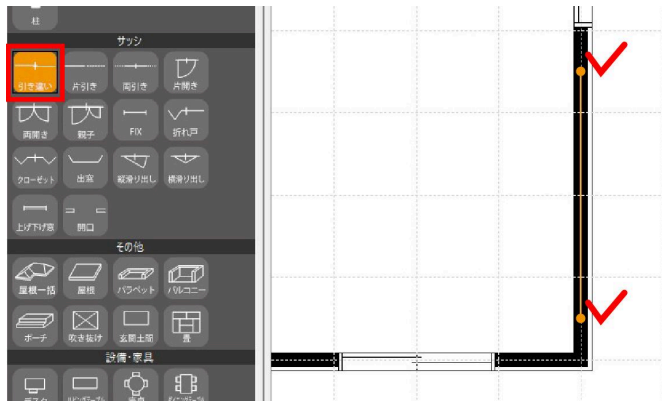
入力してある幅の値で配置

次のページで解説

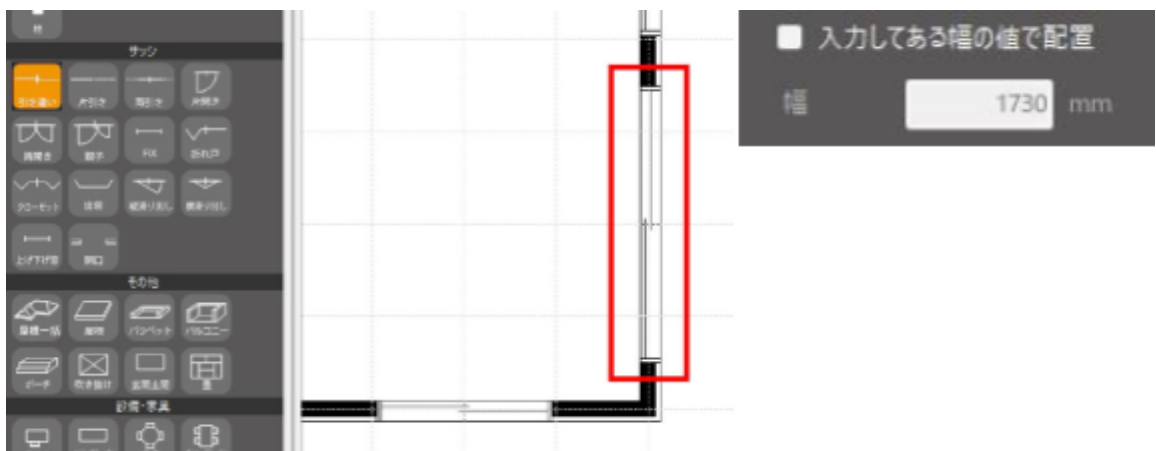
他、詳細設定はサッシごとのWEBマニュアルをご参照ください。

(テクスチャ設定: WEBマニュアル「[サッシのテクスチャ設定](#)」 or 本紙Ref 81を参照)

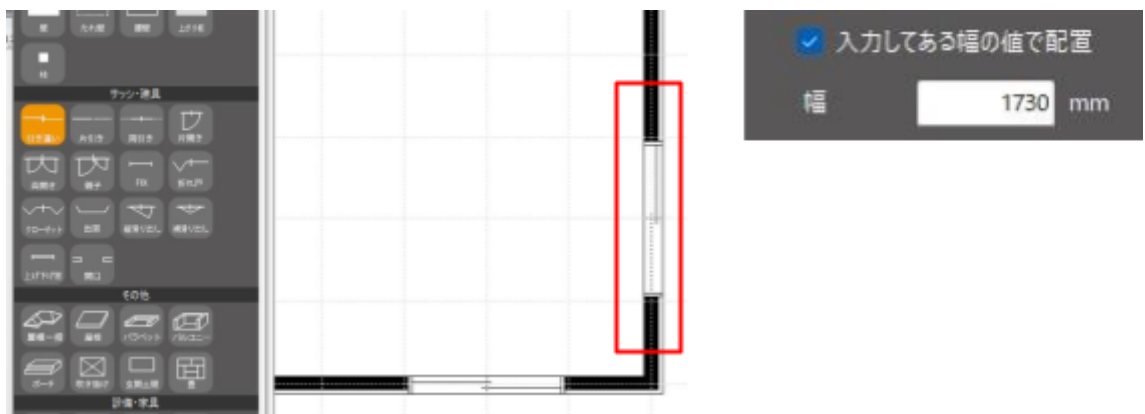
3. サッシを入りたい範囲の端点をクリックで指定します。



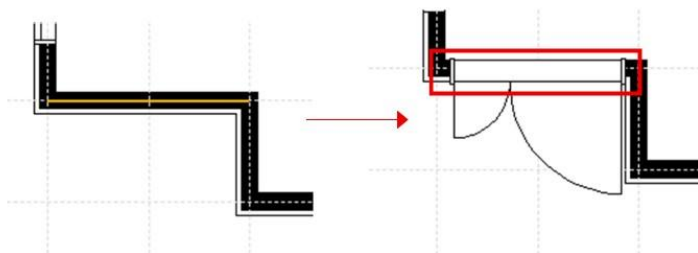
「入力してある幅の値で配置」✓なしの場合
クリックした範囲でサッシが配置されます。



「入力してある幅の値で配置」✓ありの場合
クリックした範囲の中央に、「幅」で入力したサイズのサッシが配置されます。



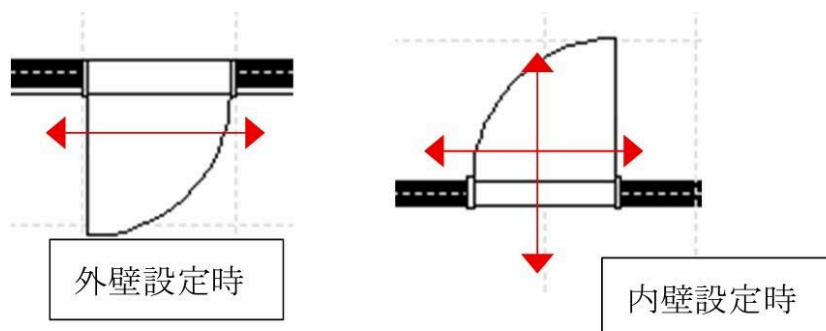
壁辺と同じ長さで入力した際は、壁の厚み分内部に設定されるようサイズが自動調整されます。



4. 扉の向きを指定します。

内壁の場合は、左右の扉の向きに加え、内開き・外開きを含めた4方向から指定できます。

外壁の場合は、左右の扉の向きによる2方向から指定します。



5. 作成が終わったら矢印ツールに戻しておきましょう。



方法2 決まった規格のサッシを配置後、詳細設定する

1. 画面左の「サッシ」で入力したいサッシタイプをクリックで選択します。

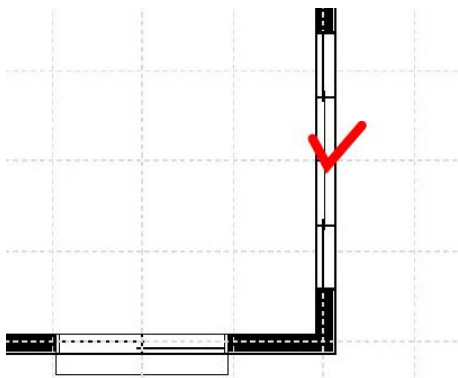


選択したサッシタイプがオレンジ色になります。

2. 画面右の「コンテンツ変更」をクリックし、一覧からサッシを選びます。
「開く」をクリックします。(出窓の場合、自動的にコンテンツ選択画面がでます)



3. サッシを入りたい位置をクリックします。



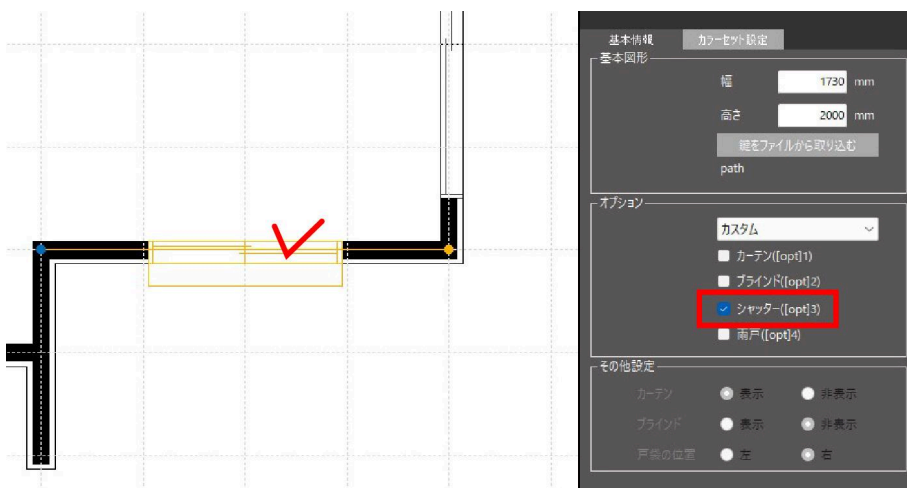
4. 作成が終わったら矢印ツールに戻しておきましょう。



サッシのオプション設定

シャッター、カーテン、雨戸、格子などサッシに付属するパーツを取り付けることができます。

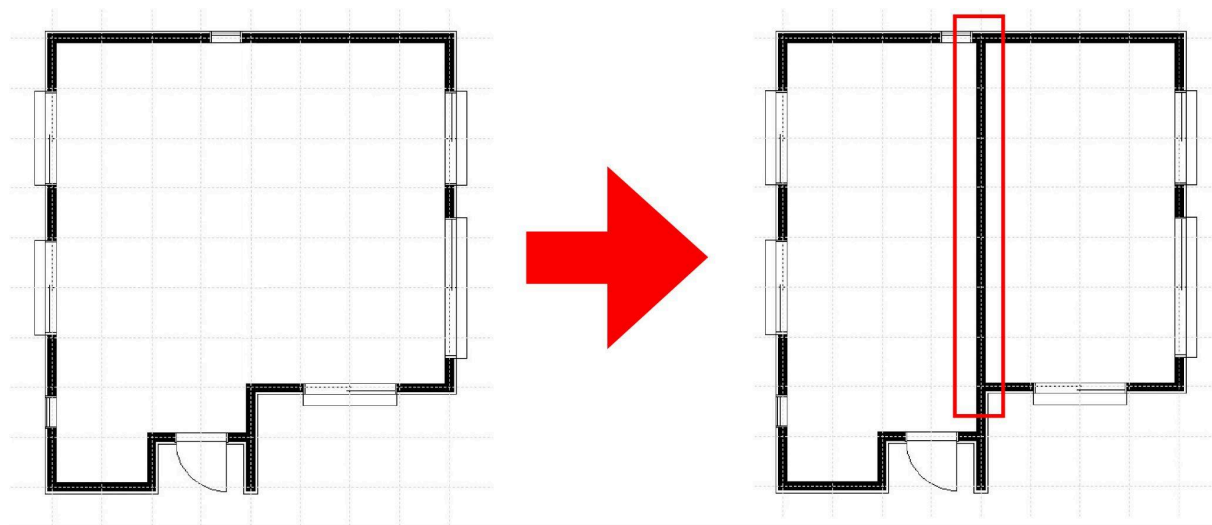
1. 対象のサッシをマウスツールでクリックして選択し、画面右の「オプション」で取り付けた項目にチェックを入れます。



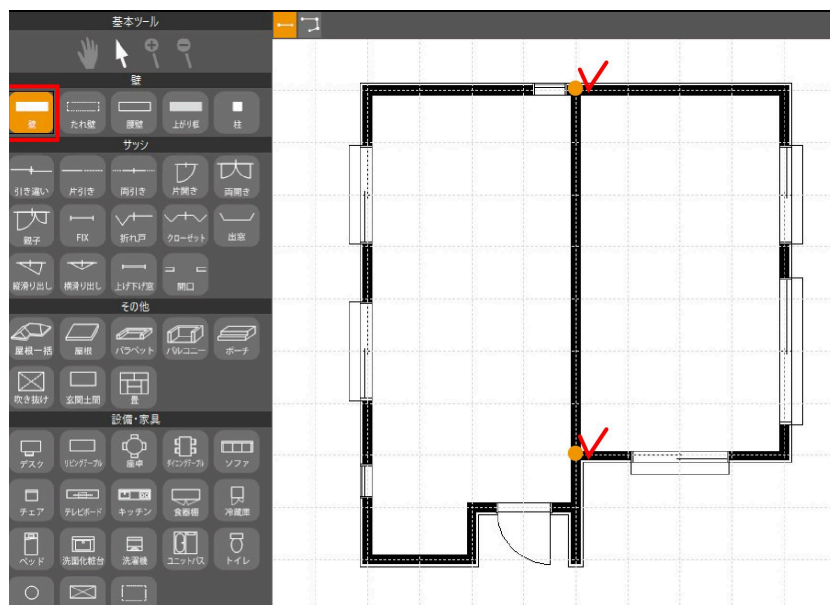
作業が一区切りしたところで、「ファイル」メニューの「保存」をクリックします。

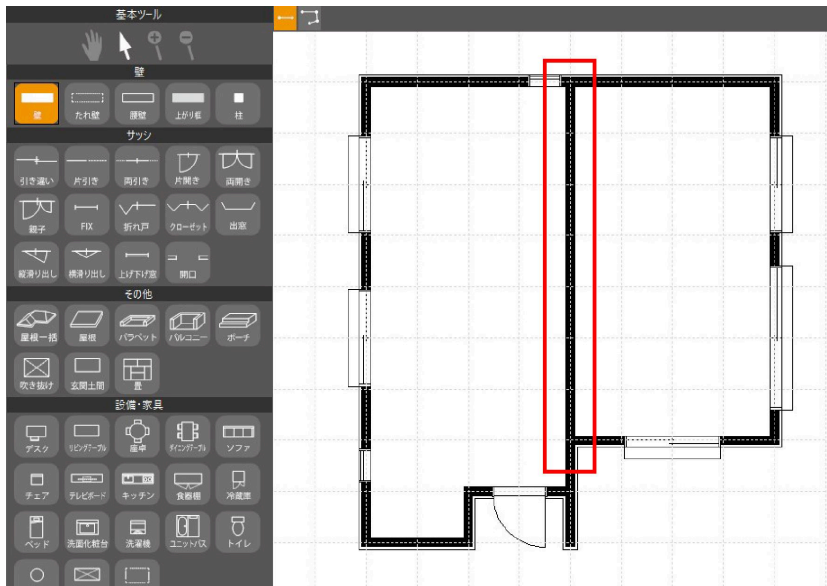
壁の作成

1階の中央に壁を作ると居室の雰囲気が出ます。掃き出し窓や室内からお庭を見たい位置を考慮して作成すると雰囲気を出しやすくなります。



1. 壁ツールの「壁」をマウスでクリックし、作成範囲の端点をクリックで指定します。

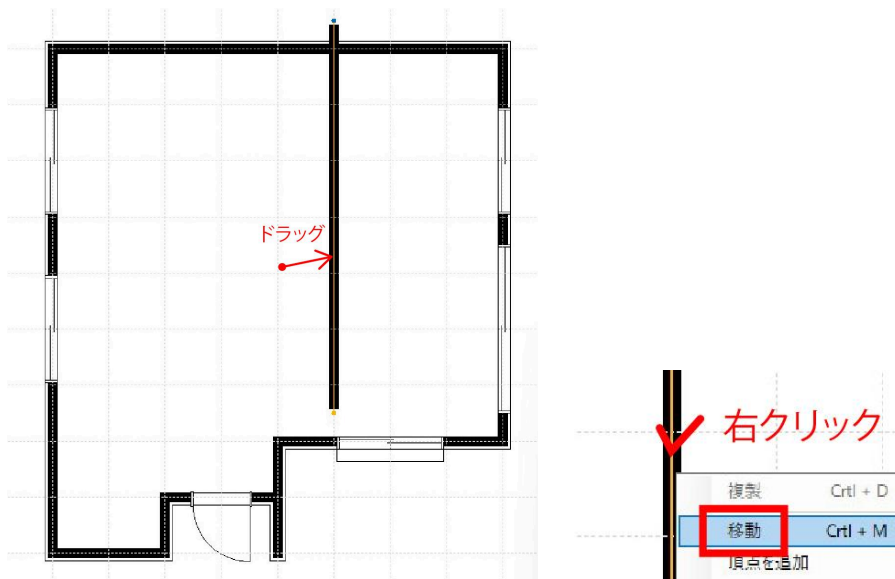




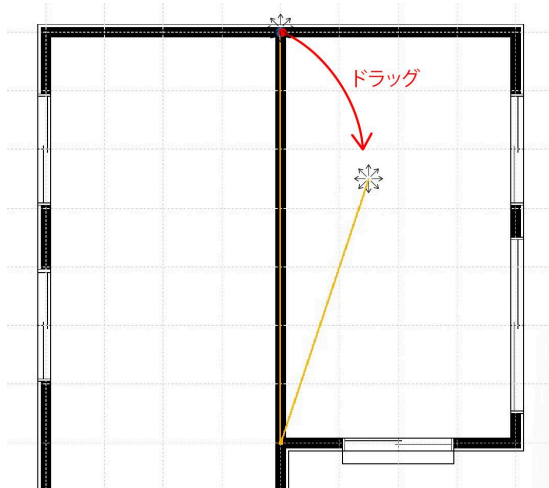
壁の選択・移動・変形・削除

1. 【選択】対象の壁をツールでクリックすると選択ができます。選択した壁にはオレンジ色の線が表示されます。また、Shift+クリックや範囲選択でオブジェクト単位で複数選択できます。(※WEBマニュアル「[複数選択](#)」 or 本紙Ref 10を参照)

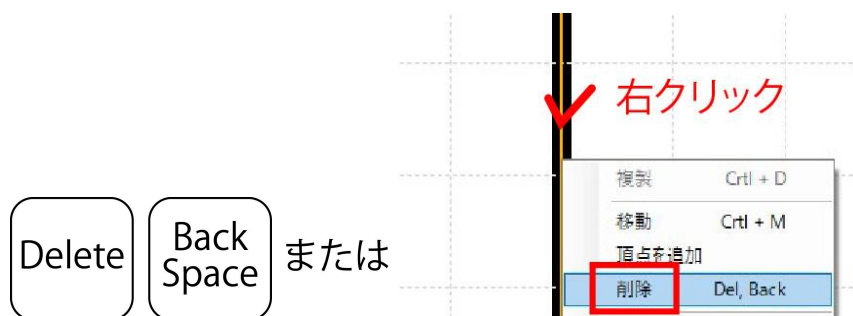
2. 【移動】 対象の壁をツールでクリックし、右クリックまたはドラッグで移動ができます。



3. 【変形】 対象の壁をツールでクリックし、端点をドラッグで長さの変更、変形ができます。

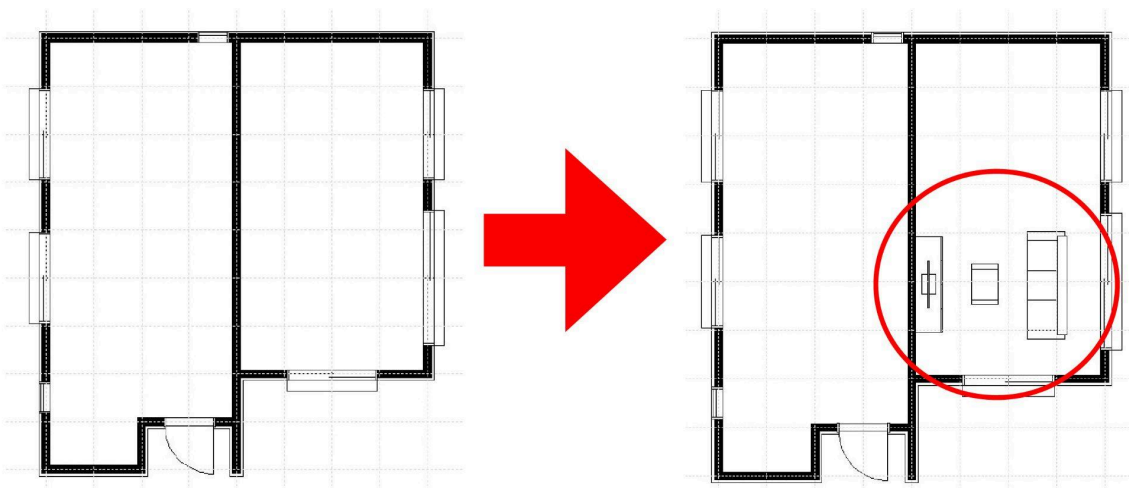


4. 【削除】対象の壁をツールでクリックし、「Delete」キーまたは「Backspace」を押します。または右クリックし、「削除」をクリックします。



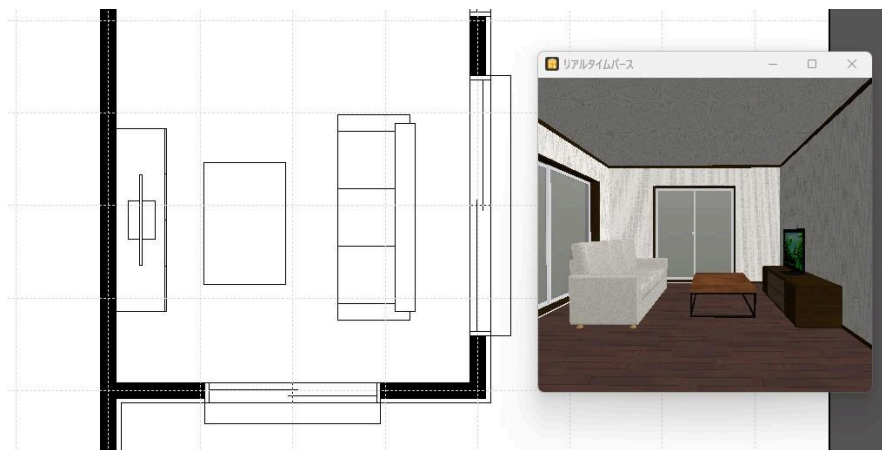
家具の入力

壁を作成後に家具を入れるとよりイメージが伝わりやすくなります。
いくつか家具を入れてみましょう。



- ソファ
- リビングテーブル
- テレビボード など

配置参考例

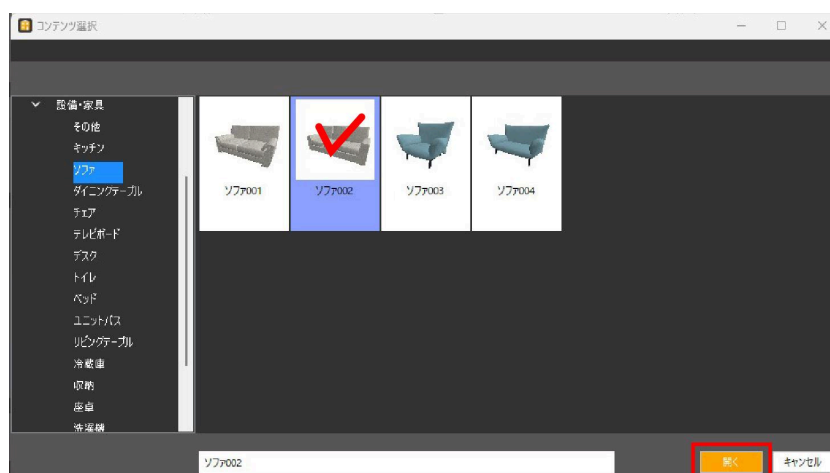


1. 画面左の「設備・家具」で入力したい家具タイプをクリックで選択します。

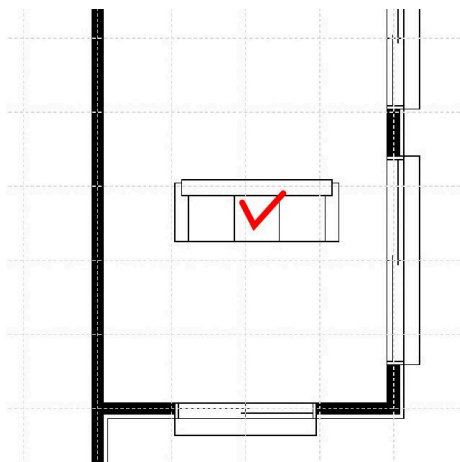


選択したタイプがオレンジ色になります。

2. 入れたい家具をクリックで指定します。

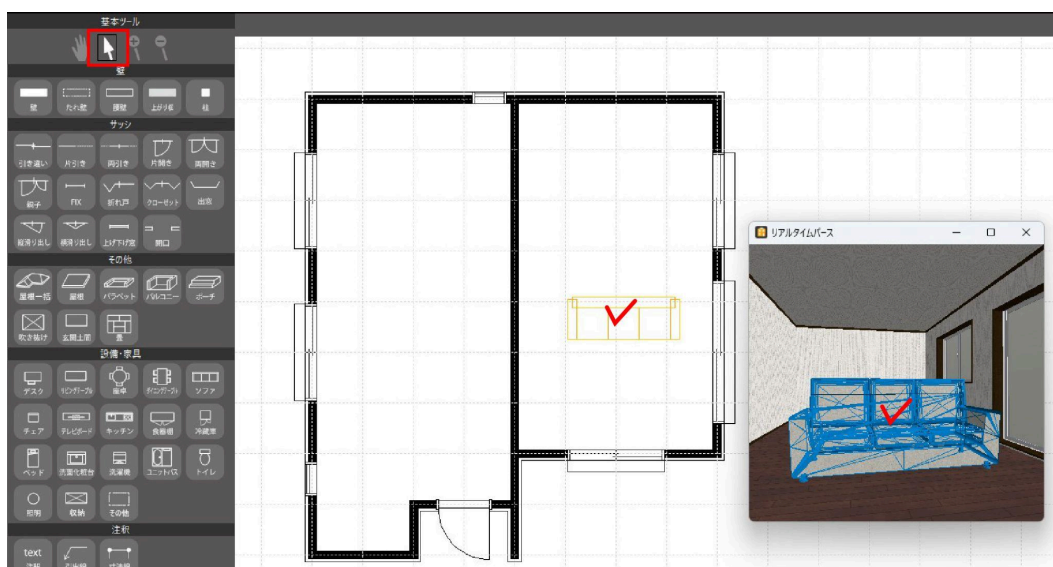


3. 家具を入力したい位置をクリックします。

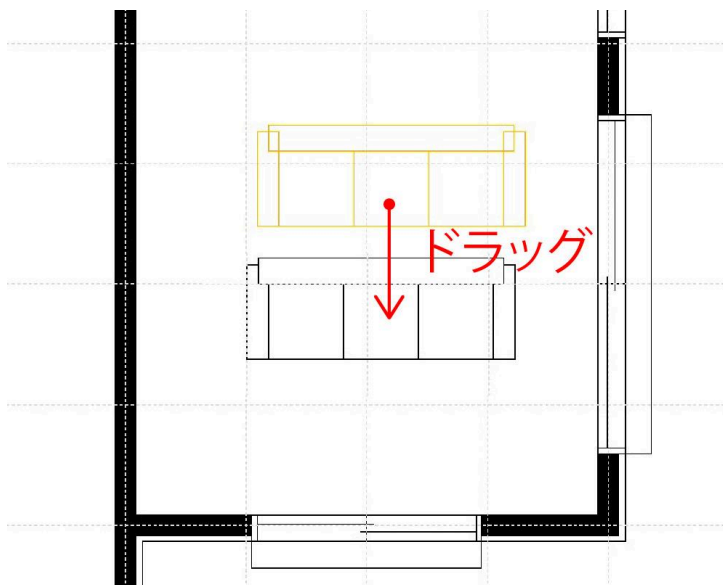


家具の選択・移動・複製・削除

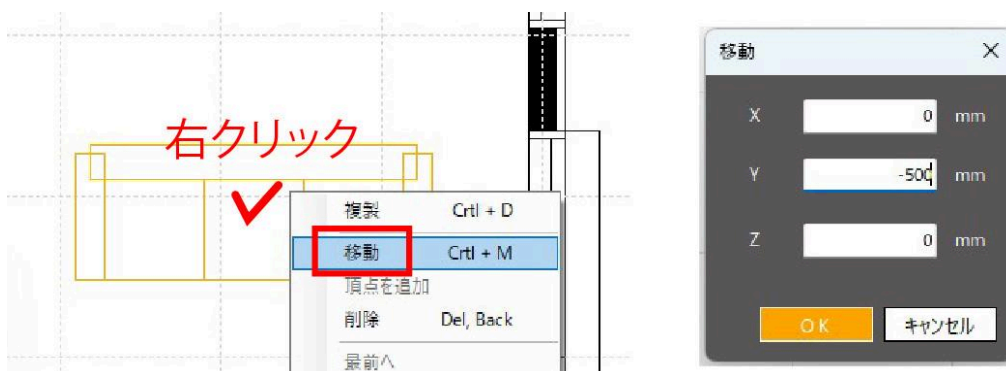
1. 【選択】画面左の基本ツールの☞を選択し、選択したい家具を平面図、またはリアルタイムパースでクリックします。
また、Shift+クリックや範囲選択でオブジェクト単位で複数選択できます。
(※WEBマニュアル「[複数選択](#)」 or 本紙Ref 10を参照)



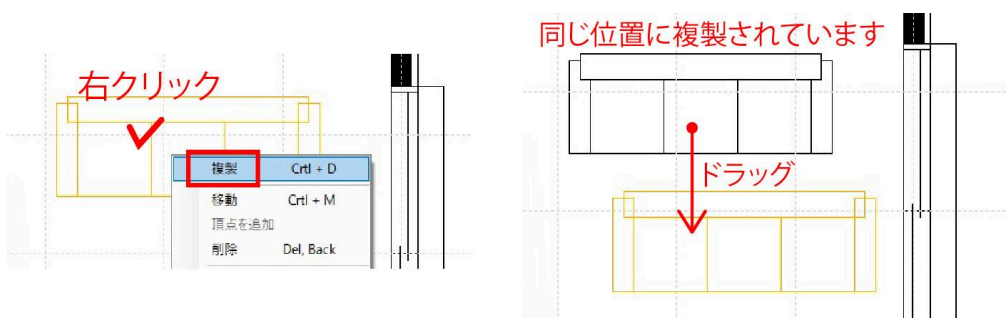
2. 【移動】対象の家具をツールでドラッグして移動ができます。



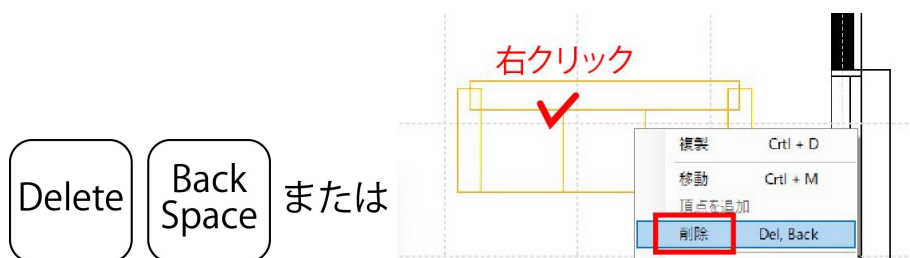
右クリックで「移動」をクリック、または「編集メニュー」→「移動」で数値指定して移動できます。



3. 【複製】対象の家具をツールで右クリックし、「複製」をクリックまたは「編集メニュー」→「複製」で同じ位置に家具が複製できます。



4. 【削除】対象の家具をマウスでクリックし、「Delete」キーまたは「Backspace」を押します。または右クリックし、「削除」をクリックします。



家具の回転

1. 家具を選択し、「加工」メニューから「回転」を選択します。「角度指定」「90度もしくは180度回転」のいずれかをクリックして角度を変更します。



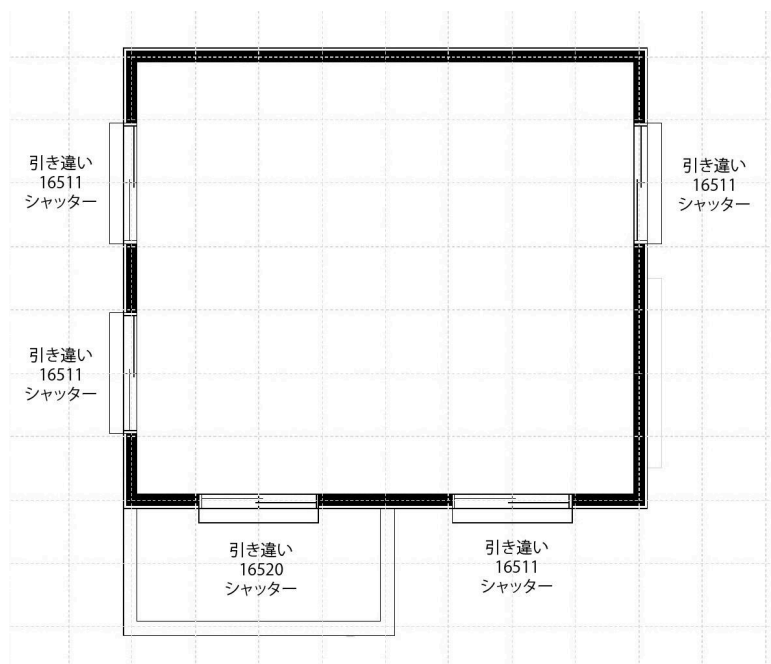
【角度指定】 指定した角度で回転します。

【90度もしくは180度回転】 選択したコンテンツを90度（壁の場合は180度）回転させます。

作業が一区切りしたところで、「ファイル」メニューの「保存」をクリックします。

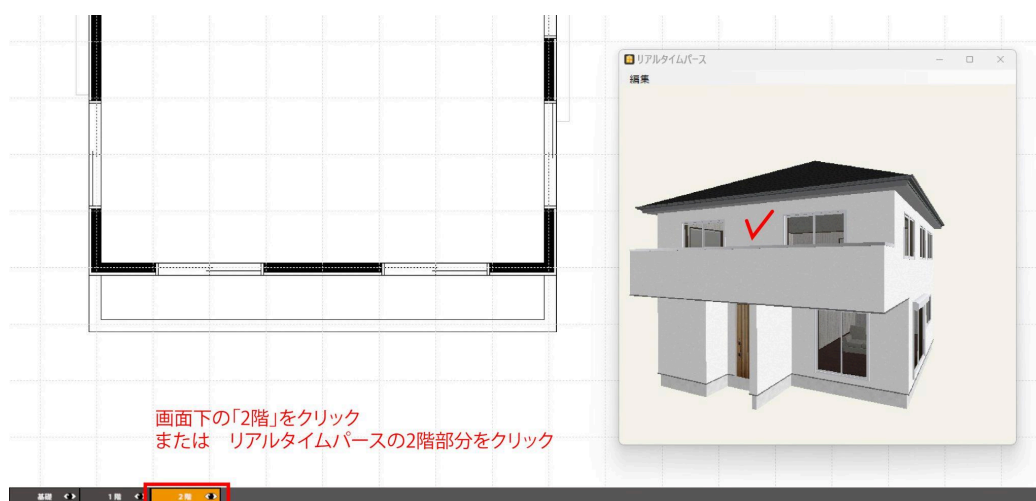
2階を編集する

下図のように2階の壁、バルコニーの形状、サッシを変更しましょう。



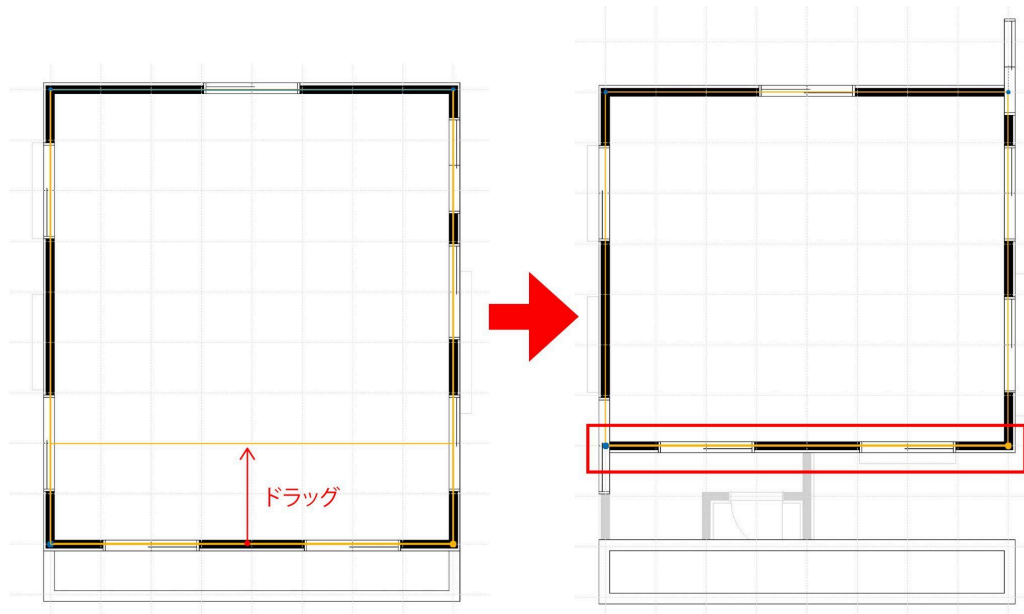
レイヤを変更する

1. 平面図下の「2階」をクリック、または リアルタイムパースの2階部分をクリックします。



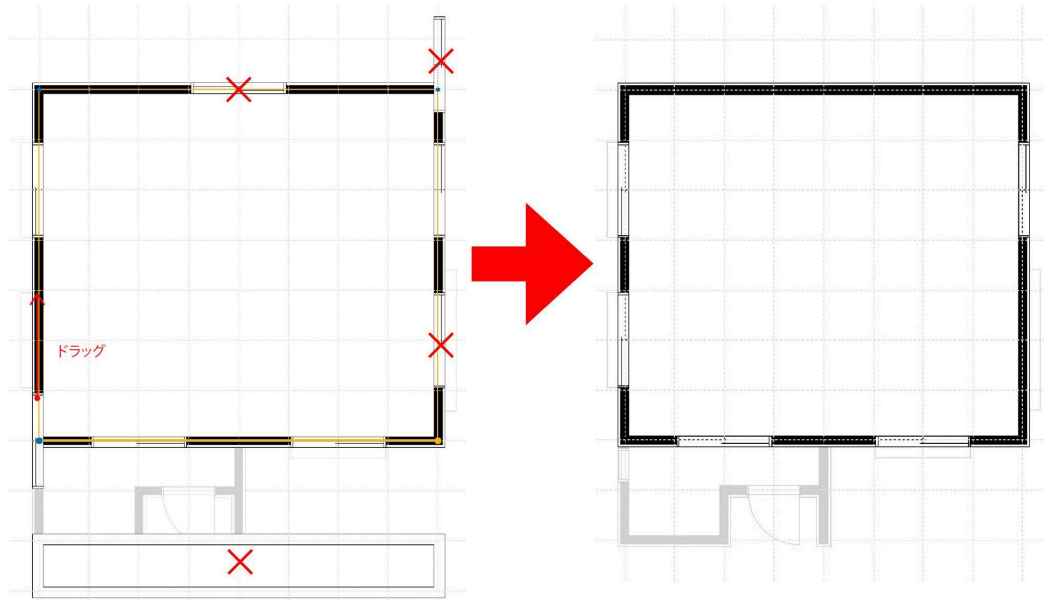
壁の変更

1. 壁を選択し、任意の位置まで移動します。

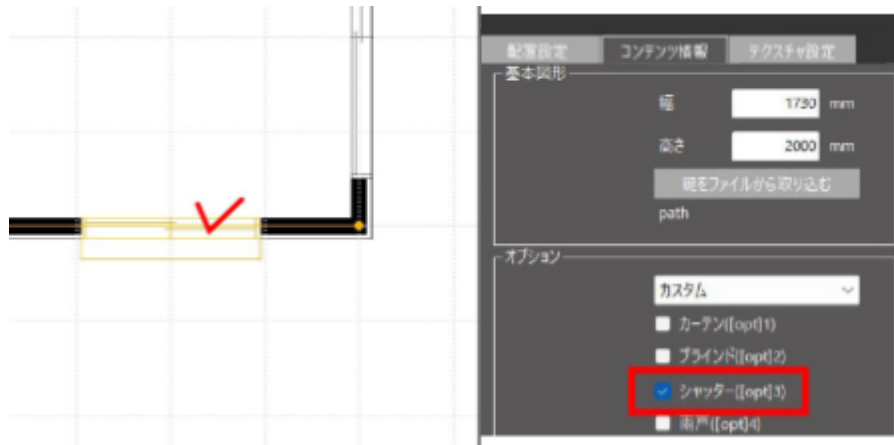


サッシの変更

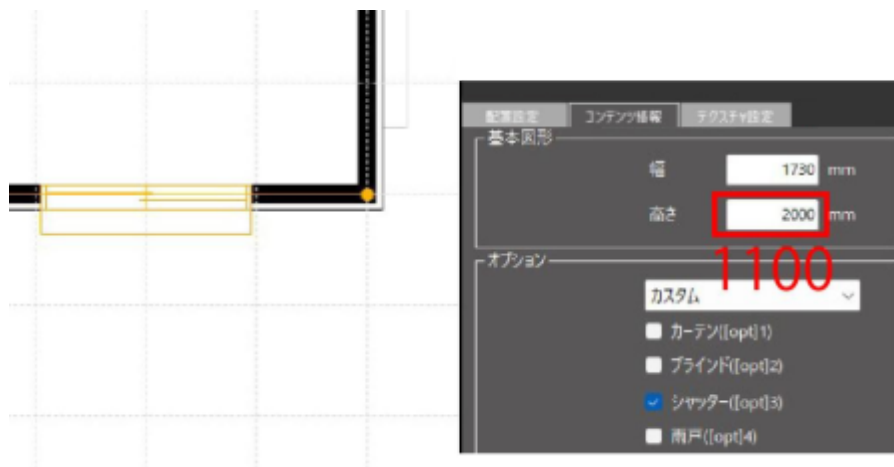
1. 不要なサッシとバルコニーを削除、サッシの位置を移動します。
shiftキーを押しながら選択すると複数選択でき、一度で削除できます。
(複数選択しながら壁内のコンテンツの移動は出来ません。)



2. 各サッシを選択し、オプションでシャッターをつけます。

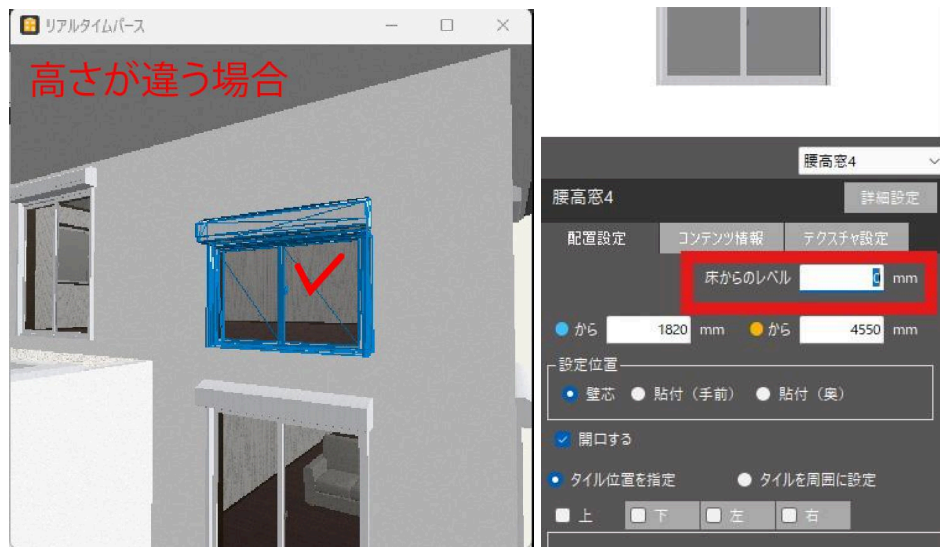


3. 各サッシを選択し、画面右の「基本図形」でサイズを変更します。

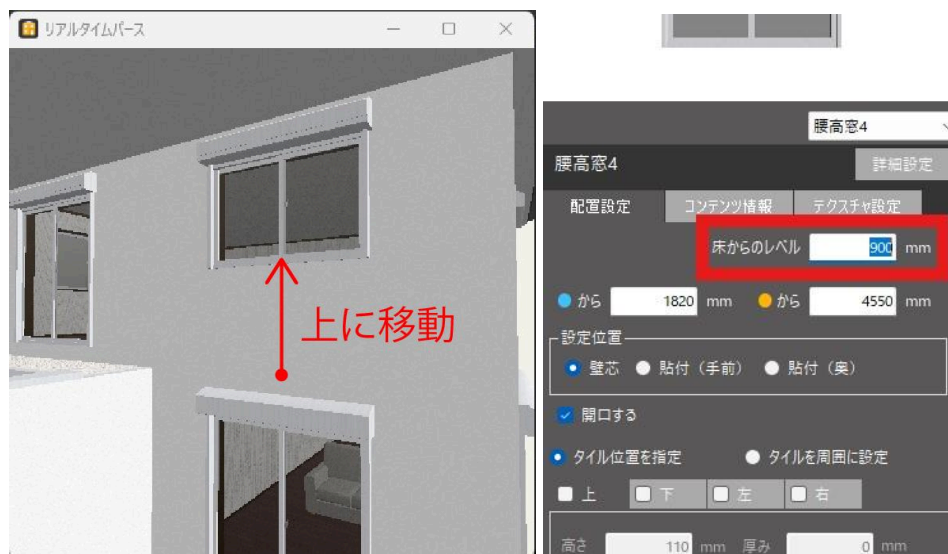


【サッシのサイズを変えたら、思った高さにならなかった場合】

1. サッシを選択し、画面右の「床からのレベル」を調整します。



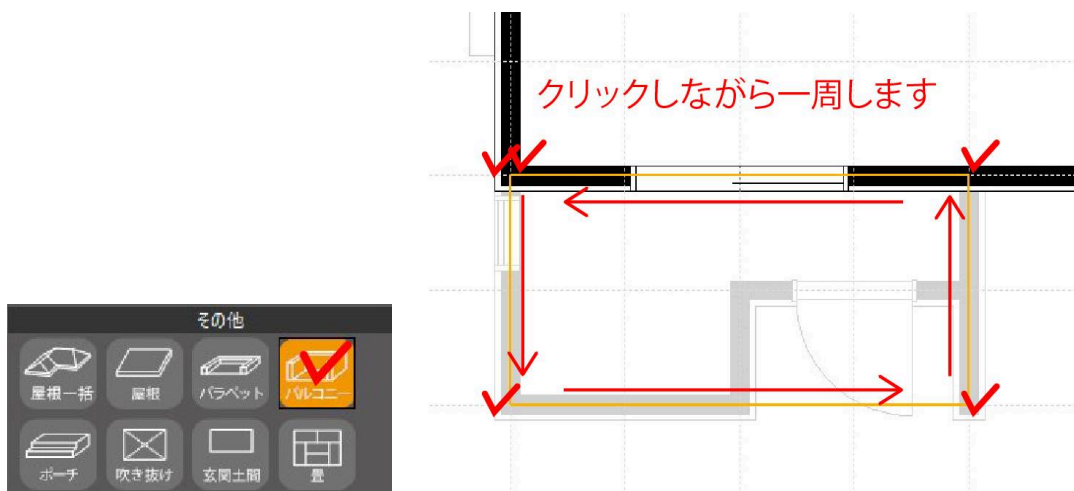
2. 数値がわからない場合は、2000—（サッシの高さ）を目安に入力してください。



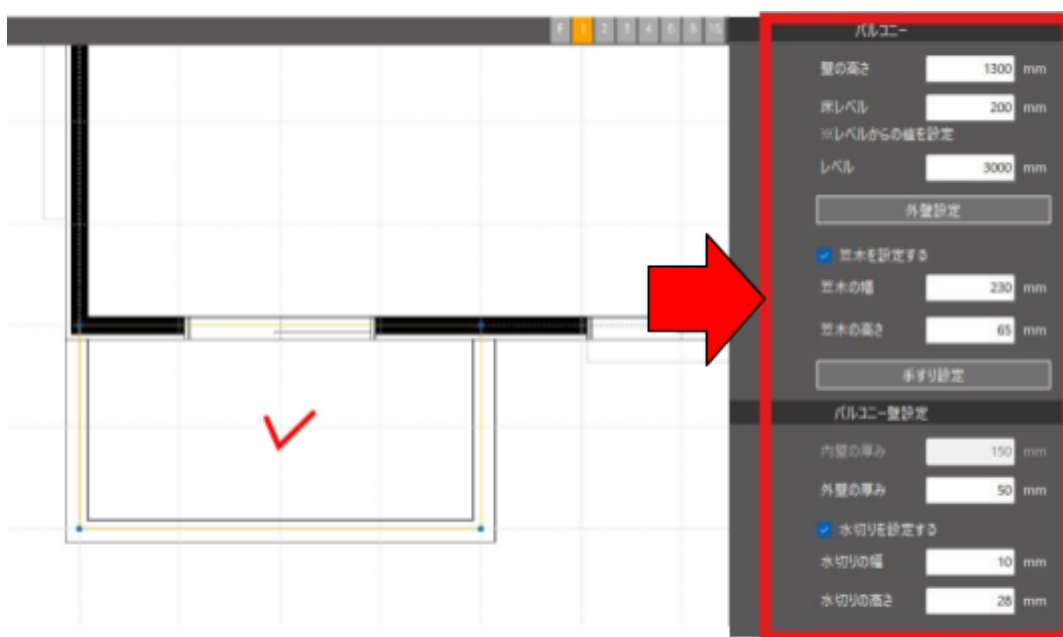
※ 「編集メニュー」 → 「移動」 で調整できます。

バルコニーの作成

1. その他ツールの「バルコニー」をツールでクリックし、作成範囲の各頂点をクリックします。



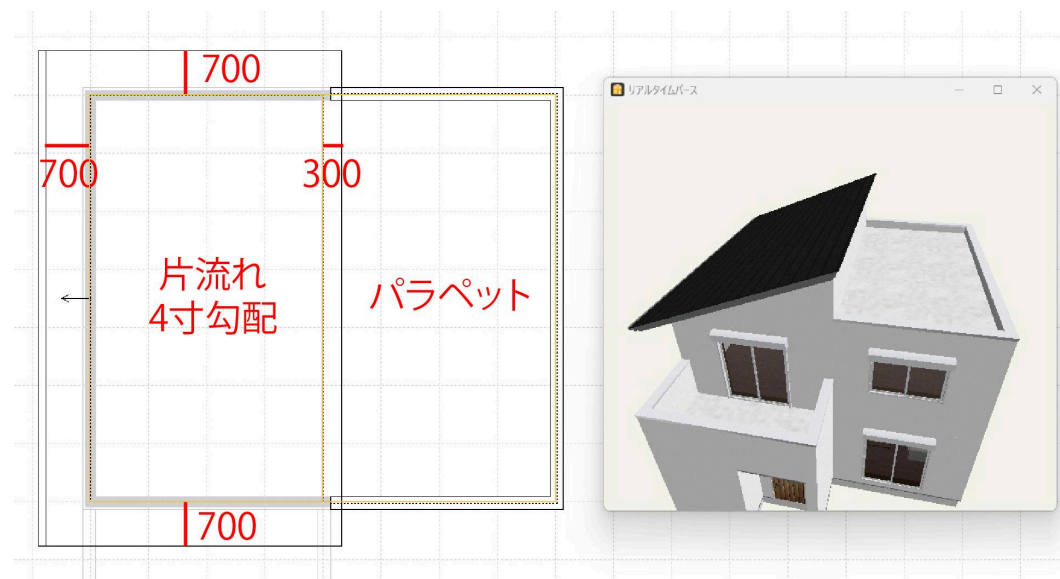
2. ツールでバルコニーを選択すると、画面右の詳細設定でバルコニー壁の高さや手すりのタイプを変更することができます。



作業が一区切りしたところで、「ファイル」メニューの「保存」をクリックします。

屋根の作成

下図のように2階の屋根を作成しましょう。

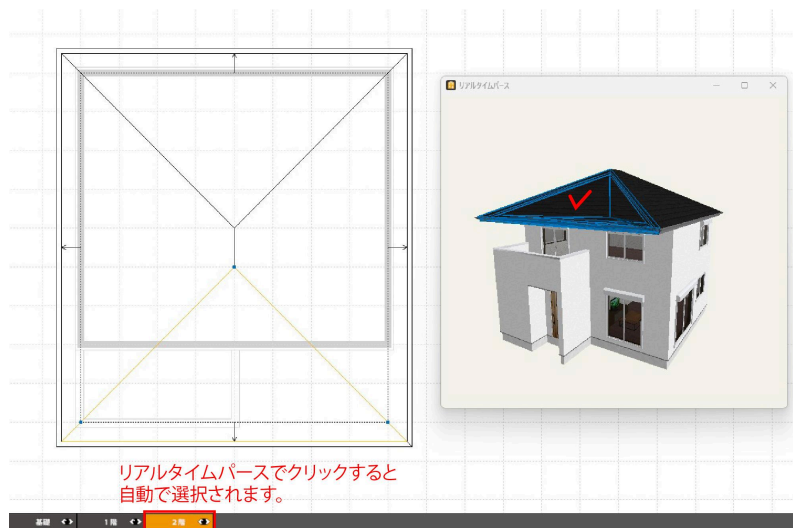


屋根を作る

片流れ屋根とパラペットを作成します。

他形状の屋根の作成方法は[O7CAD WEBマニュアル](#)をご覧ください。

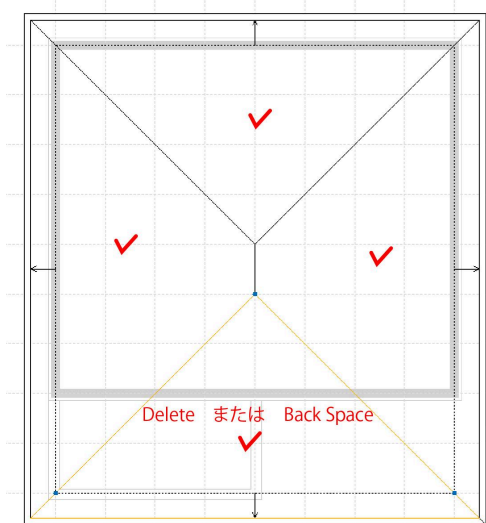
1. リアルタイムパースで2階屋根をクリックします。



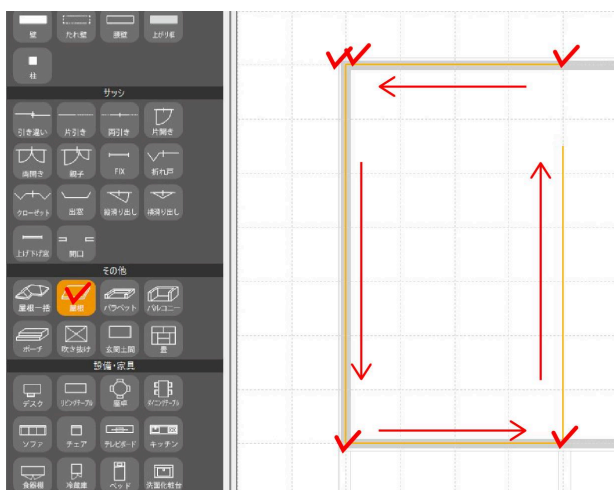
リアルタイムパースに屋根が表示されていない場合は、画面左の「屋根」ツールをクリックします。



2. すでにできている屋根を全て選択して削除します。
(shiftキーを押しながらクリックするか、ドラッグで囲って複数選択できます。)



3. 画面左の「屋根」ツールをクリックし、片流れ屋根を作る範囲をクリックします。



4. ツールで軒下になる辺をクリックし、画面右の「勾配」を設定します。



5. ツールで屋根の中央をクリックし、画面右の「軒の出幅」を設定します。
(全体の軒の出が設定できます)

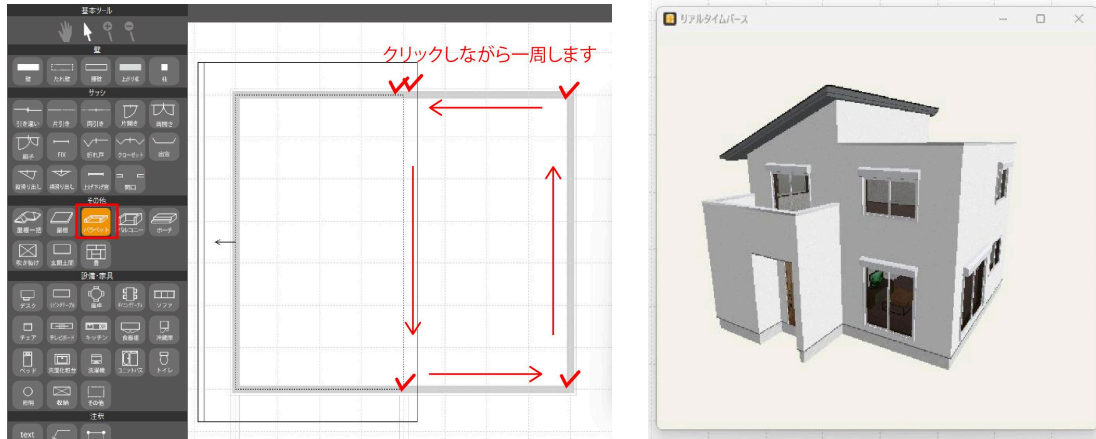


6. ツールでパラペット側の辺をクリックし、画面右の「軒の出幅」を設定します。
(選択した辺の軒の出だけ設定できます)

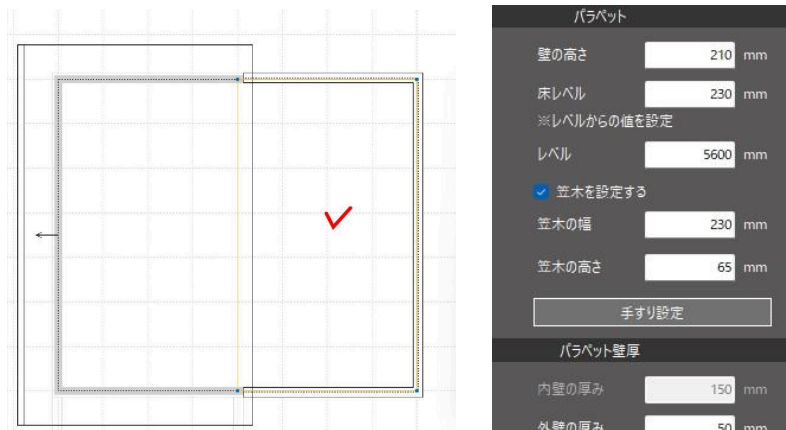


パラペットを作る

1. 画面左の「パラペット」ツールをクリックし、作成範囲の各頂点をクリックします。



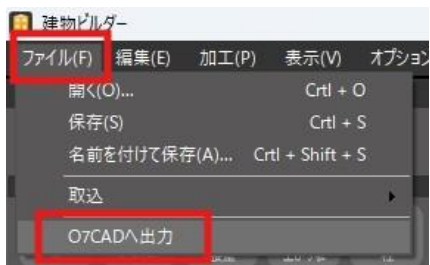
2. ツールでパラペット部分を選択すると、画面右の詳細設定で壁の高さや笠木、壁厚などを変更することができます。



O7CADへ書き出す

建物の形ができたならO7CADへ書き出した後、テクスチャを貼ってパースを作成します。

1. 画面左上の「ファイル」メニュー>「O7CADへ出力」をクリックします。



2. 「3D出力」に全てチェックを入れ、「OK」をクリックします。



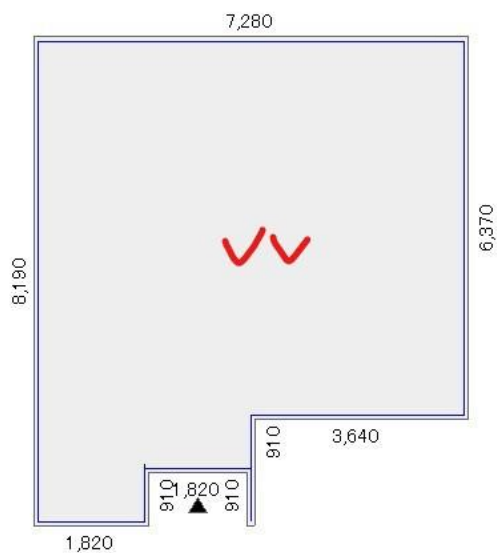
3. O7CADに作成した建物が出力されます。



再編集の仕方

O7CADに書き出した後、変更や間違いの訂正などをしたい場合の操作手順です。

1. O7CADの「敷地」レイヤで建物の基礎をダブルクリックします。



建物ビルダーが起動します。

2. 変更したい箇所を編集して、O7CADへ書き出します。

基本操作 詳細説明

各機能の詳細説明については[O7CAD WEBマニュアル](#)に掲載しています。

O7CAD画面右上の「O7マーク」を押し、「WEBマニュアル」のURLをクリックすると参照できます。



建物ビルダー操作マニュアル

リファレンス

2026年5月11日 第3版

このテキストは2026年5月時点の内容です。
今後バージョンアップなどで内容が変わることがあります。
最新のテキストは [O7CAD WEBマニュアル](#) をご覧ください。

マニュアル内注釈表記について

本マニュアルを読み進めて頂くと、関連項目や詳細説明を別途ご準備しているページへ誘導している箇所があります。

別途動画にて詳細説明を行っている場合

動画説明 >>○○○○○

上記の表記をしています。

WEB上で閲覧されている場合

○○○○○をクリックすると動画が閲覧できます。

印刷物を閲覧されている場合

下記QRコードを読み込み、○○○○○と同一タイトルをクリックすると動画が閲覧できます。



別途マニュアルにて詳細説明を行っている場合

(※WEBマニュアル「○○○○○」 or 本紙Ref ○○参照)

上記の表記をしています。

WEB上で閲覧されている場合

○○○○○をクリックすると該当のマニュアルへ遷移します。

印刷物を閲覧されている場合

記載のページを閲覧してください。

目次

マニュアル内注釈表記について.....	1
目次.....	2
全体画面説明.....	7
グリッド.....	9
複数選択について.....	10
複数選択する方法.....	10
複数選択で操作できること.....	10
複数選択で操作できないこと.....	10
補助線の作成方法.....	11
直線の作成.....	11
多角形(折線)の作成.....	12
補助線 作成後の基本操作.....	13
選択・右クリック操作.....	13
削除.....	14
頂点追加.....	15
位置調整.....	15
方法1 ドラッグ.....	15
方法2 移動.....	15
変形.....	16
方法1 ドラッグ.....	16
方法2 移動.....	16
方法3 長さ指定.....	16
補助線の活用方法.....	17
例1 グリッドの間隔から外れた位置にオブジェクトを配置する.....	17
例2 屋根の作成を補助する.....	18
レイヤ.....	19
フロアレイヤ.....	20
フロアの選択.....	20
右クリックメニュー.....	20
リアルタイムパース.....	21
画面の表示方法、動かし方.....	21
編集メニュー.....	23
設定メニュー.....	23
右クリックメニュー.....	24
複製、移動、削除.....	24
頂点を追加.....	24
最前へ、最後へ.....	24
屋根伏図編集に切替(平面図編集に切替).....	24
階のコンテンツを削除.....	25
メニュー.....	26
ファイルメニュー.....	26
編集メニュー.....	28

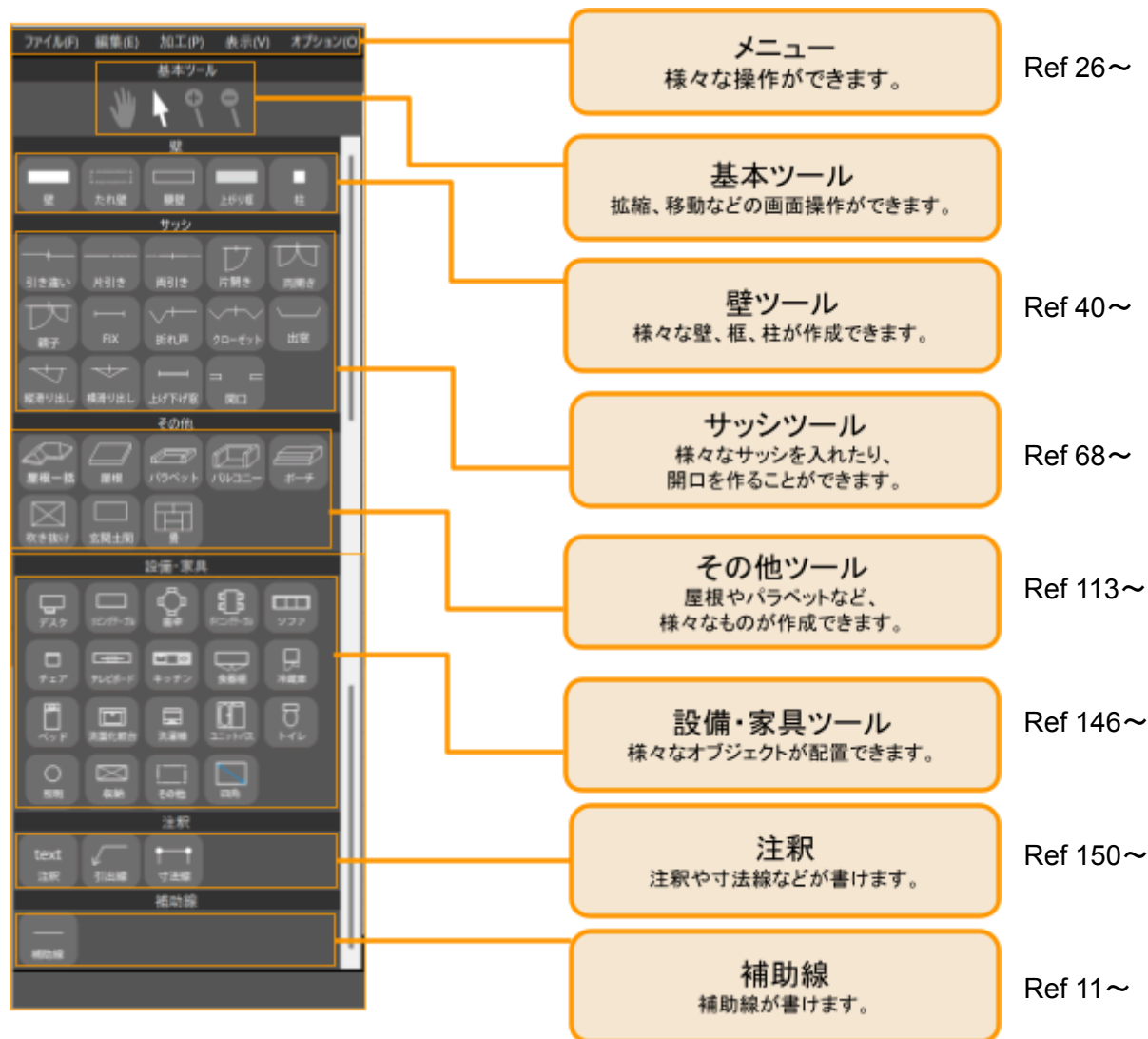
加工メニュー.....	31
表示メニュー.....	32
オプションメニュー.....	33
外壁.....	34
位置調整.....	34
変形.....	35
方法1 ドラッグ.....	35
方法2 移動.....	35
方法3 長さ指定.....	35
頂点追加.....	36
削除.....	36
詳細設定.....	37
外壁選択時.....	37
選択解除時.....	39
壁ツール 作成方法.....	40
壁、垂れ壁、腰壁、上がり框の作成方法.....	40
直線の作成.....	40
多角形(折線)の作成.....	41
壁ツール 入力後の調整方法.....	42
選択.....	42
右クリック操作.....	43
選択・詳細設定.....	44
位置調整.....	45
方法1 ドラッグ.....	45
方法2 移動.....	45
頂点追加.....	46
削除.....	46
変形.....	47
方法1 ドラッグ.....	47
方法2 移動.....	47
方法3 長さ指定.....	47
壁.....	48
袖壁と内壁の違い.....	48
内壁.....	48
袖壁.....	49
壁設定画面.....	50
内壁選択時.....	50
袖壁選択時.....	50
垂れ壁.....	53
外壁と内壁の違い.....	53
垂れ壁設定画面.....	54
腰壁.....	57
腰壁の性質.....	57
腰壁設定画面.....	58

上がり框.....	59
上がり框の作成.....	59
上がり框設定画面.....	60
柱.....	61
柱の入力.....	61
柱入力後の調整方法.....	62
位置調整.....	62
削除.....	62
室外柱と室内柱の違い.....	63
柱設定画面.....	64
室内柱選択時.....	64
室外柱選択時.....	64
外壁設定.....	66
外壁設定と幕板設定の違い.....	66
外壁設定.....	66
幕板設定.....	66
外壁設定、幕板設定の入力方法.....	67
サッシの種類.....	69
通常のサッシ(パラメトリックコンテンツ).....	69
サッシの入力.....	71
サッシの種類.....	71
2つの入力方法の特徴.....	71
サッシの入力方法.....	72
方法1 配置前に詳細を設定してから配置する.....	72
方法2 決まった規格のサッシを配置後、詳細設定する.....	76
サッシの配置設定.....	78
位置調整.....	78
タイル追加.....	80
タイル位置を指定.....	80
タイルを周囲に設定.....	80
サッシのテクスチャ設定.....	81
引き違い.....	83
詳細設定 コンテンツ情報.....	83
基本図形.....	84
オプション.....	84
その他設定.....	84
片引き.....	87
詳細設定 コンテンツ情報.....	87
基本図形.....	88
オプション.....	88
その他設定.....	88
両引き.....	90
詳細設定 コンテンツ情報.....	90
基本図形.....	91

オプション.....	91
その他設定.....	91
片開き.....	93
詳細設定 コンテンツ情報.....	93
基本図形.....	94
オプション.....	94
その他設定.....	94
両開き.....	96
詳細設定 コンテンツ情報.....	96
基本図形.....	97
オプション.....	97
その他設定.....	97
親子.....	99
詳細設定 コンテンツ情報.....	99
基本情報.....	100
オプション.....	100
その他設定.....	100
FIX、上げ下げ窓.....	102
詳細設定 コンテンツ情報.....	102
基本情報.....	103
オプション.....	103
その他設定.....	104
折れ戸.....	105
詳細設定 コンテンツ情報.....	105
基本図形.....	106
その他設定.....	106
クローゼット.....	107
詳細設定 コンテンツ情報.....	107
基本情報.....	108
その他設定.....	108
縦滑り出し.....	109
詳細設定 コンテンツ情報.....	109
基本図形.....	110
オプション.....	110
その他設定.....	110
横滑り出し.....	111
詳細設定 コンテンツ情報.....	111
基本図形.....	112
オプション.....	112
バルコニーを作成する.....	113
バルコニーの詳細設定.....	115
手すり変更.....	118
屋根伏図への切り替え方法.....	122
平面図から屋根伏図への切り替え.....	122

屋根伏図から平面図への切り替え.....	123
屋根の削除.....	125
屋根作成ツールの説明.....	126
①屋根一括.....	126
②屋根.....	126
屋根の詳細設定.....	127
屋根の全体設定.....	127
屋根辺の設定.....	128
屋根の設定項目①.....	129
基準線オフセット.....	130
屋根の設定項目②.....	132
壁形状を連動させる.....	132
屋根の設定項目③.....	133
桁レベル.....	133
桁高.....	134
パラペット(陸屋根)を作成する.....	135
パラペットの詳細設定.....	136
ポーチ.....	138
吹き抜け.....	140
玄関土間.....	142
畳.....	144
設備・家具.....	146
入力方法.....	146
四角.....	147
詳細設定.....	148
配置設定.....	148
コンテンツ情報.....	149
テクスチャ設定.....	149
注釈.....	150
注釈.....	150
入力方法.....	150
詳細設定.....	152
引出線.....	153
入力方法.....	153
詳細設定.....	155
寸法線.....	156
入力方法.....	156
詳細設定.....	158

全体画面説明



メニュー・・・様々な操作ができます。

基本ツール・・・拡大、移動などの画面操作ができます。

壁ツール・・・様々な壁、框、柱が作成できます。

サッシツール・・・様々なサッシを入れたり、開口を作ることができます。

その他ツール・・・屋根やパラペットなど、様々なものが作成できます。

設備・家具ツール・・・様々なオブジェクトが配置できます。

注釈・・・注釈や寸法線などが書けます。

補助線・・・補助線が書けます。

グリッド (※WEBマニュアル「[グリッド](#)」 or 本紙Ref 9を参照)

グリッドを指定した数で分割できます。

「F」はハンドフリーで操作できます。オブジェクトの高さや長さ、厚みなどの詳細設定ができます。

データ編集

オブジェクトの高さや長さ、厚みなどの詳細設定ができます。

フロアレイヤ (※WEBマニュアル「[編集メニュー](#)」 or 本紙Ref 28を参照)

作図する階を選択します。目のマークはその階が表示されている状態を示しています。

レイヤ (※WEBマニュアル「[編集メニュー](#)」 or 本紙Ref 28を参照)

各レイヤーの切り替えを行います。各レイヤーに対応したオブジェクトを選択できます。

The image shows a software interface for architectural drawing. It features a grid-based workspace with a floor plan outline. To the right is a settings panel with sections for '階矩計' (Floor Dimensions), '階壁厚' (Floor Wall Thickness), and '建物壁厚' (Building Wall Thickness). At the bottom, there are layer selection menus for 'レイヤ' (Layer) and 'フロアレイヤ' (Floor Layer). Callout boxes provide detailed instructions for each feature.

グリッド
グリッドを指定した数で分割できます。
「F」はハンドフリーで操作できます。(Ref 9～)

データ編集
オブジェクトの高さや長さ、厚みなどの
詳細設定ができます。

階矩計	
天端レベル	3000 mm
高さ	2600 mm
レベル	400 mm

階壁厚

内壁の厚み	150 mm
外壁の厚み	50 mm

建物壁厚

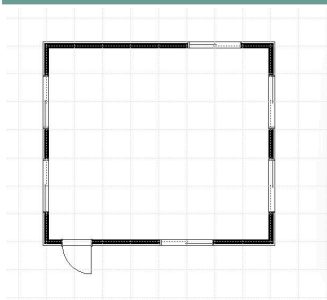
内壁の厚み	150 mm
外壁の厚み	50 mm

レイヤ
各レイヤーの切り替えを行います。
各レイヤーに対応したオブジェクトを
選択できます。(Ref 19～)

フロアレイヤ
作図する階を選択します。目のマークはその階が
表示されている状態を示しています。
(Ref 20～)

() → 表示 () → 非表示

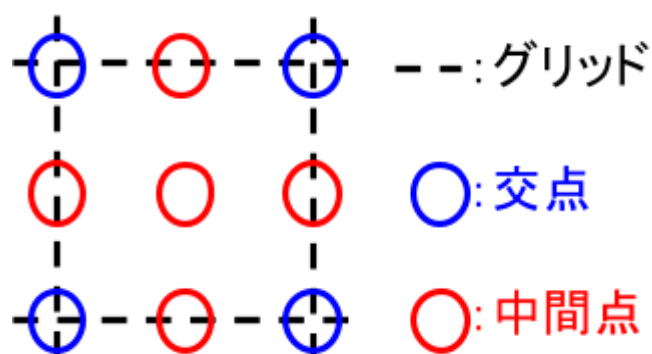
グリッド



作図画面の薄い点線のマスグリッドと呼びます。

マスの交点と、中間点がスナップします。

設備・家具以外のすべての図形をスナップさせて書くことができます。



また作図画面右上のボタンでグリッドマスを変更できます。



「1」～「16」の数字をそれぞれクリックすると、グリッドの細かさを変更できます。

「1」の場合、「オプション」メニューの「モジュール」で設定した間隔でグリッドが入ります。

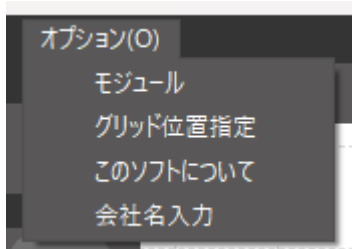
「2」にすると「モジュール」で設定した1/2の間隔でグリッドが入るようになります。

「3」だと1/3の間隔、「4」だと1/4の間隔、と徐々に間隔が狭まります。

また、オプションメニューの「グリッド位置指定」をクリックし、

図面の任意の位置をクリックすれば、グリッドの開始位置を変更できます。

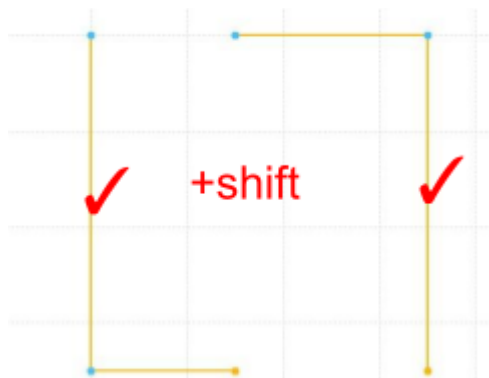
グリッド位置は、オブジェクトなどにスナップします。



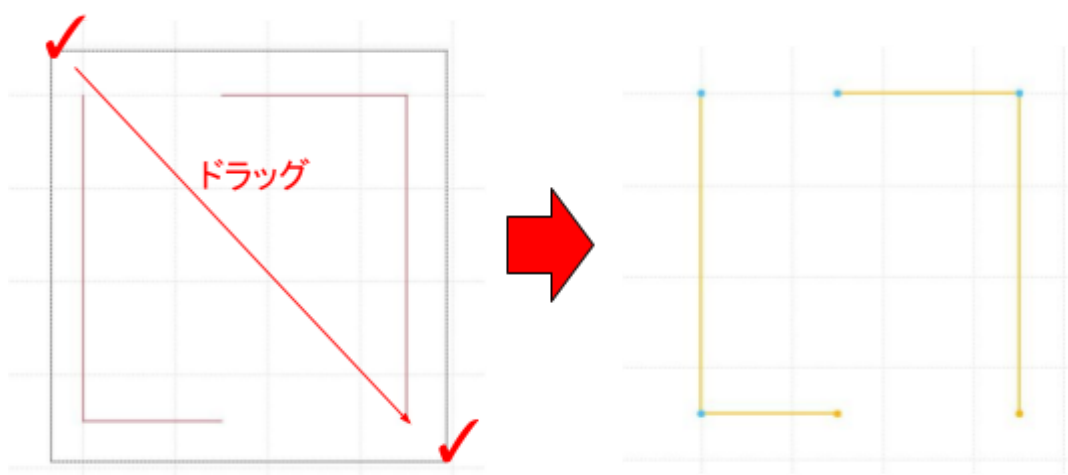
複数選択について

複数選択する方法

方法1 shiftキーを押しながら複数クリック



方法2 ドラッグで範囲選択



複数選択で操作できること

○データを一括して削除・移動

※複数データの移動は壁に設定されているコンテンツは対象外になります。

○(屋根のみ)画面右のデータパレットを用いた編集

※屋根+パラペットなど他のオブジェクトが選択された場合は
画面右のデータパレットは表示されません。

複数選択で操作できないこと

○補助線や屋根の場合、辺を複数選択しての操作

○回転機能の操作

補助線の作成方法



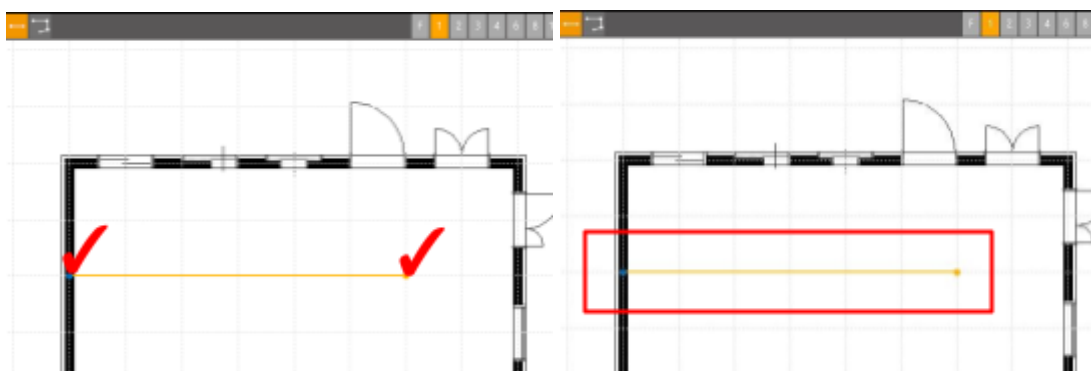
補助線の作成には、直線と多角形の2つのモードがあります。
直線は1本の線、多角形は連続した線を描くことができます。

直線の作成

1. 補助線ツールを選択し、画面左上にあるボタンを直線ツールに切り替えます。
(すでに切り替わっている場合は操作不要です)



2. 作成範囲の端点をクリックで指定します。

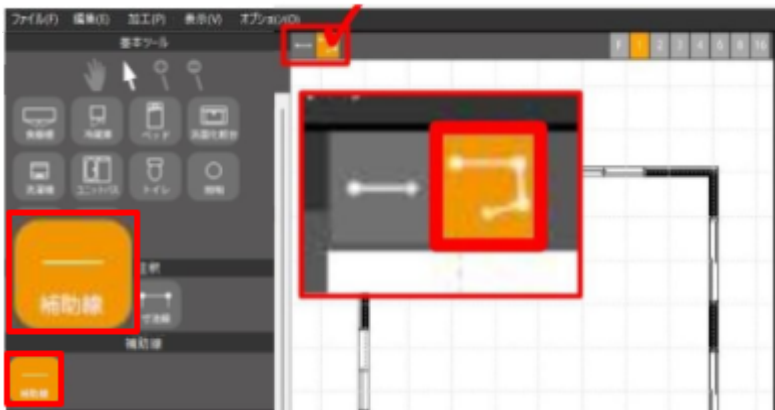


3. 作成が終わったら矢印ツールに戻しておきましょう。

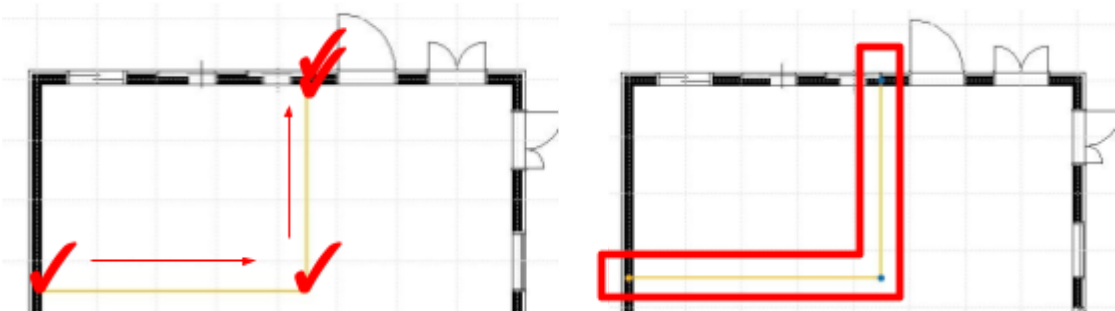


多角形（折線）の作成

1. 補助線ツールを選択し、画面左上にあるボタンを多角形ツールに切り替えます。
(すでに切り替わっている場合は操作不要です)



2. 作成範囲の端点をクリックで指定します。
最後にダブルクリックしてとめます。



3. 作成が終わったら矢印ツールに戻しておきましょう。



補助線 作成後の基本操作

選択・右クリック操作

補助線を1回クリックした際は補助線全体が選択されます。

補助線をクリックせず、直接右クリックした場合は①補助線全体に対しての右クリック操作となります。

補助線全体を選択した後に辺をクリックすると辺が選択されます。

補助線全体を選択した状態で右クリックした場合、辺を選択した状態で右クリックした場合、どちらの場合でも②辺に対しての右クリック操作となります。

(補助線全体を複数選択した状態で補助線を右クリックした場合は

①補助線全体に対しての右クリック操作となります。)

①補助線全体に対しての右クリック操作

「削除」ができますが、「頂点を追加」はできません。



②辺を対しての右クリック操作

「頂点を追加」はできますが、「削除」はできません。

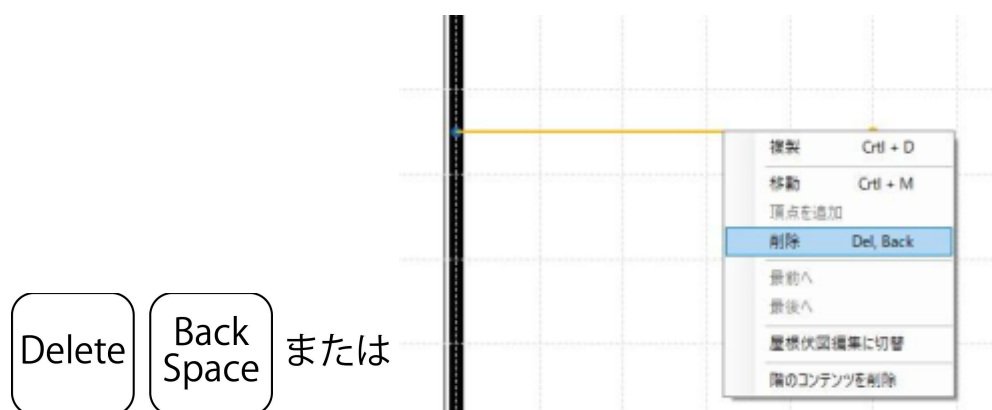


削除

削除したい補助線を選択し、「Delete」キーまたは「Backspace」をクリックします。

または補助線を選択せずに直接右クリックし、「削除」をクリックします。

(補助線を複数選択して削除する場合は、選択した状態でも右クリックで「削除」できます。)



頂点追加

補助線を選択後、右クリックすると頂点を追加できます。



頂点を作りすぎた場合、他の頂点と重ねずに削除するようにしましょう。

頂点を削除する場合は頂点を選択して「Delete」キーまたは「Backspace」をクリックします。または右クリックし、「削除」をクリックします。

位置調整

方法1 ドラッグ

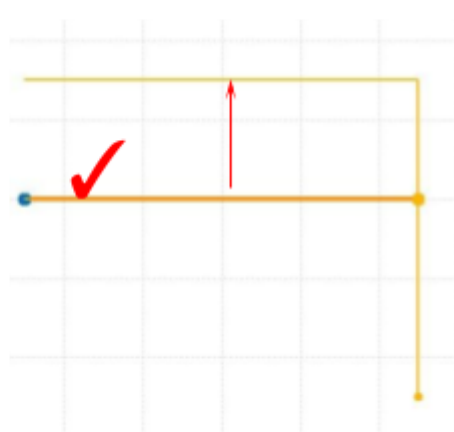
作成したものをドラッグすることで移動することができます。

多角形ツールで作成した補助線の場合、補助線を選択しているかどうかで動き方が変わります。

補助線を選択せずにドラッグした場合



補助線を選択後、ドラッグした場合



方法2 移動

補助線を選択後、編集メニュー→移動で数値を指定して、選択した補助線全てを移動することができます。

辺を選択後、編集メニュー→移動で辺を移動します。

右クリック→移動でも同様に操作できます。

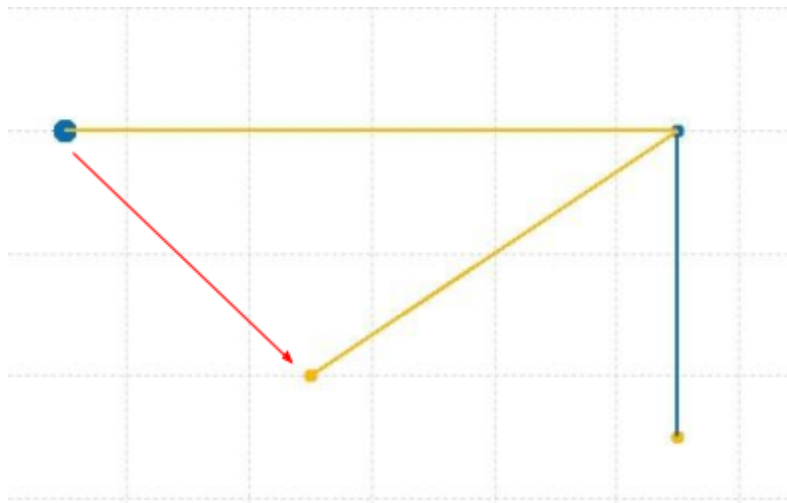
方法1と同様、補助線を選択しているかどうかで動き方が変わります。

(※WEBマニュアル「[編集メニュー](#)」 or 本紙Ref 28を参照)

変形

方法1 ドラッグ

頂点をドラッグすることで変形することができます。



方法2 移動

頂点を選択後、編集メニュー→移動で数値を指定して変形することができます。

右クリック→移動でも同様に操作できます。

(※WEBマニュアル「[編集メニュー](#)」 or 本紙Ref 28を参照)

方法3 長さ指定

辺を選択後、右側の画面で長さを指定できます。

青点、黄点、どちらの端から設定するかを選択して長さを入力します。



青点、黄点、どちらの端から設定するかを選択して長さを入力します。

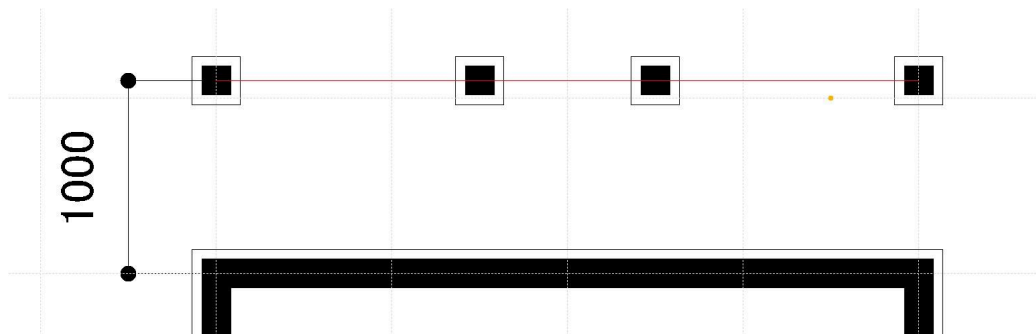
平面図の青点、黄点を示しています。



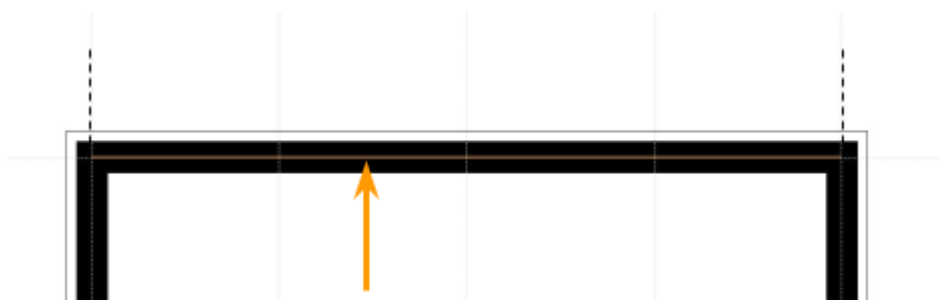
補助線の活用方法

補助線をひくと、補助線とマス目の交点、中点がスナップようになります。
縦横に補助線を引くと、補助線の交点がスナップようになります。
以下のような場合に補助線を使用します。

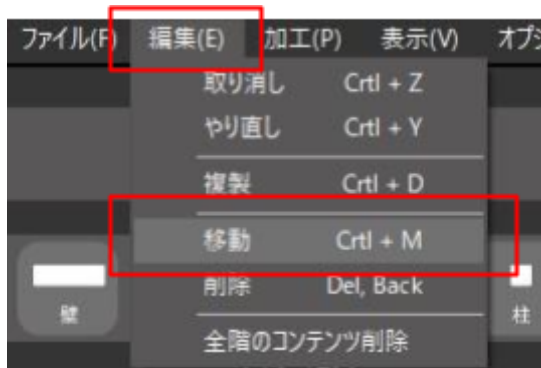
例1 グリッドの間隔から外れた位置にオブジェクトを配置する



1. 外壁の芯に補助線を引きます。
(※WEBマニュアル「[補助線 作成方法](#)」 or 本紙Ref 11を参照)



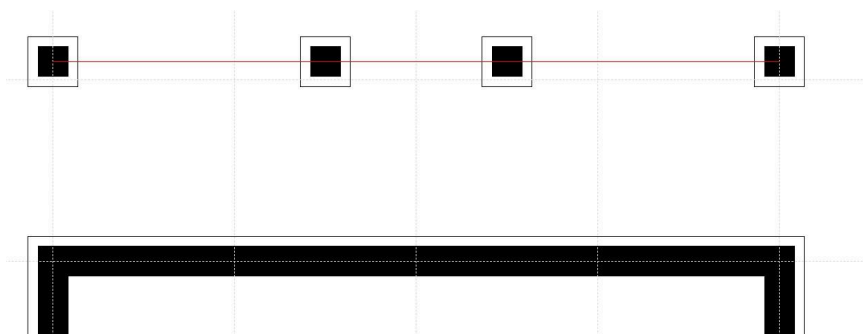
2. 「編集」メニュー→「移動」を使用します。



3. 寸法を取りたい距離を入力します。
例) Yに1000と入力



1. 柱を作成します。（※WEBマニュアル「[柱の作成](#)」 or 本紙Ref 61を参照）
補助線とマス目の交点、中点がスナップします。



例2 屋根の作成を補助する

棟違い屋根の作成など（※WEBマニュアル「[棟違いを作成する](#)」を参照）
他、グリッドから外れた位置に屋根伏せ図を書く場合など。

レイヤ



各レイヤの切り替えを行います。

各レイヤに対応したオブジェクトを選択できます。

※ツールボタンでデータを選択した時にレイヤは自動選択されます。



注釈レイヤと補助線レイヤの「目のマーク」をクリックすると、表示・非表示を変更できます。(屋根・平面レイヤの表示はフロアレイヤのボタンで切り替えます)



「Ctrl+クリック」で補助線レイヤとの切替が可能です。

※補助線レイヤーから戻る時は編集している図面(屋根か平面)に戻ります。

フロアレイヤ



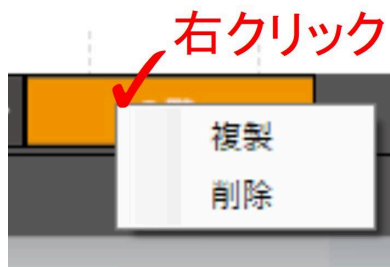
フロアを選択

「基礎」や「1階」など、それぞれのフロアをクリックすると作図画面がそのフロアに切り替わります。

また、リアルタイムパース上で基礎や1階外壁などを選択した場合も、同様にフロアを切り替えることができます。

右クリックメニュー

右クリックするとフロアの複製、削除ができます。



複製

1つ上の階にフロアを増やすことができます。

右クリックしたフロアが複製されます。

フロアは最大10階まで追加可能です。

削除

フロアを削除することができます。

削除したフロアと同じフロアにある屋根やパラペットも同時に削除されます。

リアルタイムパース

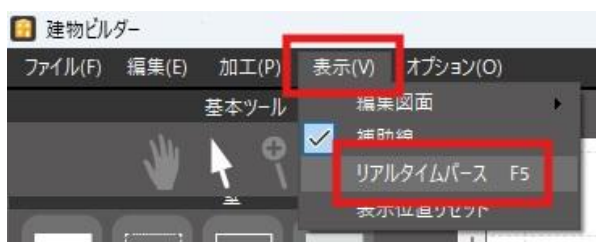
動画説明 >> [リアルタイムパース](#)

表示させると、作成中の建物をパース(3D)で確認しながら作業を進めることができます。リアルタイムパースでは、窓の位置、高さ、屋根の形状、隙間が空いていないかなどを確認できます。

外壁材や屋根のテクスチャを貼る作業は07CADで行います。サッシやドアなど、カラーセット設定があるものは、建物ビルダーでテクスチャの変更ができます。

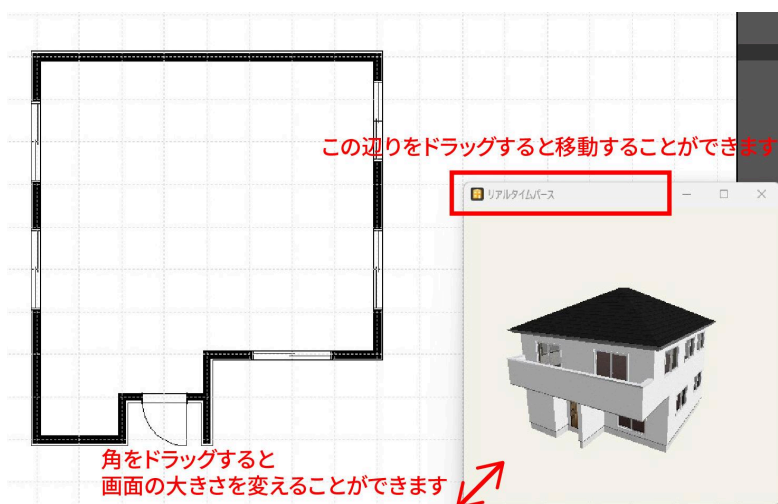
画面の表示方法、動かし方

1. 「表示」メニューの「リアルタイムパース」をクリックします。

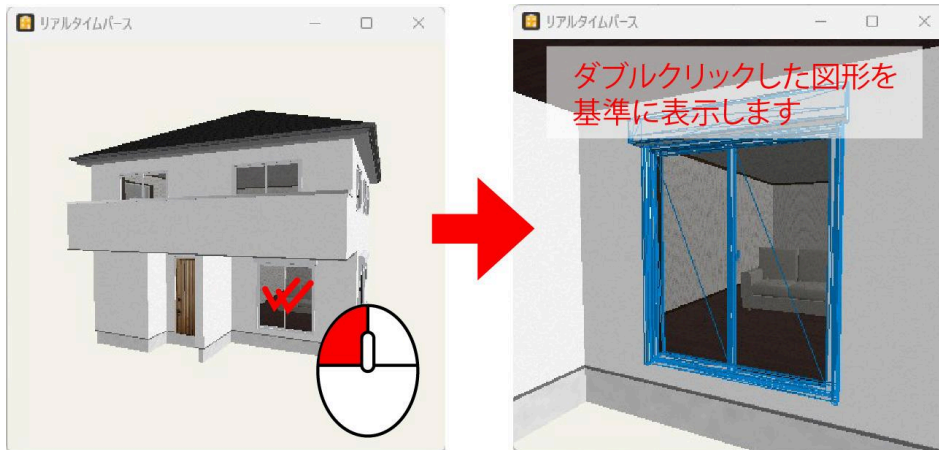


リアルタイムパース画面が開きます。

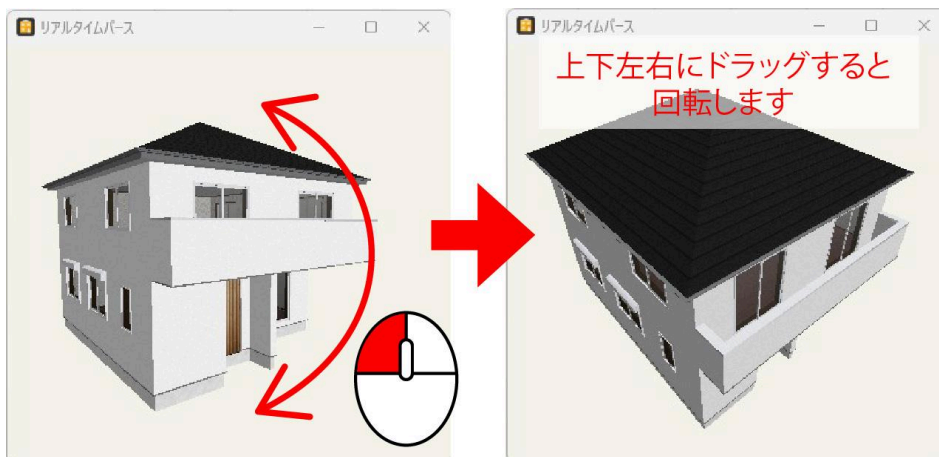
2. 任意の位置に移動させて、完成形を確認しながら作業を進めましょう。角の頂点や辺をドラッグすると変形ができます。



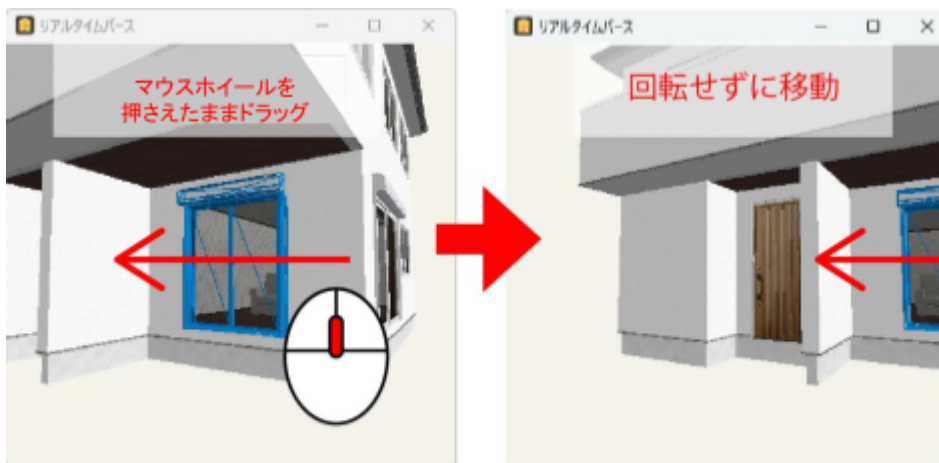
- サッシや壁をダブルクリックすると、その図形が中心にくる位置へ自動表示されます。



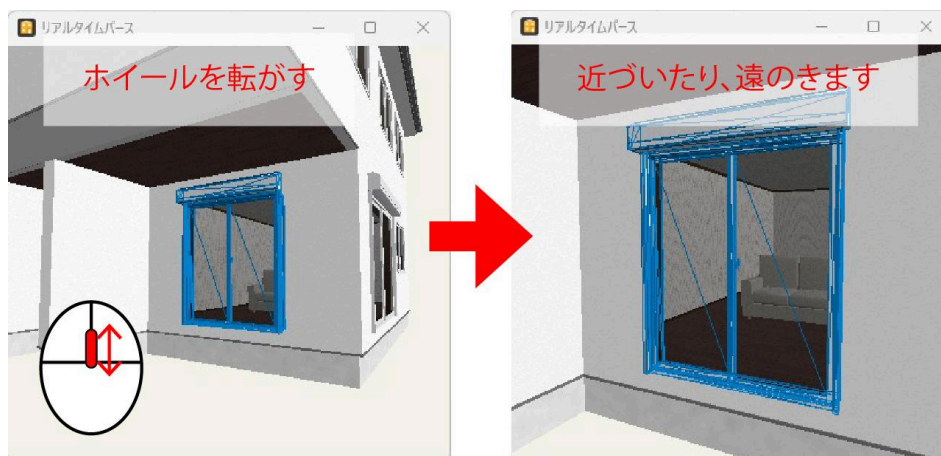
- 上下左右にドラッグすると視点が回転します。



- マウスホイールを押さえたままドラッグすると、回転せずに移動することができます。



- マウスホイールを転がすと近づいたり、遠のいたりします。



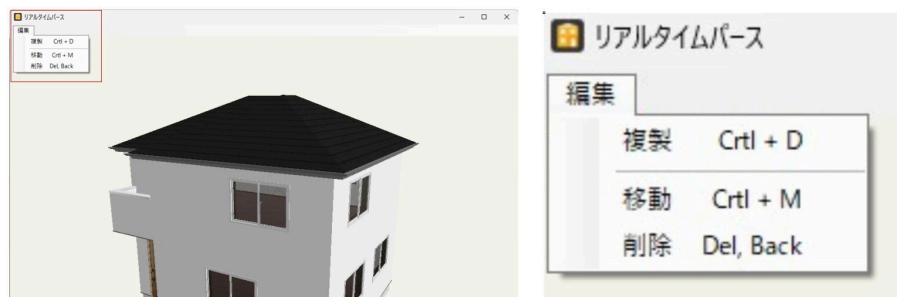
編集メニュー

リアルタイムパース画面の左上に編集メニューがあります。

ここで選択している図形を複製・移動・削除できます。

平面操作画面のメニューからも操作可能です。

(※WEBマニュアル「[編集メニュー](#)」 or 本紙Ref 28を参照)

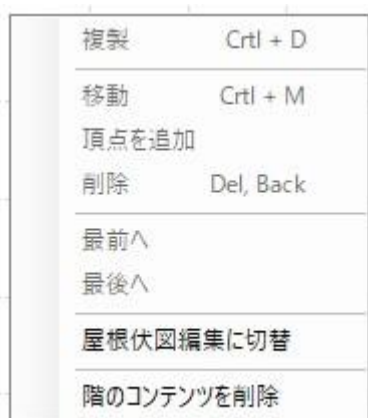


設定メニュー

リアルタイムパース画面の左上に設定メニューがあります。
ここでカメラの速度を速い・標準・遅いから選択できます。



右クリックメニュー



複製、移動、削除

(※WEBマニュアル「[編集メニュー](#)」 or 本紙Ref 28を参照)

頂点を追加

壁の辺、屋根の辺を選択し、辺上で右クリックしたときのみ使用可能です。
右クリックした地点に頂点を追加できます。

最前へ、最後へ

屋根を選択した際のみ使用可能です。
屋根が重なっている場合に前後関係を入れ替えることができます。
重なっている部分をクリックした際は、最前にした方の屋根が選択されます。

屋根伏図編集に切替 (平面図編集に切替)

平面図、屋根伏図の切り替えができます。
(※WEBマニュアル「[屋根伏図への切り替え方法](#)」 or 本紙Ref 122を参照)

階のコンテンツを削除

選択中の階の、使用中のコンテンツすべてを削除します。

コンテンツには「サッシ」「設備・家具」も含まれます。

※外壁、屋根等の躯体は含まれません。



※選択している階以外も削除する場合は

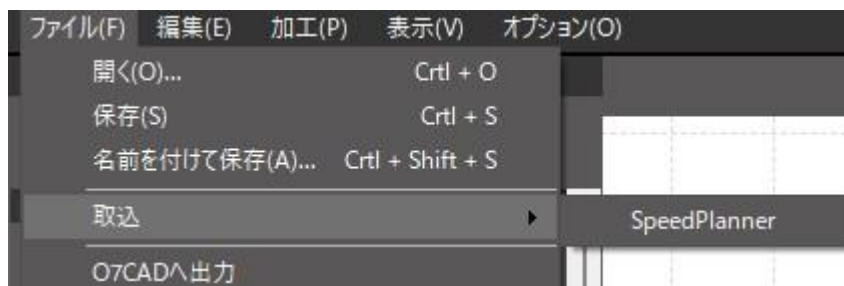
「編集メニュー」→「全階のコンテンツ削除」で一気に削除できます。

メニュー

各メニューの横に書いてある「Ctrl + ○」などはショートカットキーです。ショートカットキーを使用すると、メニューを開かなくても操作できます。

ファイルメニュー

動画説明 >> [ファイルメニュー](#)



- **開く**
保存済みの建物を開きます。
- **保存**
現在作成中の建物を保存します。
- **名前をつけて保存**
現在開いているファイルを別名で保存します。

・取込 SpeedPlanner

ipad専用アプリ「SpeedPlanner」で作成した建物を取り込んで使用することができます。



Eメールの欄にアドレスを入力し、「パスワードをEメールアドレスに送る」をクリックするとワンタイムパスワードが発行されます。

発行されたパスワードを「パスワード」の欄に打ち込むことでスピードプランナーのアカウントと連携します。

※SpeedPlannerでピン留めしたデータのみが共有されます。

・07CADへ出力

建物ビルダーで作った建物を07CADへ出力できます。



「平面図出力」にチェックをすると、注釈レイヤに間取りが出力され、平面図に窓やドアの位置、家具の位置などが表示されます。

「3D図出力」「平面図出力」それぞれ階ごとに出力の有無を選択できます。

「鳥瞰図として出力」にチェックをすると、最上階の屋根と天井が非表示の状態
で3Dが出力されます。最上階の間取りを3Dで見やすくする際に使用します。
(建物ビルダーで再編集する際には再度最上階の屋根と天井が表示されます。)

編集メニュー

動画説明 >> [編集メニュー](#)

編集(E)	加工(P)	表示(V)
取り消し	Ctrl + Z	
やり直し	Ctrl + Y	
複製	Ctrl + D	
移動	Ctrl + M	
削除	Del, Back	
全階のコンテンツ削除		

- **取り消し**

行った操作を一つ前に戻します。

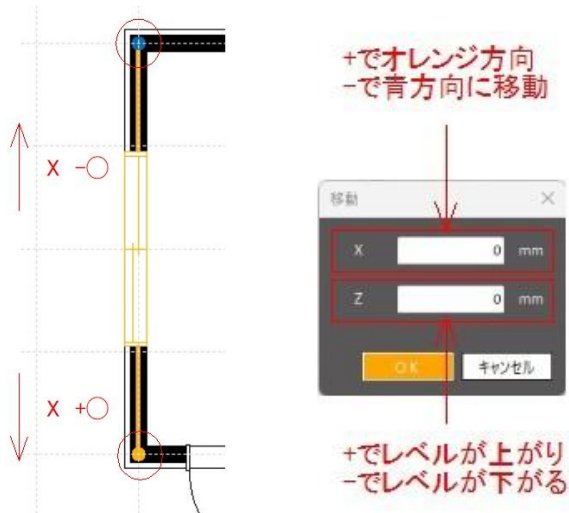
- **やり直し**

取り消した操作を元に戻します。

- **複製**

選択している図形を、同じ位置に複製します。
複製後にドラッグすることで、図形を移動できます。

・移動



移動したいオブジェクトを選択すると、

平面図画面で配置した壁の両端に青点とオレンジ点が表示されます。

・Xに正の数値を入力すると、オレンジ点の方向に移動します。(オレンジ点に近づく)

・Xに負の数値を入力すると、青点の方向に移動します。(青点に近づく)

・Zに数字を入力すると、レベルの調整ができます。

移動は平面図上で選択後、「編集」メニューの「移動」でも操作できます。



また、オブジェクトを選択した際、画面右上で

サッシの中心から青点もしくはオレンジ点までの距離を入力することでも移動できます。



• 削除

選択しているコンテンツを削除します。

• 全階のコンテンツ削除

使用中のコンテンツすべてを削除します。

コンテンツには「サッシ」「設備・家具」も含まれます。

※外壁、屋根等の躯体は含まれません。



※現在選択中の階以外もすべてのコンテンツが一括で削除されますのでご注意ください。

選択中の階以外は削除したくない場合は右クリック→「階のコンテンツ削除」を使用します。

加工メニュー

動画説明 >> [加工メニュー](#)



• 回転 角度指定

角度を指定して回転できます。

正の数の角度を入れると反時計回りに回転します。

負の数の角度をいれると時計回りに回転します。

(複数選択している場合は回転できません。)

• 回転 90°回転

反時計回りに90°回転します。

(複数選択している場合は回転できません。)

• オフセット

選択した補助線を複製し、指定した距離分動かす機能です。

数値を入力し、動かす方向をクリックして指定します。

• 配列オフセット

複数本連続でオフセットします。

• コンテンツ登録

コンテンツの登録ができます。

コンテンツ登録のできるのはもともと登録されている建具のオリジナル登録、DXFデータの取り込みなどです。

表示メニュー

動画説明 > [表示メニュー](#)



• 編集図面

作図画面を「平面図」と「屋根伏図」の2つに切り替えて使用します。
初期状態(画面を立ち上げてすぐの状態)では「平面図」になっています。
屋根一括、もしくは屋根ツールを使うと、自動的に「屋根伏図」に切り替わります。
画面左側の「壁」や「設備・家具」を使うと「平面図」に戻ります。
作業画面の右クリックより、手動で切り替えることもできます。



• 補助線

「補助線」にチェックが入っていると、補助線ツールで引いた線が画面に表示されます。
チェックを外すと、補助線を引いても画面には表示されません。
必要に応じて設定を切り替えてご利用ください。

• リアルタイムパース

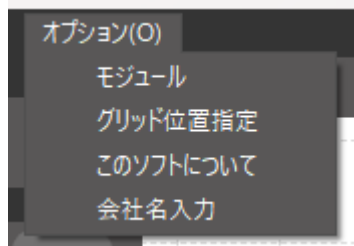
リアルタイムパースが表示されていない状態でクリックすると、リアルタイムパースが表示されます。
リアルタイムパースを閉じる場合は、画面右上の×(バツ)をクリックしてください。

• 表示位置リセット

「表示位置リセット」をクリックすると、平面図の表示位置が初期状態に戻ります。
拡大縮小で画面が見失われた場合、中央に再表示できます。

オプションメニュー

動画説明 >> [オプションメニュー](#)



・モジュール

作業画面グリッドの寸法を変更できます。

数字を入力し、「OK」をクリックすると、

07CADで作成した基礎の左下の角を基準に、グリッド寸法が変更されます。

・グリッド位置指定

図面の任意の位置をクリックすれば、グリッドの開始位置を変更できます。

グリッド位置は、オブジェクトなどにスナップします。

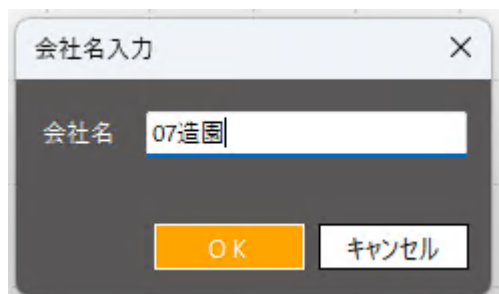
・このソフトについて

今お使いのバージョンと会社名が表示されます。

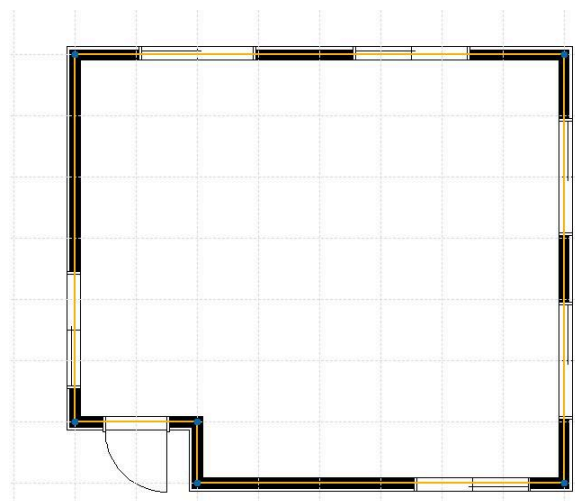


・会社名入力

会社名を入力すると、上記「このソフトについて」の画面に表示されます。



外壁



外壁・間取り	
天端レベル	<input type="text" value="3000"/> mm
高さ	<input type="text" value="2600"/> mm
床レベル	<input type="text" value="200"/> mm
※レベルからの値を設定	
レベル	<input type="text" value="400"/>
<input type="button" value="外壁設定"/>	

壁設定	
内壁の厚み	<input type="text" value="150"/> mm
外壁の厚み	<input type="text" value="50"/> mm
<input checked="" type="checkbox"/> 水切りを設定する	
水切りの幅	<input type="text" value="10"/> mm
水切りの高さ	<input type="text" value="28"/> mm

建物ビルダ一起動時に自動作成される一周閉じた壁形状を、【外壁】と呼び、区別して扱います。(袖壁や内壁は別物と考えます。)ここでは外壁の操作方法をご説明します。

位置調整

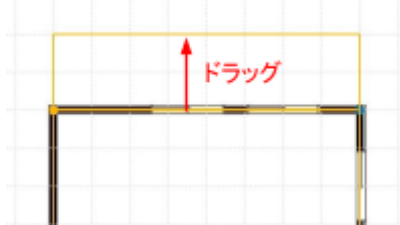
外壁は移動することができません。
位置調整が必要な場合は下記の「変形」の操作をおこないます。

変形

1Fを変形すると基礎も同時に変形します。
基礎を変形した場合、07CADに出力した際も反映されます。

方法1 ドラッグ

頂点、もしくは辺をドラッグすることで変形することができます。



方法2 移動

頂点、もしくは辺を選択後、
編集メニュー→移動で数値を指定して変形することができます。

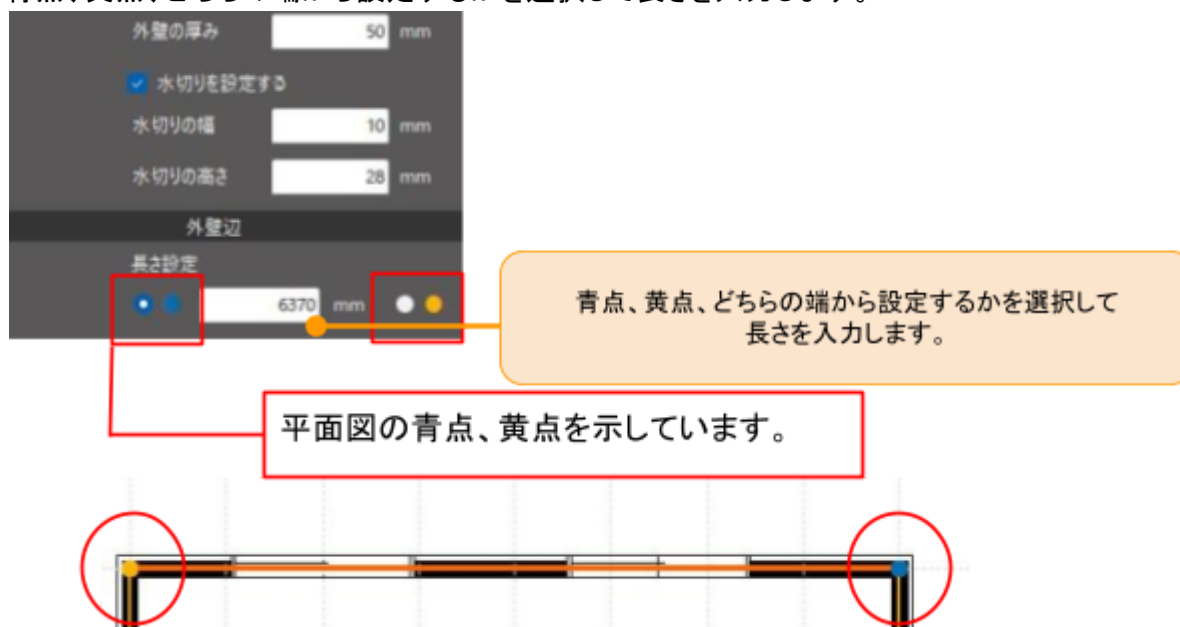
右クリック→移動でも同様に操作できます。

(移動: ※WEBマニュアル「[編集メニュー](#)」 or 本紙Ref 28を参照)

方法3 長さ指定

辺を選択後、右側の画面で長さを指定できます。

青点、黄点、どちらの端から設定するかを選択して長さを入力します。



頂点追加

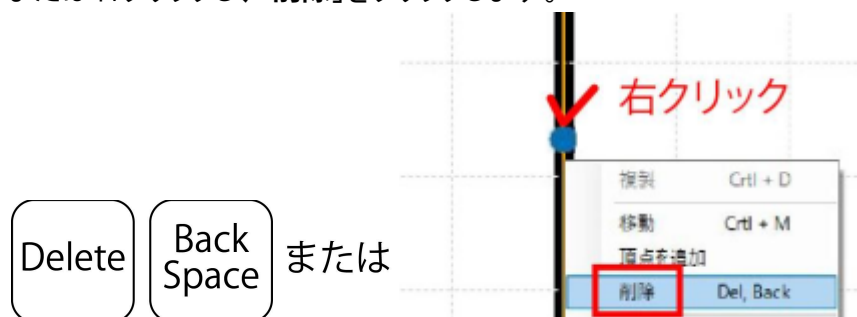
辺上で右クリックすると頂点追加できます。



頂点を作りすぎた場合、他の頂点と重ねずに削除するようにしましょう。

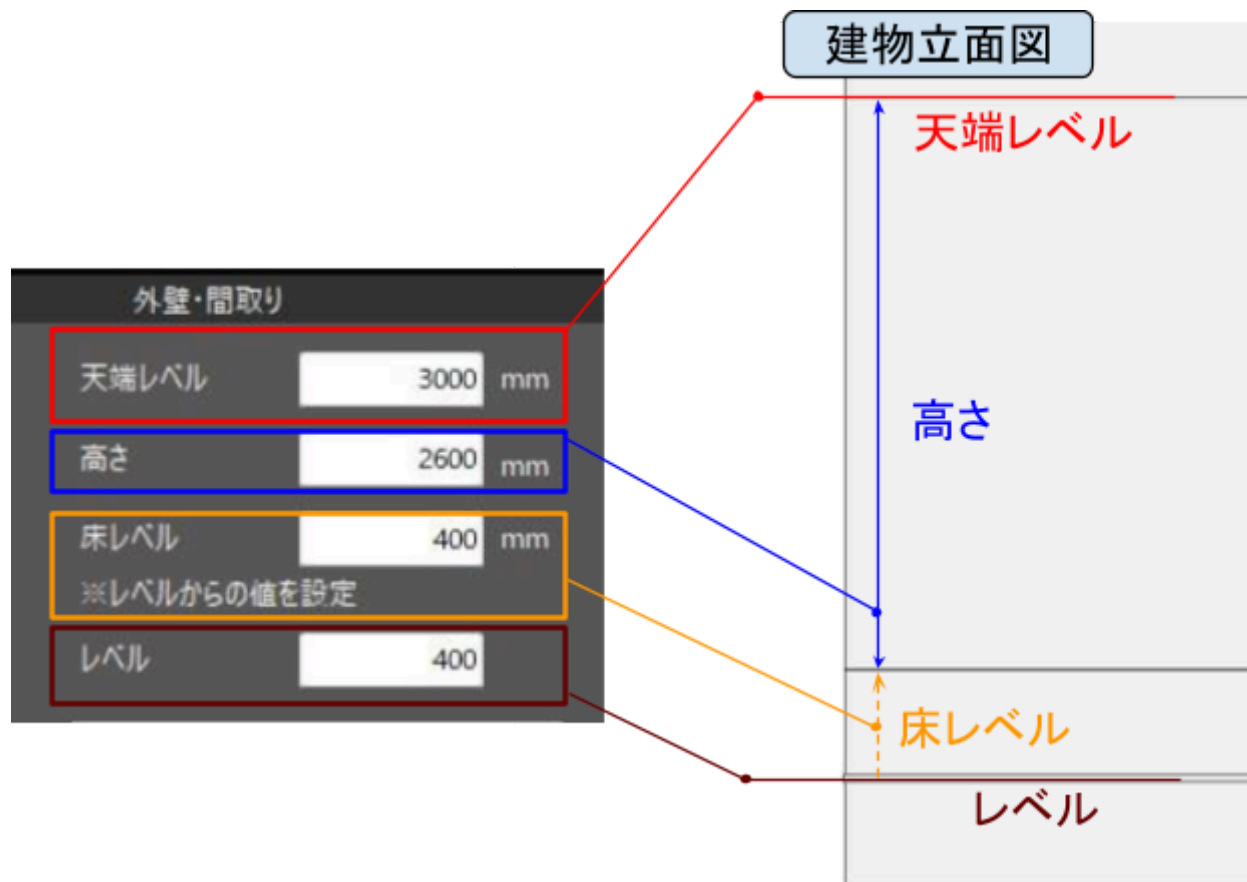
削除

外壁本体は削除できませんが、頂点を削除することはできます。
削除する頂点を選択し、「Delete」キーまたは「Backspace」をクリックします。
または右クリックし、「削除」をクリックします。



詳細設定

外壁選択時



「天端レベル」、「レベル」は07CADで設定したレベルと同じ基準で考えます。

- **天端レベル** 天井のレベルを指します。同じフロア内に屋根がある場合、天端レベルを変更すると、屋根の桁レベルも連動して動きます。
- **高さ** 選択している階の高さを指します。
- **床レベル** 「レベル」(外壁下端)=0とした場合の床のレベルを指します。
- **レベル** 選択している階の下端のレベルを指します。

外壁設定

壁設定

内壁の厚み 150 mm

外壁の厚み 50 mm

水切りを設定する

水切りの幅 10 mm

水切りの高さ 28 mm

外壁、幕板の設定ができます。

内壁厚(07CADの基礎厚)
外壁厚

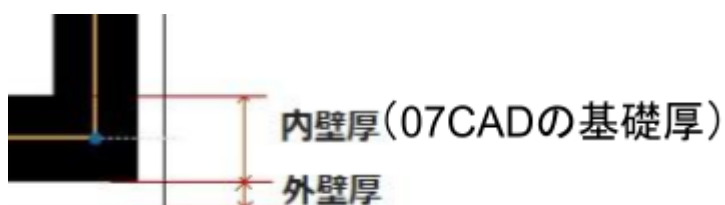
外壁の厚みを入力できます。
他の階も同時に変更する場合は選択解除時の
「建物壁設定」から設定してください。

水切りの幅と高さを入力できます。

水切りを設定できます。
2F以上の場合、下の階がない場所に
水切りが設定されます。

外壁設定・・・外壁、幕板の設定ができます。
(※WEBマニュアル「[外壁設定](#)」 or 本紙Ref 66を参照)

外壁の厚み・・・外壁の厚みを入力できます。
他の階も同時に変更する場合は選択解除時の
「建物壁設定」から設定してください。



水切りを設定する・・・水切りをON、OFFできます。
2F以上の場合、下の階がない場所に水切りが設定されます。

水切りの幅、高さ・・・水切りの幅、高さを変更できます。

選択解除時

階矩計、階壁設定・・・現在表示しているフロアの設定ができます。

建物壁設定・・・建物全体の設定ができます。

The screenshot displays a settings menu with three sections: '階矩計' (Floor Dimensions), '階壁設定' (Floor Wall Settings), and '建物壁設定' (Building Wall Settings). The '階矩計' and '階壁設定' sections are highlighted with an orange rounded rectangle, and the '建物壁設定' section is highlighted with a blue rounded rectangle. Callout boxes on the right provide context for each highlighted area.

項目	値	単位
天端レベル	3000	mm
高さ	2600	mm
床レベル	200	mm
※レベルからの値を設定		
レベル	400	
内壁の厚み	150	mm
外壁の厚み	50	mm
<input checked="" type="checkbox"/> 水切りを設定する		
水切りの幅	10	mm
水切りの高さ	28	mm

階矩計、階壁設定
現在表示しているフロアの設定ができます。

建物壁設定
建物全体の設定ができます。

壁ツール 作成方法



壁、垂れ壁、腰壁、上がり框の作成方法

(画像は壁作成時のものです)

(柱は別途、WEBマニュアル「[柱](#)」 or 本紙Ref 61を参照)

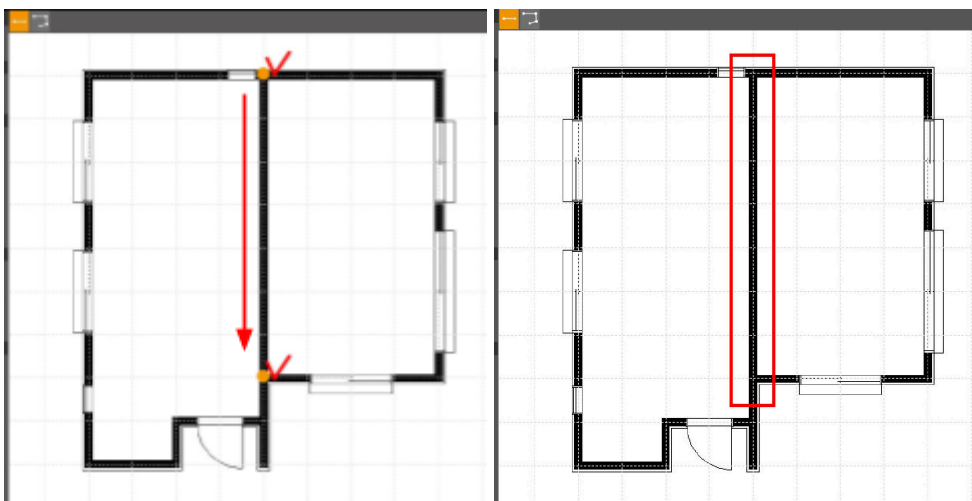
壁の作成には、直線と多角形の2つのモードがあります。
直線は1本の線、多角形は連続した線を描くことができます。

直線の作成

1. 壁ツールを選択し、画面左上にあるボタンを直線のツールに切り替えます。
(すでに切り替わっている場合は操作不要です)



2. 作成範囲の端点をクリックで指定します。

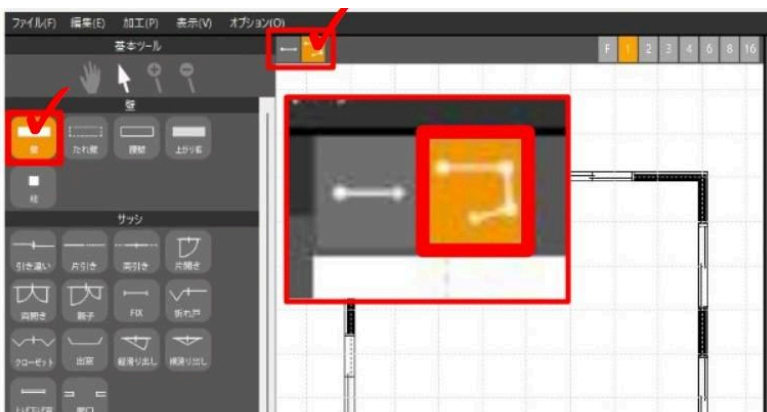


3. 作成が終わったら矢印ツールに戻しておきましょう。

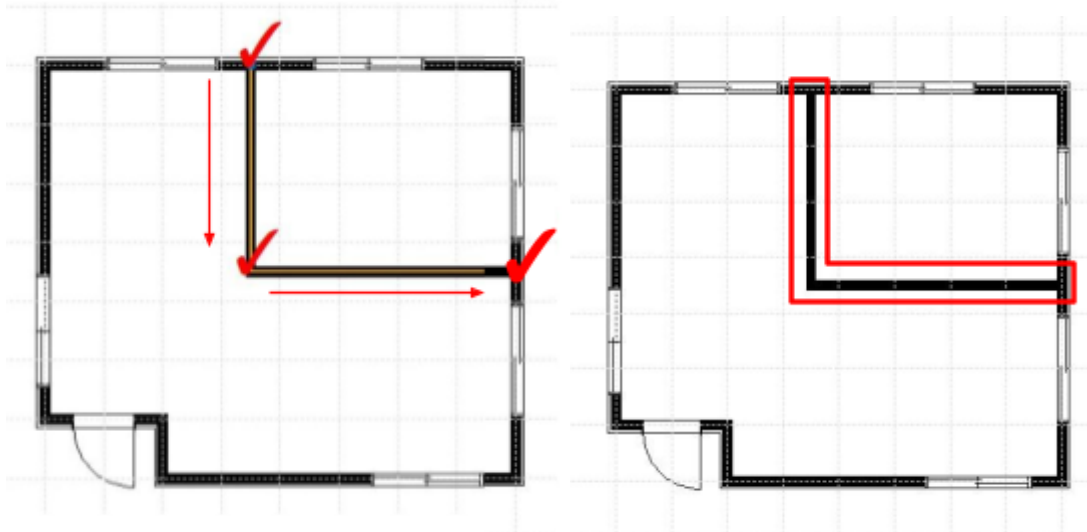


多角形（折線）の作成

1. 壁ツールを選択し、画面左上にあるボタンを多角形ツールに切り替えます。
(すでに切り替わっている場合は操作不要です)



2. 作成範囲の端点をクリックで指定します。
最後にダブルクリックしてとめます。
他の壁にぶつかった場合、一回クリックでとまります。



3. 作成が終わったら矢印ツールに戻しておきましょう。



壁ツール 入力後の調整方法



(柱は別途、WEBマニュアル「[柱](#)」 or 本紙Ref 61を参照)

選択

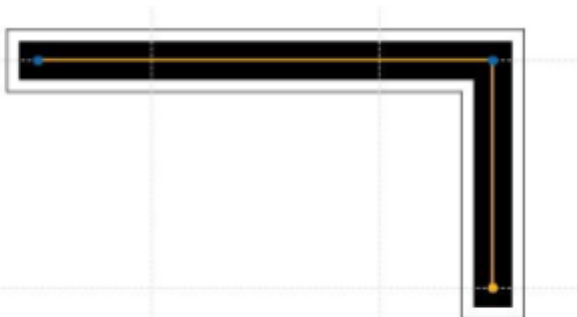
壁の選択には壁全体選択と辺選択の二種類あります。
どの選択状態なのかでその後の操作や動作に違いが出てきます。

①壁を1回クリックした際は壁全体が選択されます。

直線の場合



折線の場合

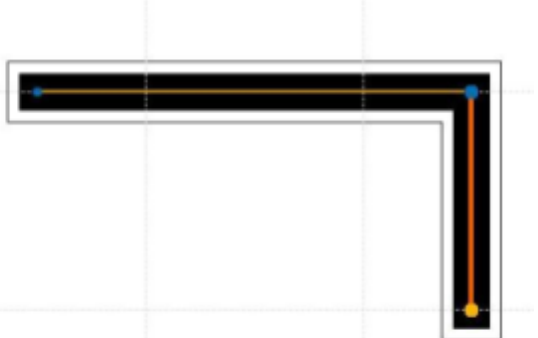


②壁全体を選択した後に辺をクリックすると辺が選択されます。

直線の場合



折線の場合



右クリック操作

①壁全体に対しての右クリック操作

壁を選択していない状態から、壁を右クリックした場合、壁に対しての右クリック操作となります。「削除」ができますが、「頂点を追加」はできません。



②辺に対しての右クリック操作

壁全体を選択した状態で辺を右クリックした場合、辺を選択した状態で右クリックした場合、どちらの場合でも辺に対しての右クリック操作となります。

「頂点を追加」はできますが、「削除」はできません
(直線で作成した壁の場合は削除できます)



選択・詳細設定

①壁全体を選択した場合の詳細設定

壁をクリックした際は壁全体が選択されます。

画面右下で壁端部の収まりを変更できます。

(直線の場合は壁全体選択した状態でも②の長さ設定が可能です。)



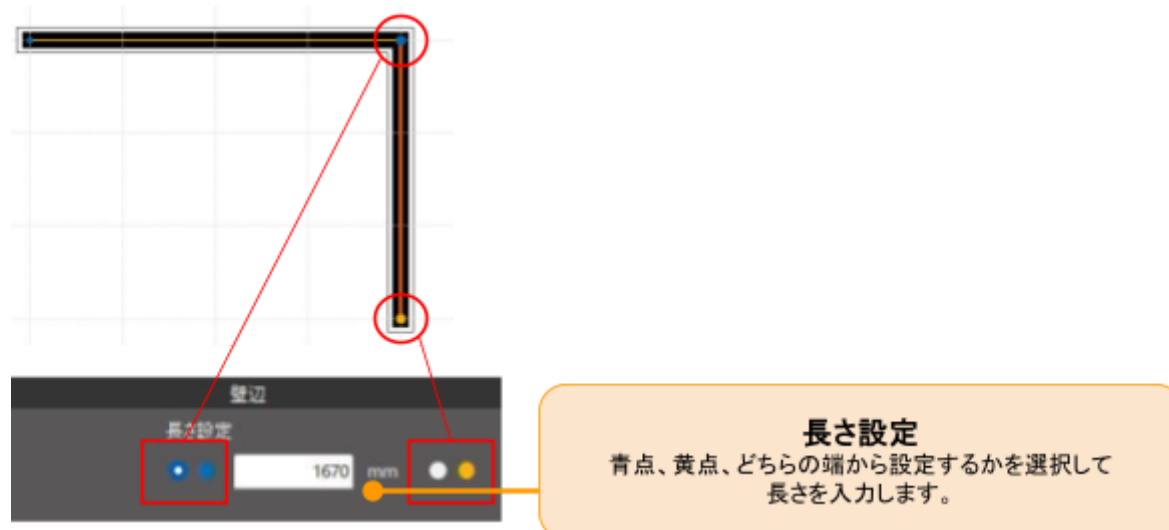
②辺を選択した場合の詳細設定

壁全体を選択した状態で辺をクリックすると辺が選択されます。

画面右下で長さ設定ができます。

長さ設定

青点、黄点、どちらの端から設定するかを選択して長さを入力します。



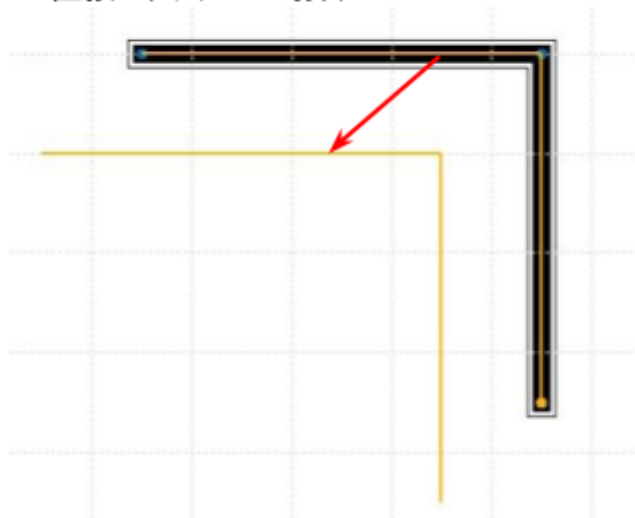
位置調整

方法1 ドラッグ

作成した壁をドラッグして位置調整します。

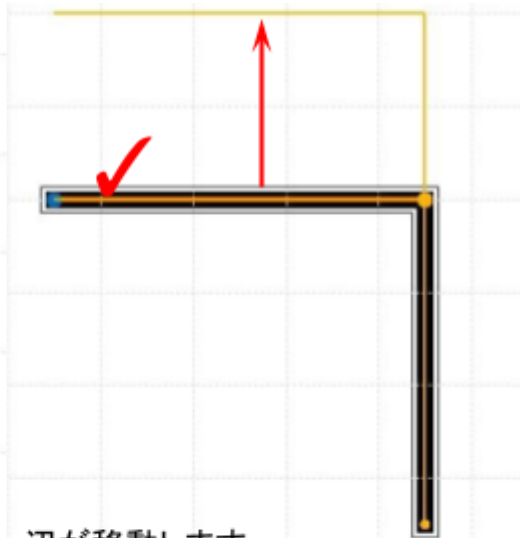
多角形ツールで作成した壁の場合、選択の状態により動作が変わります。

①壁を選択していない状態から
直接ドラッグした場合



壁全体が移動します。

②壁、もしくは辺を選択後、
ドラッグした場合



辺が移動します。

方法2 移動

壁を選択後、編集メニュー→移動:数値を指定して壁全体を移動します。

辺を選択後、編集メニュー→移動:数値を指定して辺を移動します。

右クリック→移動でも操作できますが、

方法1と同様、壁を選択しているかどうかで動き方が変わります。

①壁を選択していない状態から右クリックした場合、壁全体が移動します。

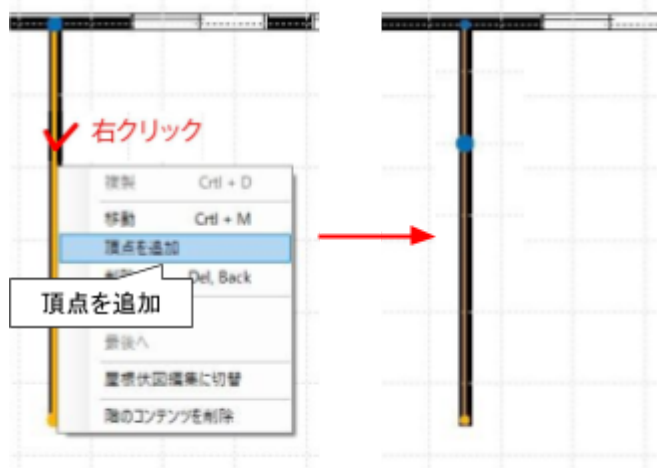
②壁、もしくは辺を選択後、右クリックした場合、辺が移動します。

(移動:WEBマニュアル「[編集メニュー](#)」 or 本紙Ref 28を参照)



頂点追加

壁を選択して右クリックすると頂点追加できます。



頂点を作りすぎた場合、他の頂点と重ねずに削除するようにしましょう。

削除

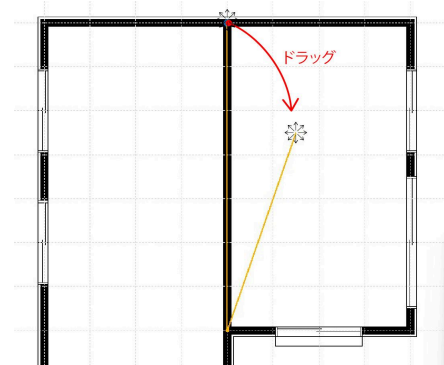
削除する壁または頂点を選択し、「Delete」キーまたは「Backspace」をクリックします。または選択せずに直接右クリックし、「削除」をクリックします。



変形

方法1 ドラッグ

頂点をドラッグすることで変形することができます。



方法2 移動

頂点を選択後、編集メニュー→移動で数値を指定して変形することができます。

右クリック→移動でも同様に操作できます。

(移動: WEBマニュアル「[編集メニュー](#)」 or 本紙Ref 28を参照)

方法3 長さ指定

辺を選択後、右側の画面で長さを指定できます。

青点、黄点、どちらの端から設定するかを選択して長さを入力します。



壁辺

天端レベル 600 mm

高さ 120 mm

レベル 480 mm

壁厚

内壁の厚み 150 mm

外壁の厚み 0 mm

壁辺

長さ指定 1670 mm

青点、黄点、どちらの端から設定するかを選択して長さを入力します。

平面図の青点、黄点を示しています。

壁



「壁」は独立して配置する壁を示します。

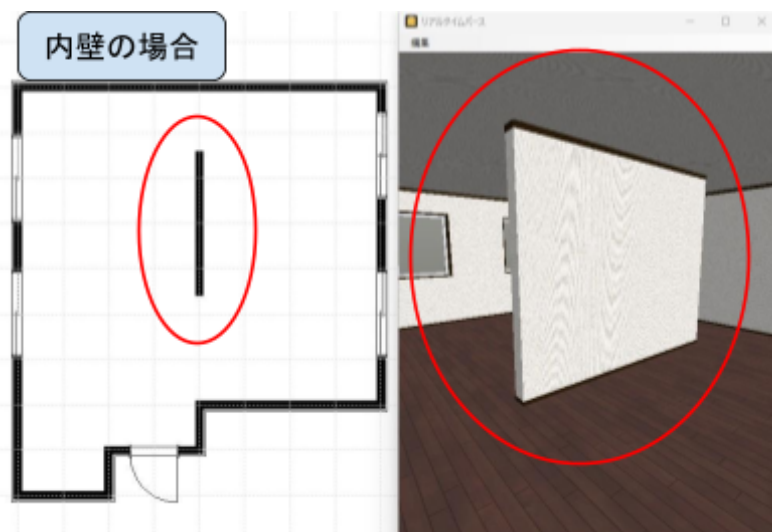
建物ビルダ一起動時に自動作成される、一周閉じた壁形状の建物本体を構成する壁は「外壁」と呼び、「壁」とは区別して扱われます。

袖壁と内壁の違い

内壁

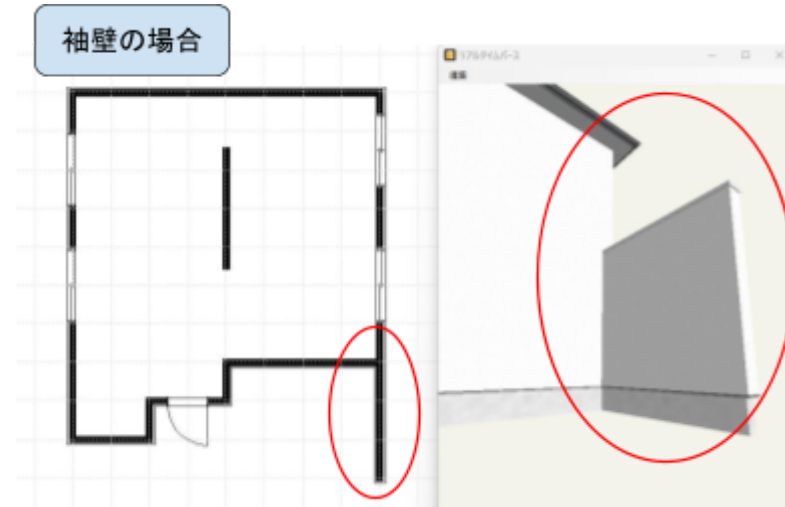
室内に壁を作成した場合は、内壁として扱われます。

内装用のテクスチャが適用され、巾木および廻り縁が自動的に追加されます。

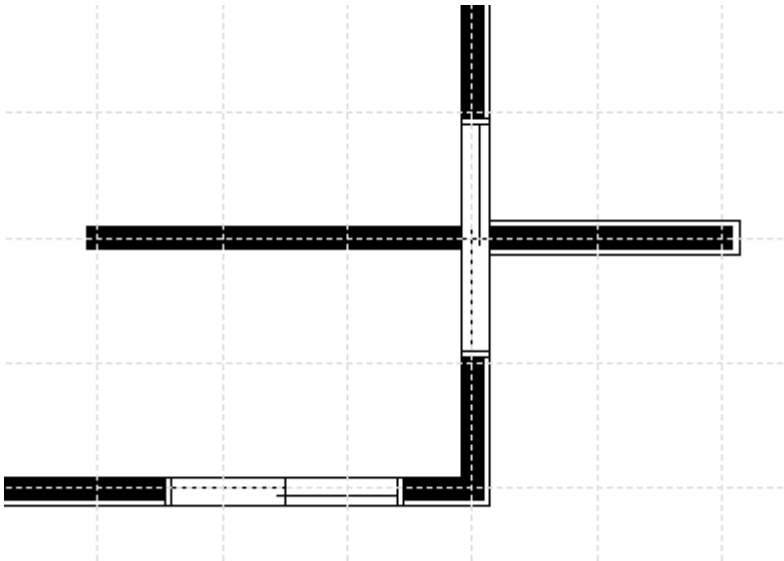


袖壁

建物の外側に壁を作成した場合は、独立した袖壁として扱われます。
外壁用のテクスチャが適用され、1階の場合は建物基礎が自動的に追加されます。
水切りや笠木の有無は、後から設定を変更することができます。



※室内と室外を跨いで壁を作成した場合は、室内と室外で壁が分断され、
室内は内壁、室外は袖壁の仕様が適用されます。



壁設定画面

内壁選択時

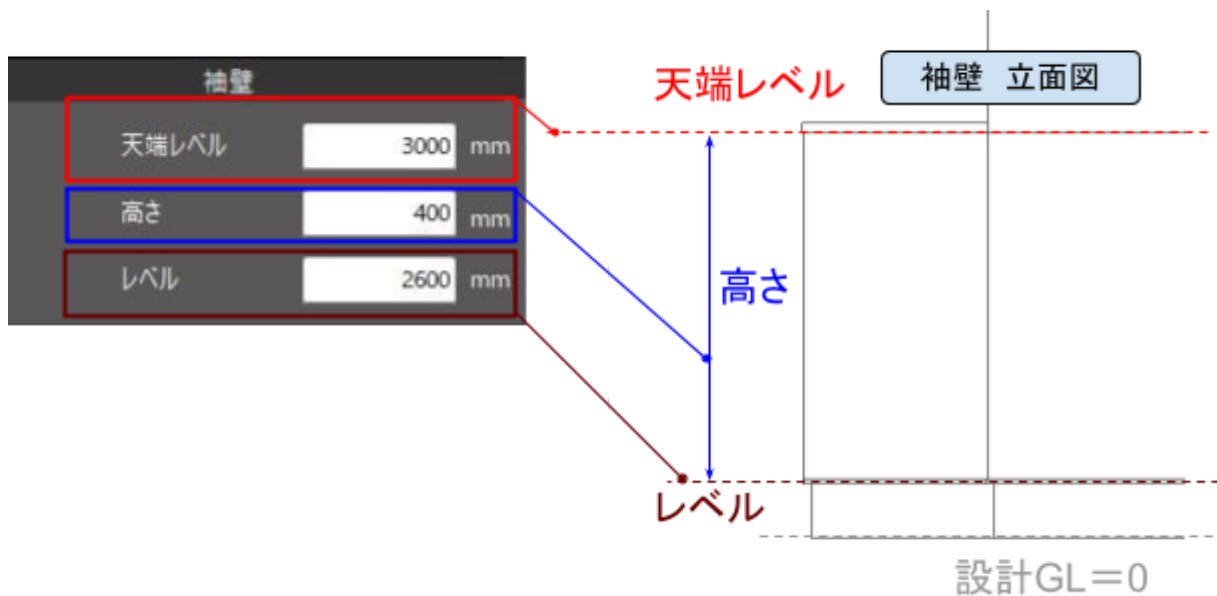
長さ設定と端部設定のみ可能です。

詳細については

(WEBマニュアル「[壁ツール 長さ設定と端部設定](#)」 or 本紙Ref 44参照)



袖壁選択時



「天端レベル」「レベル」は、07CADのレベル設定に準拠しています。

- 天端レベル 壁の天端のレベルを示します。
- 高さ 壁の高さを示します。
- レベル 壁の下端レベルを示します。

外壁設定

- ※外壁、幕板の設定ができます。
- 笠木を設定する
 - 笠木をON、OFFできます。
- 笠木の幅 mm
 - 笠木の幅を変更できます。
- 笠木の高さ mm
 - 笠木の高さを変更できます。
- 手すり設定
 - ※手すりの種類を変更できます。

外壁設定・・・外壁、幕板の設定ができます。

(※WEBマニュアル「[外壁設定](#)」or本紙Ref 66を参照)

笠木を設定する・・・笠木をON、OFFできます。

笠木の幅、高さ・・・笠木の幅、高さを変更できます。

手すり設定・・・手すりの種類を変更できます。

(※WEBマニュアル「[手すり変更](#)」or本紙Ref 118を参照)

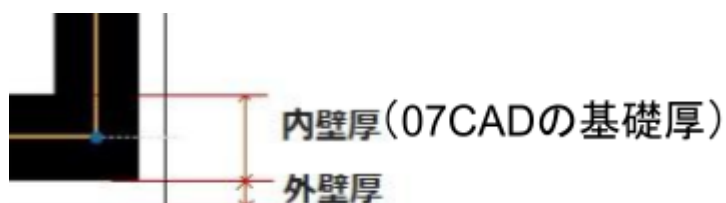
壁設定

- 内壁の厚み mm
- 外壁の厚み mm
 - 外壁の厚みを入力できます。
- 水切りを設定する
 - 水切りを設定できます。2F以上の場合、下の階がない場所に水切りが設定されます。
 - 水切りの幅 mm
 - 水切りの高さ mm
 - 水切りの幅と高さを入力できます。

内壁厚(07CADの基礎厚)
外壁厚

外壁の厚み・・・外壁の厚みを入力できます。

他の階も同時に変更する場合は選択解除時の「建物壁設定」から設定してください。



水切りを設定する・・・水切りをON、OFFできます。

2F以上の場合、下の階がない場所に水切りが設定されます。

水切りの幅、高さ・・・水切りの幅、高さを変更できます。

長さ設定と端部設定の詳細については

(※WEBマニュアル「[壁ツール 長さ設定と端部設定](#)」 or 本紙Ref 44を参照)



垂れ壁



外壁と内壁の違い

壁を室内に作成した場合、内壁として扱われます。
内装用のテクスチャが適用され、巾木、廻り縁が自動的に追加されます。



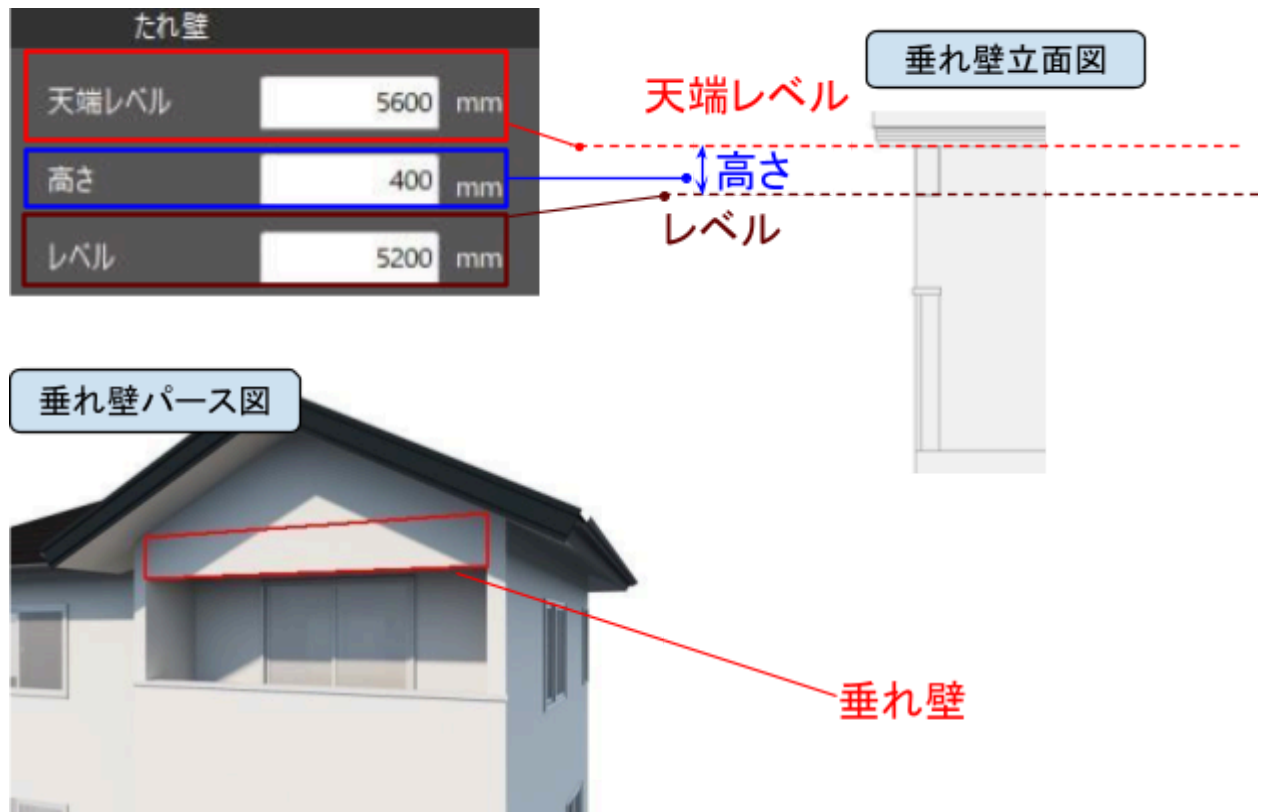
壁を建物の外側に作成した場合、外壁として扱われます。
外装用のテクスチャが適用され、水切りの有無は後から設定することが可能です。



垂れ壁設定画面

下図は、垂れ壁全体を選択した場合に表示される設定画面です。

※ 垂れ壁の辺のみを選択した場合は、一部の操作が制限されますのでご注意ください。

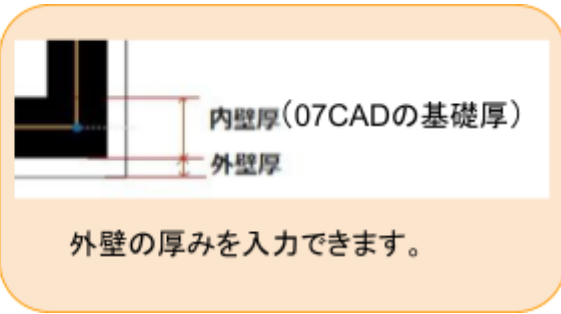


「天端レベル」「レベル」は、07CADのレベル設定に準拠しています。

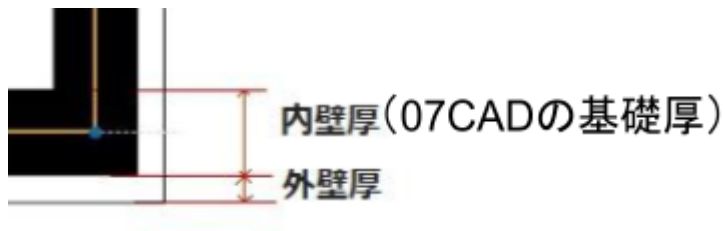
- **天端レベル** 垂れ壁の天端のレベルを示します。
- **高さ** 垂れ壁の高さを示します。
- **レベル** 垂れ壁の下端のレベルを示します。

壁設定

壁設定	
内壁の厚み	<input type="text" value="150"/> mm
外壁の厚み	<input type="text" value="50"/> mm



外壁の厚み・・・外壁の厚みを入力できます。



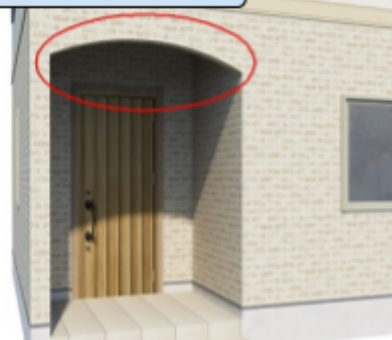
下端のアーチ値

下端のアーチ値	<input type="text" value="150"/> mm
---------	-------------------------------------

垂れ壁 立面図

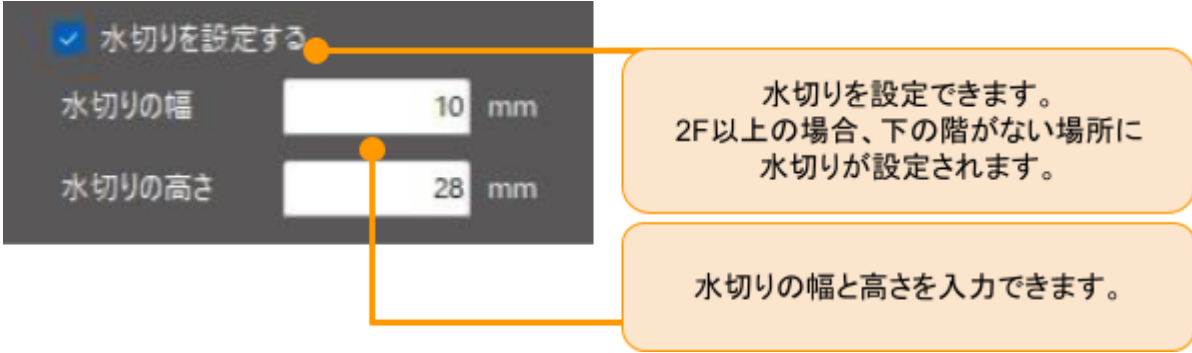


垂れ壁 パース図



アーチ値を入力することで、アーチ形状の垂れ壁を作成できます。
アーチ値が大きいほど、曲がり具合が大きくなります。

(※ 本設定は、垂れ壁全体を選択している場合のみ有効です。
辺選択時には設定できません。)



水切りを設定する

水切りの幅 10 mm

水切りの高さ 28 mm

水切りを設定できます。
2F以上の場合、下の階がない場所に
水切りが設定されます。

水切りの幅と高さを入力できます。

水切りを設定する・・・水切りをON、OFFできます。

2F以上の場合、下の階がない場所に水切りが設定されます。

水切りの幅、高さ・・・水切りの幅、高さを変更できます。

長さ設定と端部設定の詳細については

(※WEBマニュアル「[壁ツール 長さ設定と端部設定](#)」 or 本紙Ref 44を参照)



壁辺

長さ設定

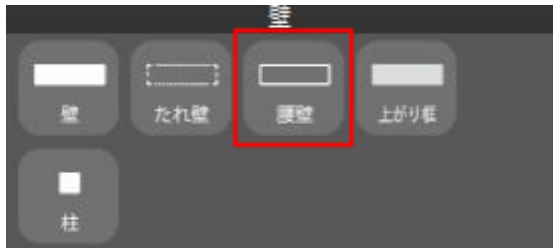
2275 mm

壁端部

の端部を 延長

の端部を 短縮

腰壁

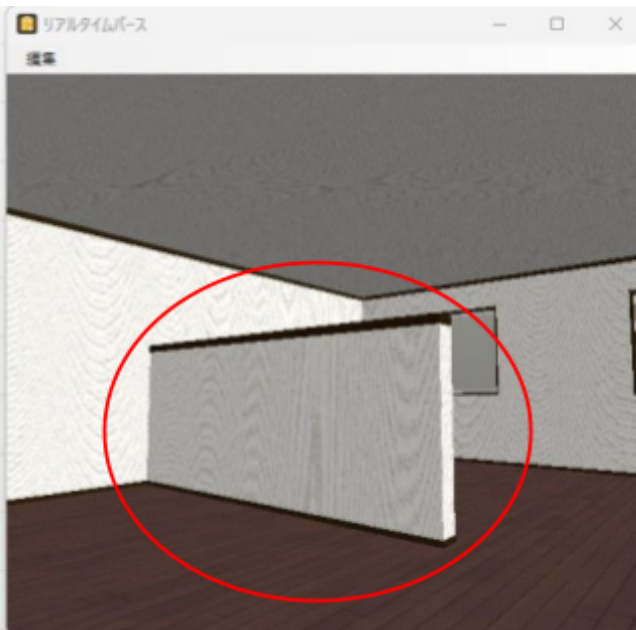
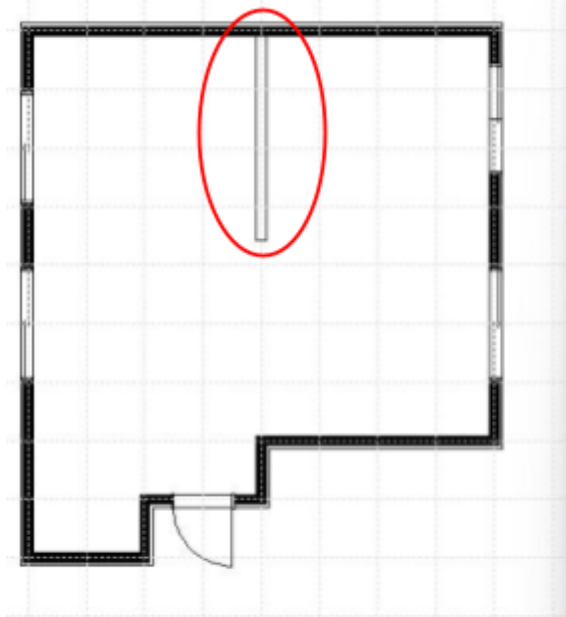


腰壁の性質

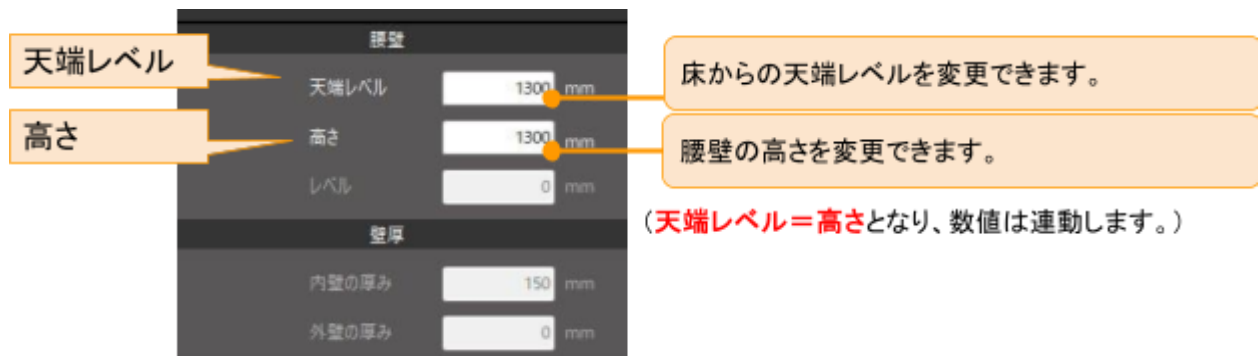
腰壁は、**室内用の腰高の壁です。**

室内に配置して使用し、外壁には使用しません。

室内に配置した腰壁には、内装用の仕様が適用され、
笠木および巾木が自動的に追加されます。



腰壁設定画面



天端レベル・・・床からの天端レベルを変更できます。

高さ・・・腰壁の高さを変更できます。

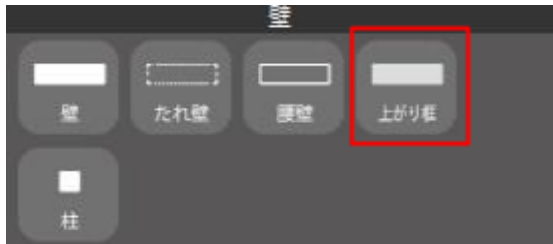
(天端レベル=高さとなり、数値は連動します。)

長さ設定と端部設定の詳細については

(※WEBマニュアル「[壁ツール 長さ設定と端部設定](#)」 or 本紙Ref 44を参照)



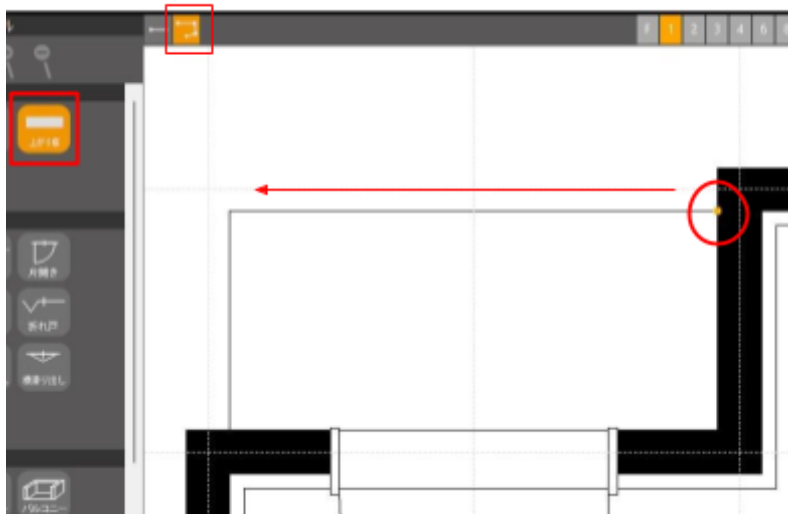
上がり框

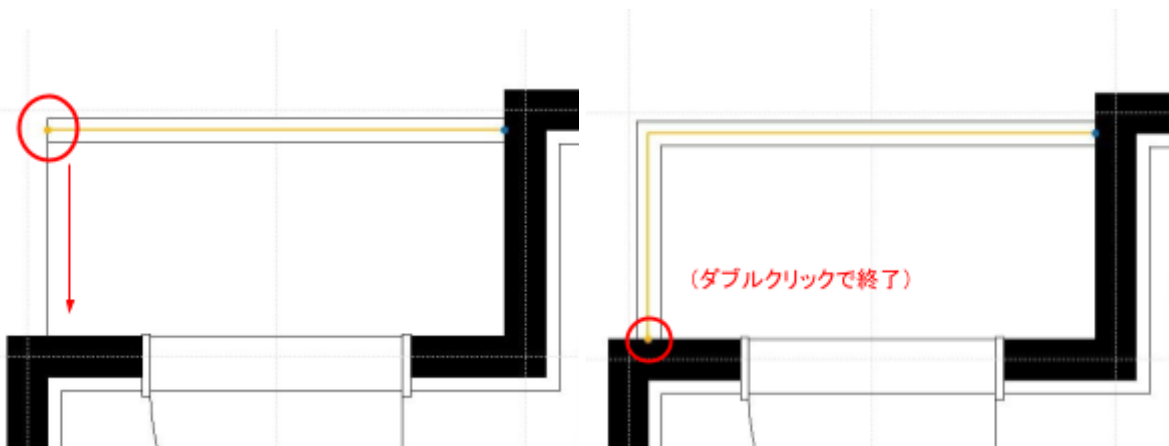


上がり框の作成

上がり框は**玄関土間に配置して使います。**
玄関土間の内側(室内に上がる側)の縁をなぞるように作成し、最後にダブルクリックして確定してください。
ポーチのラインとグリッドのラインが近い場合、誤ってグリッド側にスナップしてなぞってしまう恐れがあります。作成時は、ポーチのラインを正しく捉えていることをご確認ください。

(2辺以上の場合は多角形ツールが書きやすいです)





上がり框設定画面

長さ設定と端部設定のみ可能です。

(※WEBマニュアル「[壁ツール 長さ設定と端部設定](#)」 or 本紙Ref 44を参照)



柱

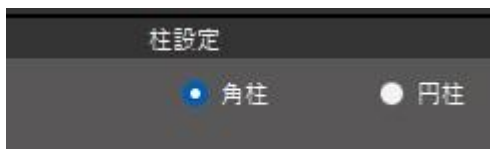


柱の入力

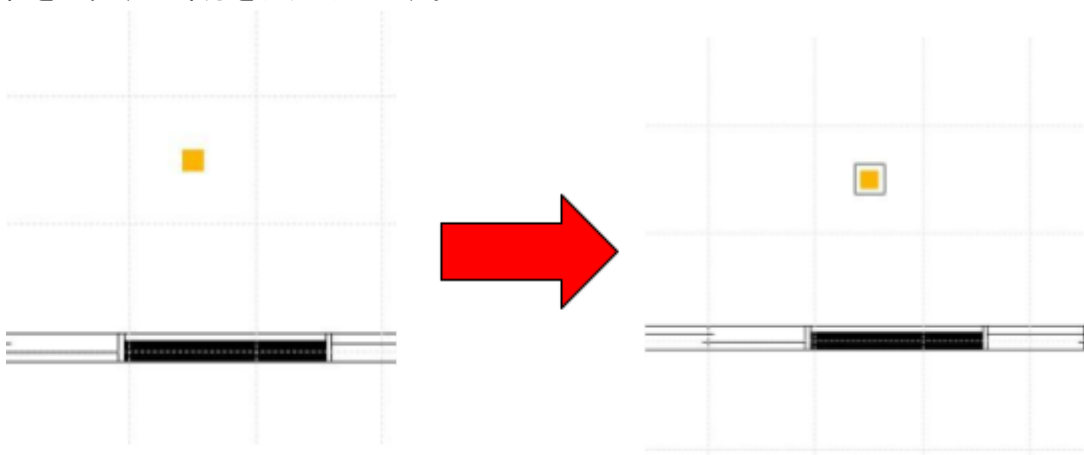
1. 画面左側の柱ボタンをクリックします。



2. 画面右側で角柱、円柱を選択します。



3. 柱を配置する部分をクリックします。

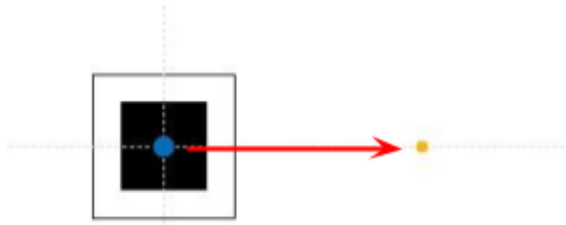


柱入力後の調整方法

位置調整

方法1 ドラッグ

作成した柱をドラッグして位置調整します。



方法2 移動

柱を選択後、編集メニュー→移動:数値を指定して柱を移動します。

右クリック→移動でも同様に操作できます。

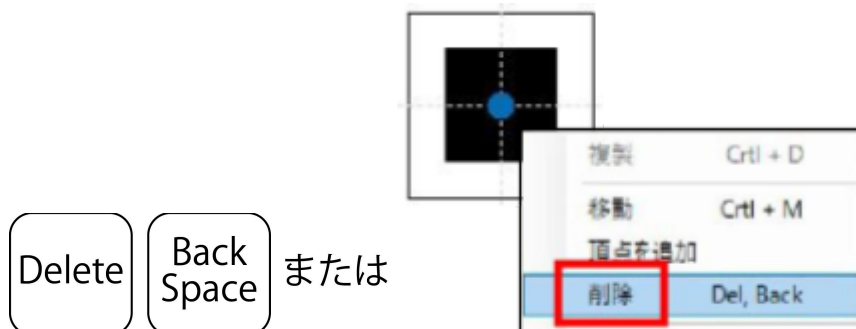
(移動:WEBマニュアル「[編集メニュー](#)」 or 本紙Ref 28を参照)



削除

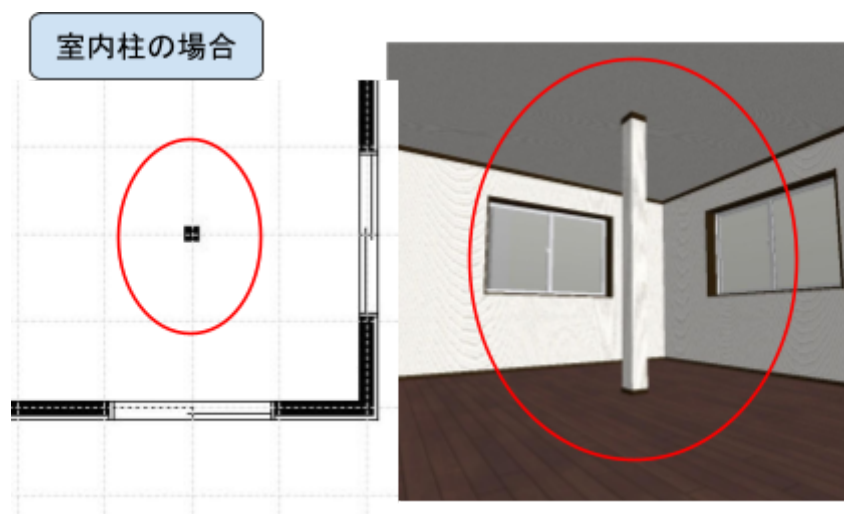
削除する柱を選択し、「Delete」キーまたは「Backspace」をクリックします。

または選択せずに直接右クリックし、「削除」をクリックします。

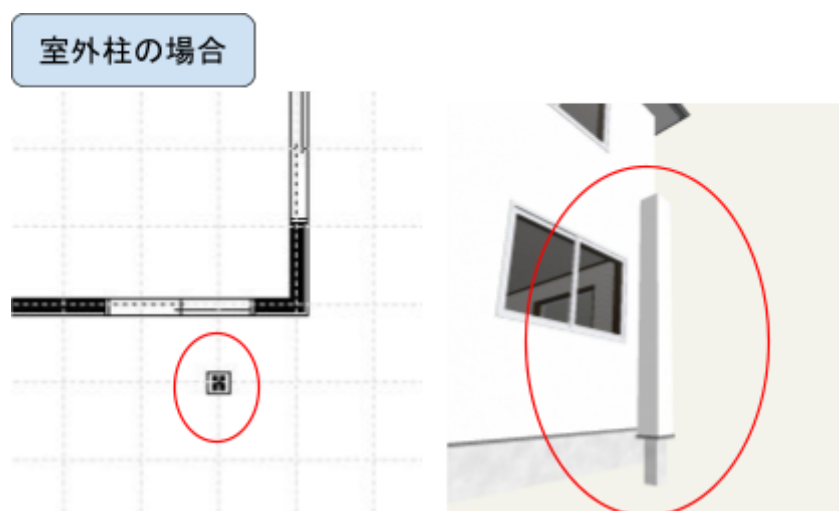


室外柱と室内柱の違い

室内に作成した場合、室内柱として扱われます。
内装用のテクスチャが適用され、巾木および廻り縁が自動的に追加されます。



建物の外に作成した場合は、室外柱として扱われます。
外壁のテクスチャが適用され、1階の場合は建物基礎が自動的に追加されます。
水切りや笠木の有無は、後から設定を変更することができます。



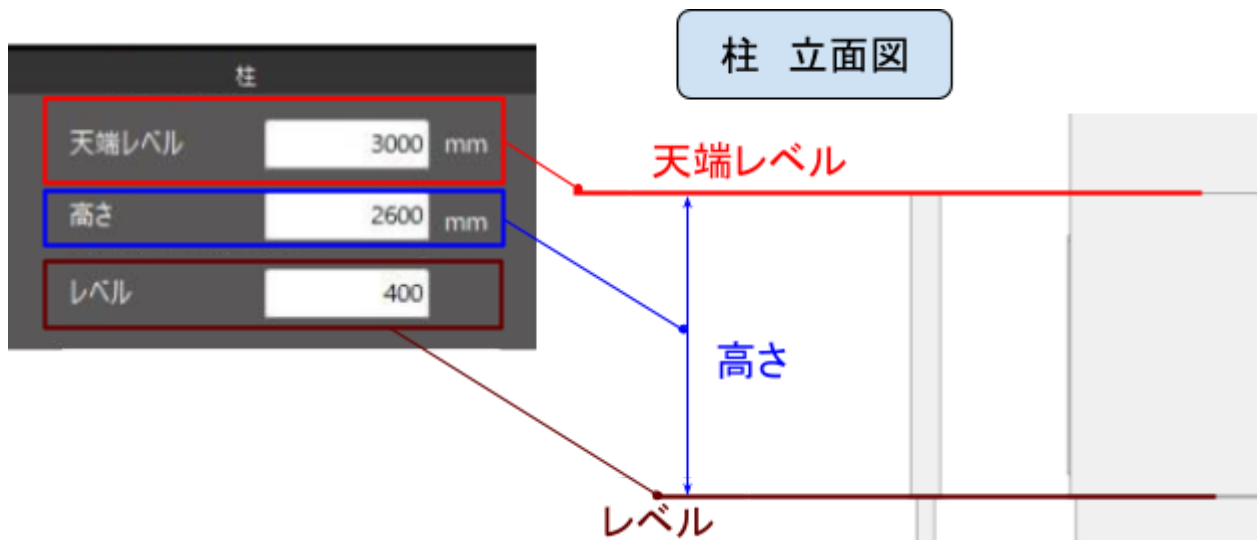
柱設定画面

室内柱選択時

設定できる項目は、角柱／円柱の選択のみとなります。



室外柱選択時



「天端レベル」、「レベル」は07CADで設定したレベルと同じ基準で考えます。

- **天端レベル** 柱の天端のレベルを示します。
- **高さ** 柱の高さを示します。
- **レベル** 柱の下端のレベルを示します。

The screenshot shows the '外壁設定' (Exterior Wall Settings) menu. It includes a '壁設定' (Wall Settings) section with the following options:

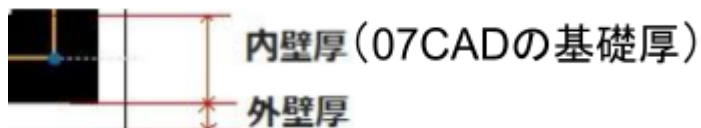
- 内壁の厚み (Inner Wall Thickness): 150 mm
- 外壁の厚み (Outer Wall Thickness): 5 mm
- 水切りを設定する (Set Drip Edge)
- 水切りの幅 (Drip Edge Width): 10 mm
- 水切りの高さ (Drip Edge Height): 28 mm

Callouts on the right side of the image explain the following features:

- 柱、幕板の設定ができます。 (You can set columns and curtains.)
- 柱の厚みを入力できます。 (You can input the column thickness.)
- 水切りを設定できます。2F以上の場合、下の階がない場所に水切りが設定されます。 (You can set the drip edge. In the case of 2F or above, the drip edge is set in places where there is no lower floor.)
- 水切りの幅と高さを入力できます。 (You can input the drip edge width and height.)

外壁設定・・・水切りの幅と高さを入力できます。
 (※WEBマニュアル「[外壁設定](#)」or 本紙Ref 66を参照)

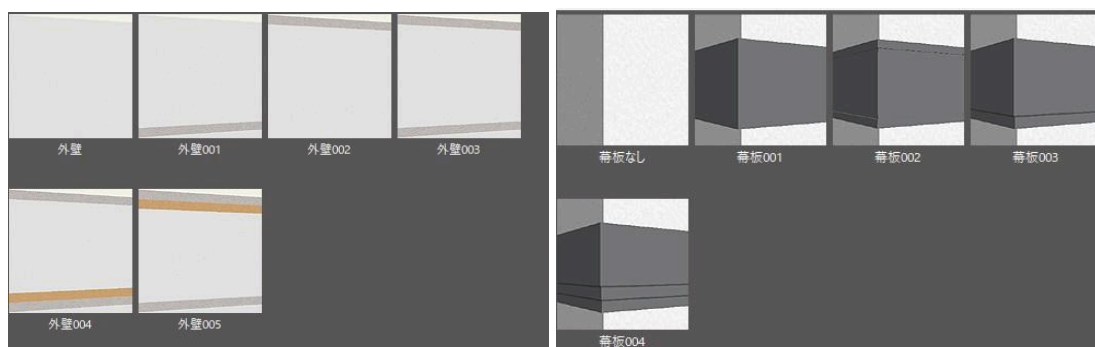
外壁の厚み・・・柱の厚みを入力できます。



水切りを設定する・・・水切りを設定できます。

水切りの幅、高さ・・・水切りの幅と高さを入力できます。

外壁設定



外壁、袖壁、バルコニー、柱の詳細設定にて、外壁設定、幕板設定を変更できます。

外壁設定と幕板設定の違い

外壁設定

壁(柱)を指定したデザインに変更できます。



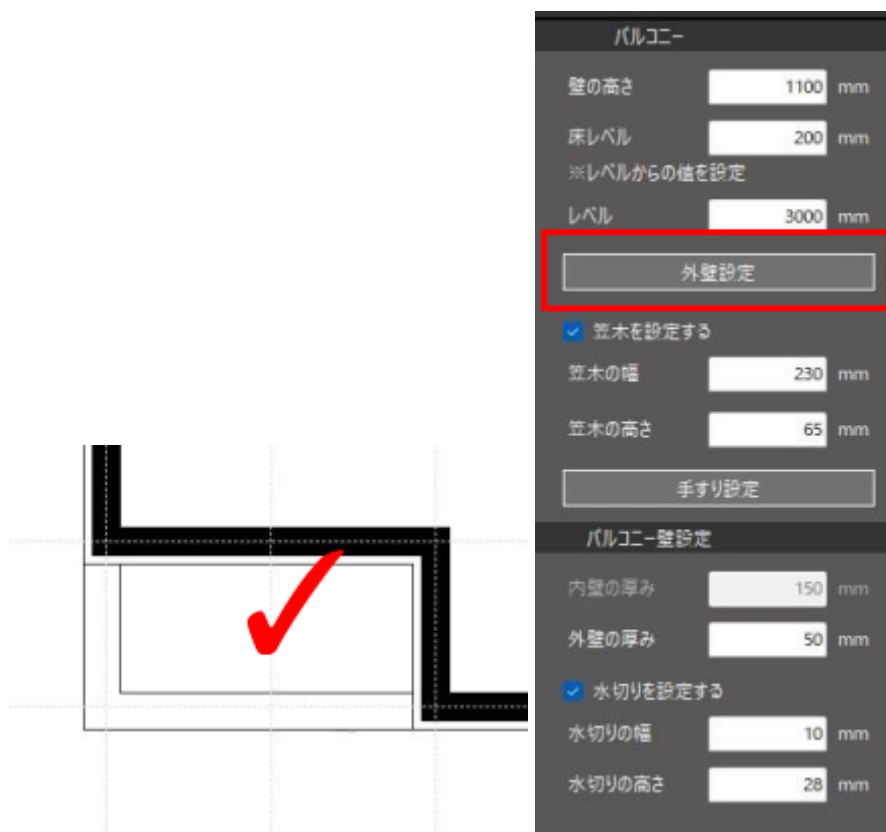
幕板設定

壁(柱)に指定した幕板をつけることができます。幕板には少し厚みがあります。



外壁設定、幕板設定の入力方法

1. 外壁、幕板を変更する部分を選択し、画面右の「外壁設定」をクリックすると、外壁設定画面が立ち上がります。

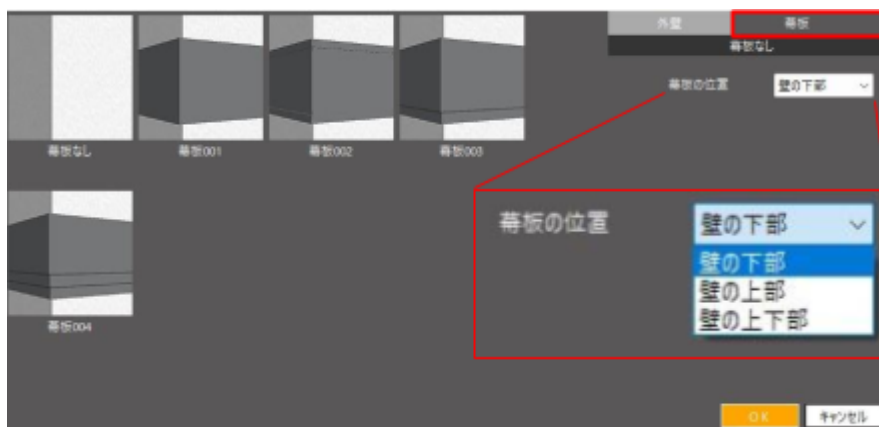


2. **外壁の変更**
使いたい外壁の種類を左側の画面で選択します。



幕板の変更

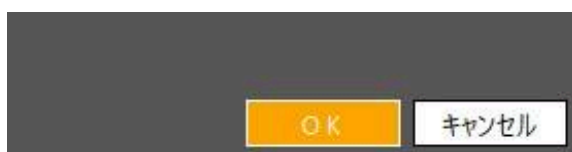
幕板のタブに切り替え、使いたい幕板の種類を左側の画面で選択します。
右側の画面で幕板の位置を選択します。



(下画像はバルコニー、幕板001の場合)



3. 操作が完了したらOKボタンで画面を閉じます。



サッシの種類



通常のサッシ（パラメトリックコンテンツ）

1部の特殊なサッシ（次の項目参照）を除いて、建物ビルダーのサッシは指定した条件に基づいて特性や形状が決定されます。（下画面は引き違い窓の場合）



特殊なサッシ

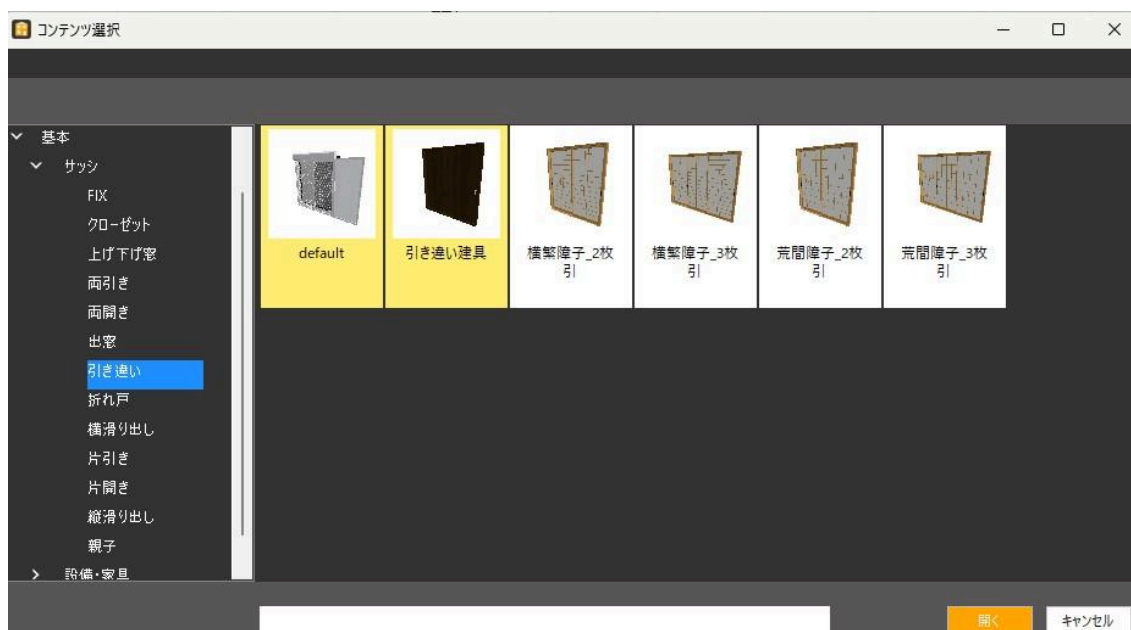
特殊なサッシとは以下の3つを指します。

- 出窓
- ひし形や三角、アール形、サークル形など窓 (fix)
- 横繁障子 (引違い、両引きのみ)

上記のサッシは条件の指定がなく、特性や形状が固定で、サイズのみ変更可能です。
(格子がある出窓のみ、オプション設定でON/OFFの切り替えが可能です。)



上記のサッシはコンテンツ選択画面 (※WEBマニュアル「[サッシの入力方法2-2](#)」 or 本紙Ref 76を参照) で白い背景で表示されます。



サッシの入力



サッシの種類

建物ビルダーのサッシは通常のサッシと特殊なサッシの2種類あります。

(※WEBマニュアル「[サッシの種類](#)」 or 本紙Ref 71を参照)

サッシの入力方法は2つありますが、特殊なサッシは方法2のみ入力可能です。

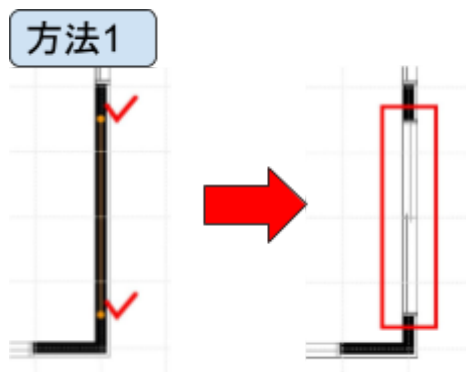
2つの入力方法の特徴

方法1はサイズ、オプション設定、カラー設定などを入力前に設定できます。

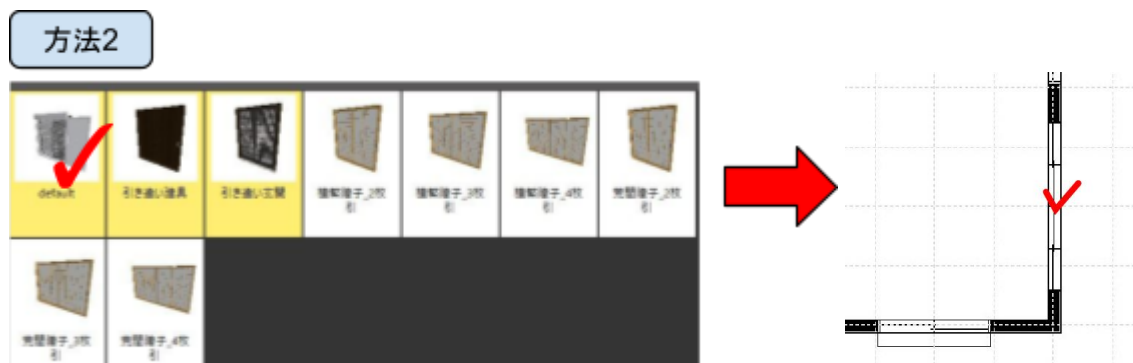
また、2点のクリックでサッシのサイズ、入力範囲を指定できます。

(開口は方法1のみ配置可能です。)

(入力後は画面右の「コンテンツ変更」ボタンで置き換えも可能です。)



方法2は、決まった規格のサッシを入れて、後からサイズやオプションを設定します。



サッシの入力方法

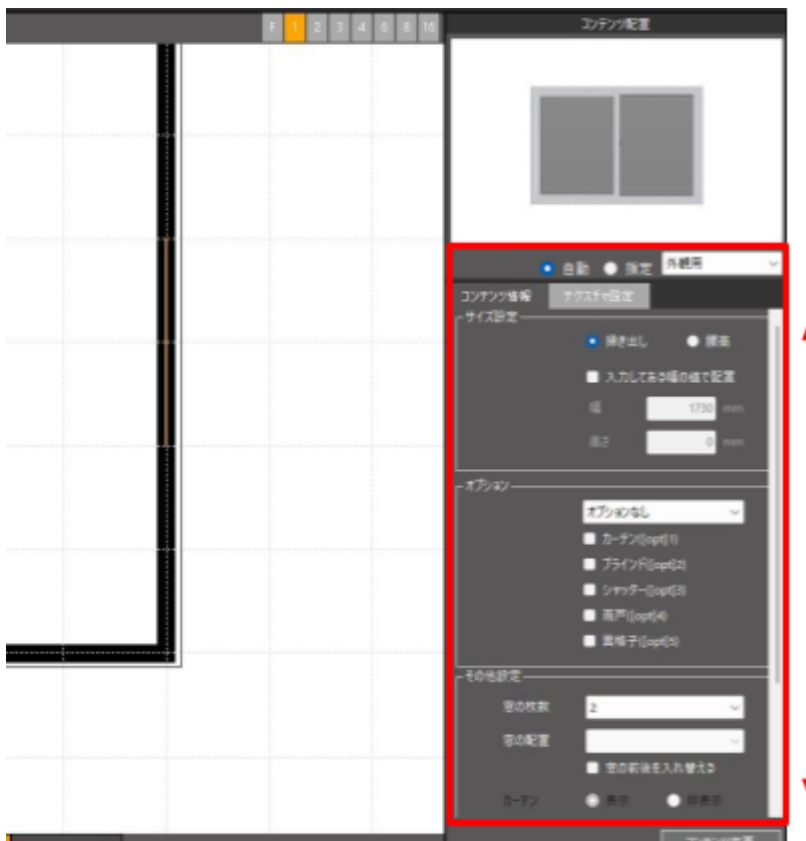
方法1 配置前に詳細を設定してから配置する

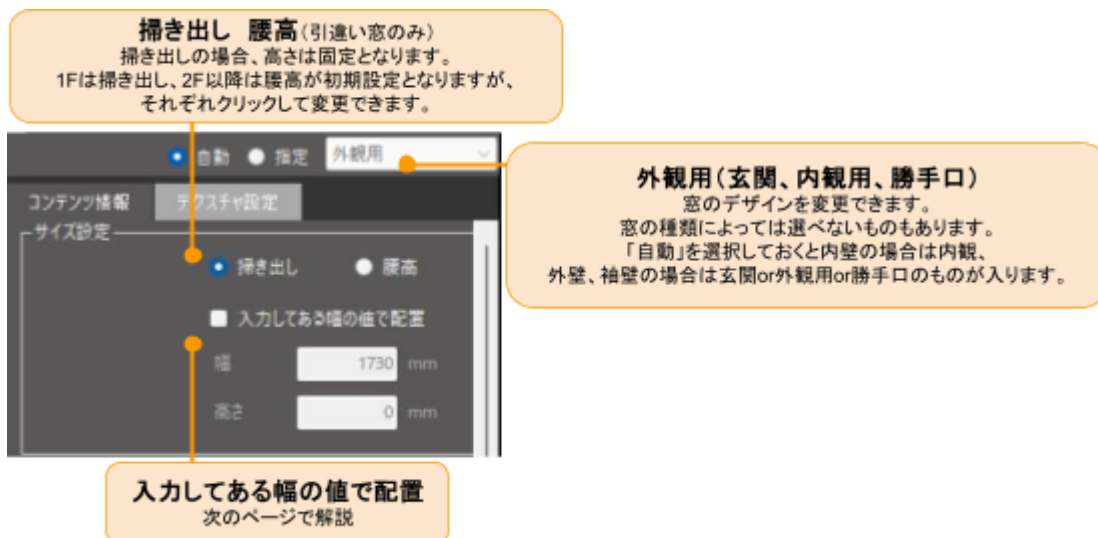
1. 画面左の「サッシ」で入力したいサッシタイプをクリックで選択します。



選択したサッシタイプがオレンジ色になります。

2. 画面右で詳細設定をします。





掃き出し 腰高（引違い窓のみ）

掃き出しの場合、高さは固定となります。

1Fは掃き出し、2F以降は腰高が初期設定となりますが、それぞれクリックして変更できます。

外観用（内観用、勝手口）

窓のデザインを変更できます。窓の種類によっては選べないものもあります。

「自動」を選択しておく、内壁の場合は内観、

外壁、袖壁の場合は玄関or外観用or勝手口のものが入ります。

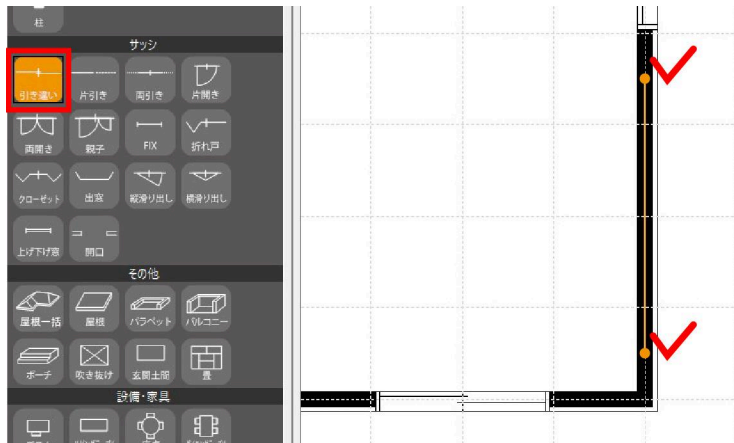
入力してある幅の値で配置

次のページで解説

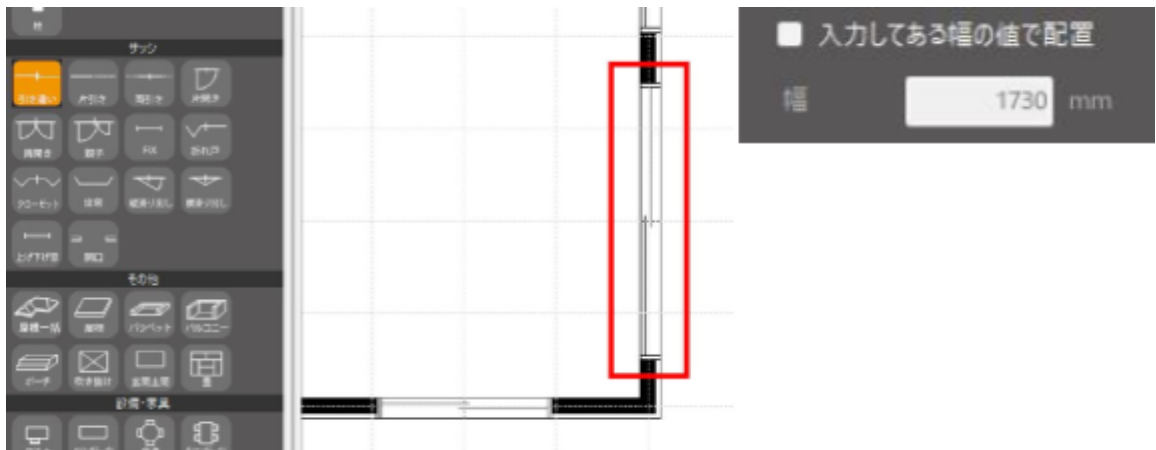
他、詳細設定はサッシごとのWEBマニュアルをご参照ください。

（テクスチャ設定：WEBマニュアル「[サッシのテクスチャ設定](#)」or 本紙Ref 81を参照）

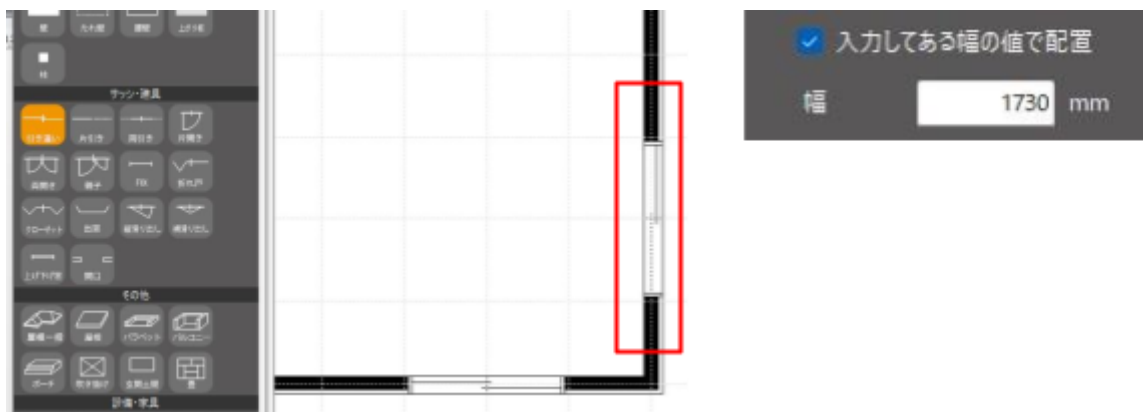
3. サッシを入りたい範囲の端点をクリックで指定します。



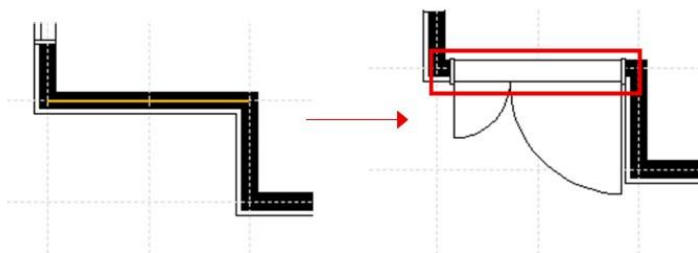
「入力してある幅の値で配置」✓なしの場合
クリックした範囲でサッシが配置されます。



「入力してある幅の値で配置」✓ありの場合
クリックした範囲の中央に、「幅」で入力したサイズのサッシが配置されます。



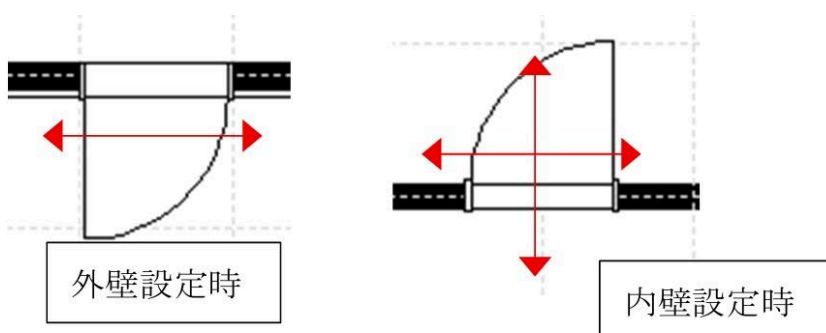
壁辺と同じ長さで入力した際は、壁の厚み分内部に設定されるようサイズが自動調整されます。



4. 扉の向きを指定します。

内壁の場合は、左右の扉の向きに加え、内開き・外開きを含めた4方向から指定できます。

外壁の場合は、左右の扉の向きによる2方向から指定します。



5. 作成が終わったら矢印ツールに戻しておきましょう。



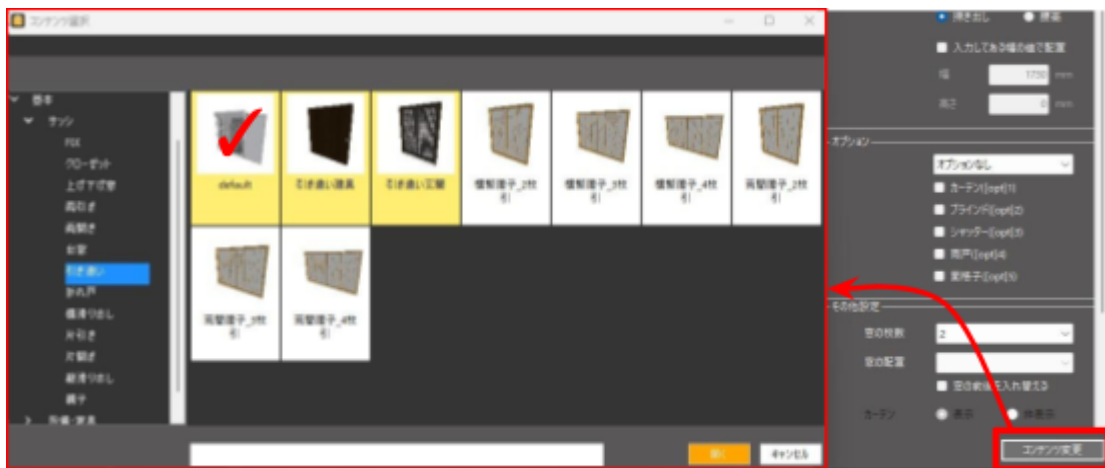
方法2 決まった規格のサッシを配置後、詳細設定する

1. 画面左の「サッシ」で入力したいサッシタイプをクリックで選択します。

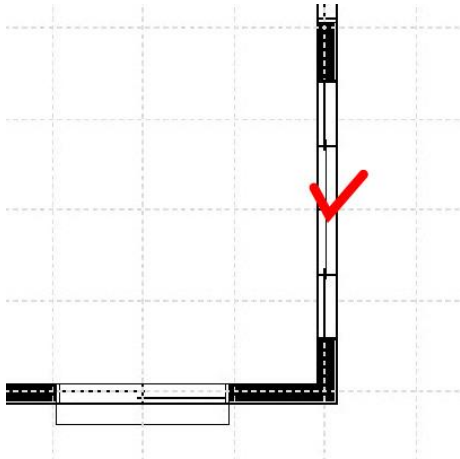


選択したサッシタイプがオレンジ色になります。

2. 画面右の「コンテンツ変更」をクリックし、一覧からサッシを選びます。
「開く」をクリックします。(出窓の場合、自動的にコンテンツ選択画面がでます)



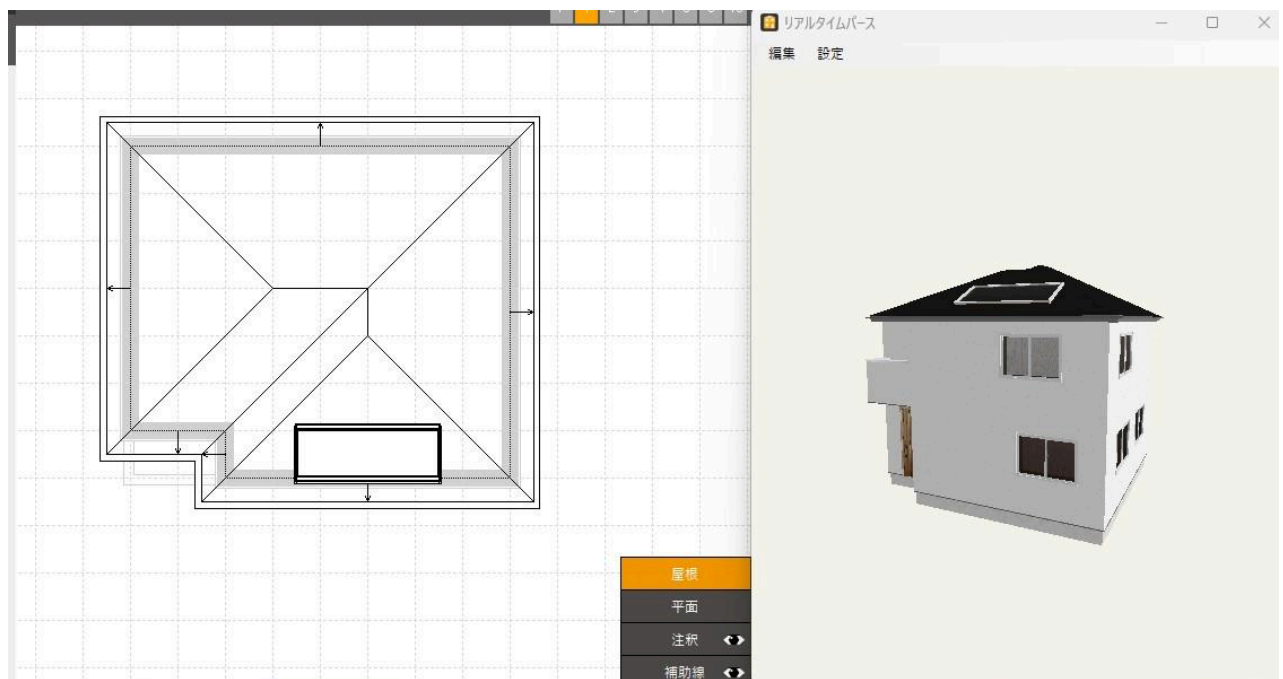
3. サッシを入りたい位置をクリックします。



4. 作成が終わったら矢印ツールに戻しておきましょう。



※屋根のレイヤで上記の操作を行うと、天窗を配置することができます。



サッシの配置設定

配置設定 コンテンツ情報 テクスチャ設定

床からのレベル mm

から mm から mm

設定位置

壁芯 貼付 (手前) 貼付 (奥)

開口する

タイル位置を指定 タイルを周囲に設定

上 下 左 右

高さ mm 厚み mm

位置調整

配置したサッシを選択し右側の画面で設定します。

配置設定 コンテンツ情報 テクスチャ設定

床からのレベル mm

から mm から mm

設定位置

壁芯 貼付 (手前) 貼付 (奥)

開口する

タイル位置を指定 タイルを周囲に設定

上 下 左 右

高さ mm 厚み mm

床からのレベル
床からのレベルを変更できます。

※1
平面図の青点、赤点と連動しています。サッシの中央までの距離を入力します。

設定位置
設置した壁に対してのサッシの奥行位置の設定です。

開口する
壁をサッシの大きさに開口するか選択します。

床からのレベル・・・床からのレベルを変更できます。

設定位置・・・設置した壁に対してのサッシの奥行位置の設定です。

開口する・・・壁をサッシの大きさに開口するか選択します。

※1・・・平面図の青点、赤点と連動しています。サッシの中央までの距離を入力します。

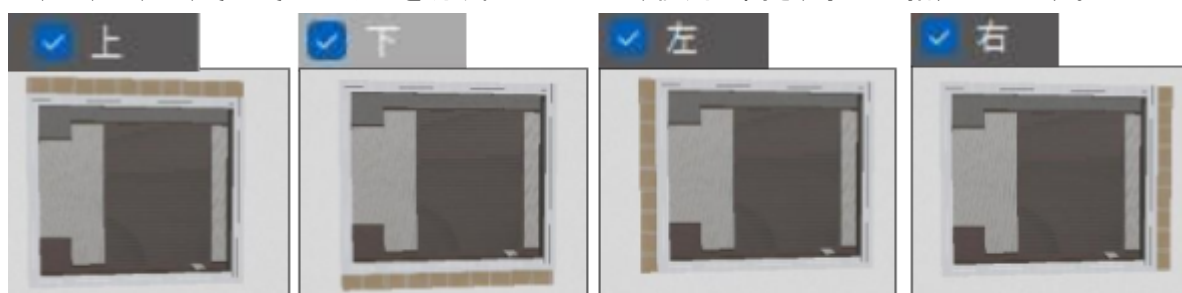
タイル追加



サッシの周囲にタイルを追加することができます。

タイル位置を指定

上、下、左、右、それぞれにチェックをつけることで個別にタイルの有無を設定できます。
上、下、左、右、それぞれのタブを切り替えることで、個別で高さ、厚みが指定できます。



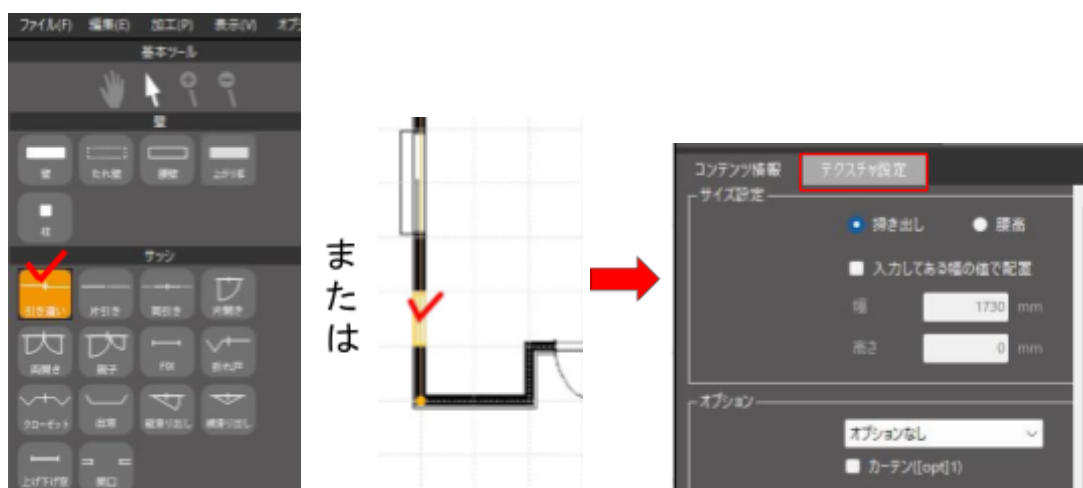
タイルを周囲に設定

サッシの周囲に一括でタイルを追加します。
三角形や台形などのサッシにも対応しています。

サッシのテクスチャ設定



1. サッシ配置前にテクスチャ設定する場合は、サッシツールでほしいサッシを選んで右側の画面で設定します。サッシ配置後にテクスチャ設定する場合は、配置したサッシを選択し右側の画面で設定します。「テクスチャ設定」タブをクリックします。



2. 「テクスチャ設定」タブをクリックします。



3. テクスチャセットを選びます。



4. 必要に応じて個別設置をします。



上画面でテクスチャを変えたい部材を選択し、
下画面「テクスチャ選択」でテクスチャを選択します。

テクスチャを選択する際は、テクスチャ名をクリックしてから
チェックボックスをクリックします。

引き違い



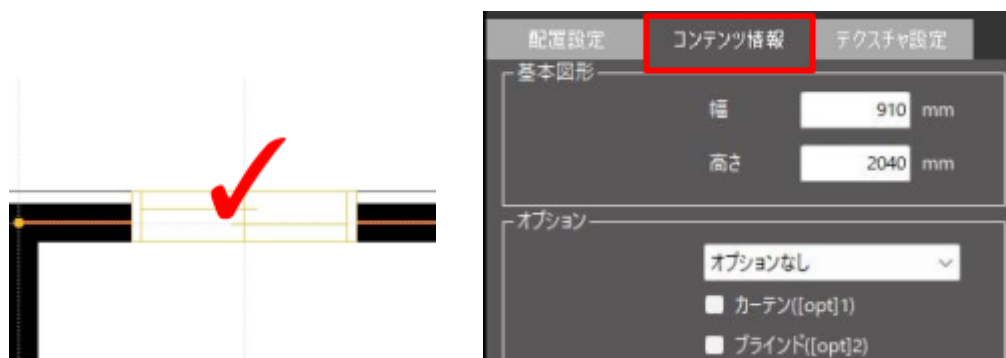
詳細設定 コンテンツ情報

サッシの設定は、配置前・配置後のいずれでも行えます。

- ・ **サッシ配置前** 引き違いのツールボタンをクリックし、右側の画面で設定します。



- ・ **サッシ配置後** 配置済みのサッシを選択し、右側の画面で設定します。



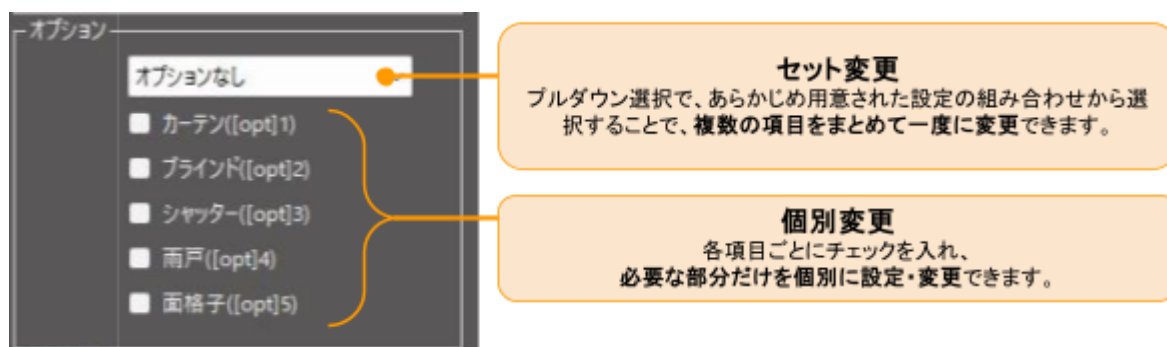
基本図形



配置後のサッシのサイズ変更ができます。

オプション

複数項目をまとめて変更する「セット変更」と、必要な項目のみを調整する「個別変更」を使い分けることができます。



セット変更

プルダウン選択で、あらかじめ用意された設定の組み合わせから選択することで複数の項目をまとめて一度に変更できます。

個別変更

各項目ごとにチェックを入れ、必要な部分だけを個別に設定・変更できます。

その他設定

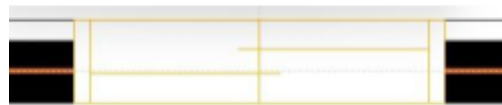
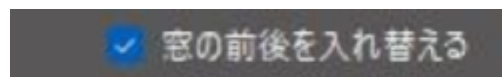
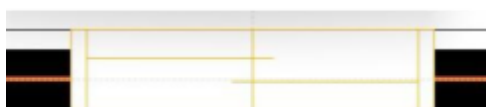
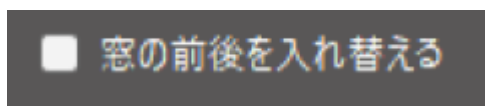
窓の設定、オプションで有効にした項目の設定、鍵の取り込みができます。

窓の設定



The screenshot shows a dark-themed settings panel titled 'その他設定' (Other Settings). It contains three items: '窓の枚数' (Number of windows) with a dropdown menu set to '2', '窓の配置' (Window arrangement) with a dropdown menu, and a checkbox labeled '窓の前後を入れ替える' (Swap front and back windows) which is currently unchecked.

- **窓の枚数** 窓の枚数を2～4枚に設定できます。
- **窓の配置** 内外内、外内外など窓の配置を変更できます。
窓の枚数が2枚の場合は1:2比率の窓、
3枚の場合は、1:2:1比率の窓を選択できます。
- **窓の前後を入れ替える** 窓の前後関係が入れ替わります。



オプション詳細設定



オプションでチェックを付けた項目については、ラジオボタンの切り替えやプルダウン選択により、各項目の詳細設定を行うことができます。カーテンやブラインドを非表示にした場合は、カーテンレールおよびヘッドボックスのみの表示となります。また、面格子の種類は、プルダウンから形状を変更できます。



鍵の取り込み



「取手をファイルから取り込む」をクリックすると、外部からdxfファイル、もしくはsbcファイルの取っ手(鍵)データを取り込んで使用できます。

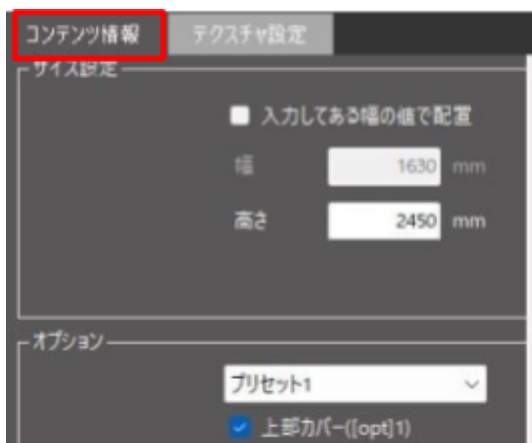
片引き



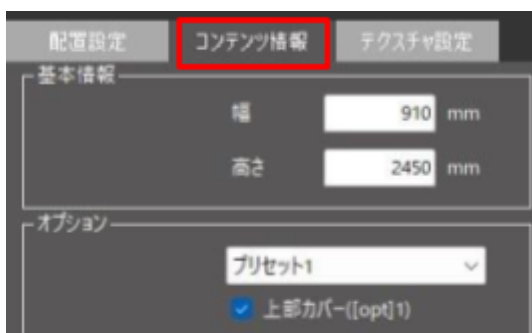
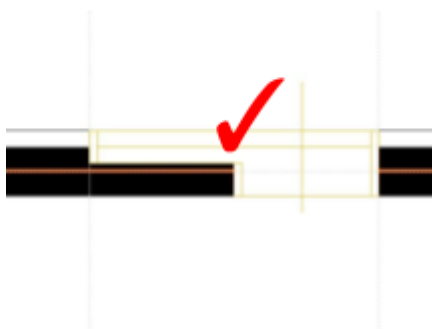
詳細設定 コンテンツ情報

サッシの設定は、配置前・配置後のいずれでも行えます。

- ・ **サッシ配置前** 片引きのツールボタンをクリックし、右側の画面で設定します。



- ・ **サッシ配置後** 配置済みのサッシを選択し、右側の画面で設定します。



基本図形

配置設定 コンテンツ情報 テクスチャ設定

基本図形

幅 910 mm

高さ 2040 mm

配置後のサッシのサイズ変更ができます。

オプション

オプション

プリセット1

上部カバー([opt]1)

下レール([opt]2)

戸先側縦枠([opt]3)

戸尻側縦枠([opt]4)

オプションは、各項目のチェックを個別に付け外しすることで設定できます。個別変更を行った場合、セット変更の項目は自動的に「カスタム」に切り替わります。セット変更のプルダウンから「プリセット1」を選択し直すことで、全項目のチェックがすべてオンの状態に戻ります。

その他設定

「扉」「レールカバー」「取手」の表示や配置などの詳細設定を行うことができます。

扉、レールの設定

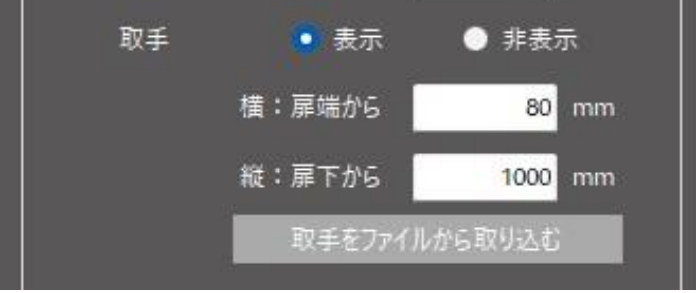
その他設定

扉の位置 左 右

レールカバーサイズ 150 mm

- **扉の位置** 左開きか右開きかを設定できます。
- **レールカバーサイズ** レールカバーの高さを変更できます。

取っ手の設定



The screenshot shows a settings window titled "取手" (Handle). At the top, there are two radio buttons: "表示" (Show) which is selected, and "非表示" (Hide). Below this, there are two input fields: "横：扉端から" (Horizontal: from door edge) with a value of "80 mm", and "縦：扉下から" (Vertical: from door bottom) with a value of "1000 mm". At the bottom, there is a button labeled "取手をファイルから取り込む" (Load handle from file).

表示／非表示を切り替えることができます。

テクスチャにあらかじめ取っ手が含まれている場合は、非表示に設定してください。

設定を「表示」にした場合は、

扉端からの距離および扉下からの距離を数値で指定できます。

また、「取手をファイルから取り込む」をクリックすると、

外部からdxfファイル、もしくはsbcファイルの取っ手(鍵)データを取り込んで使用できます。

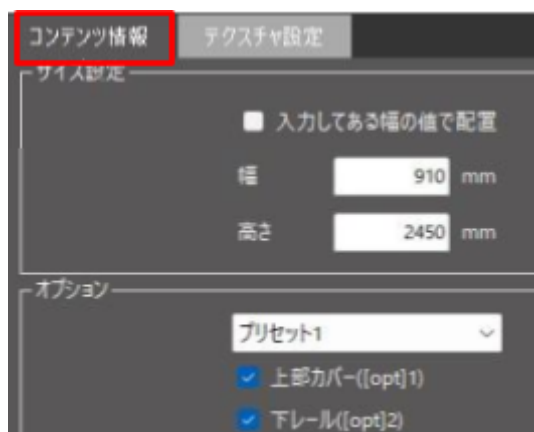
両引き



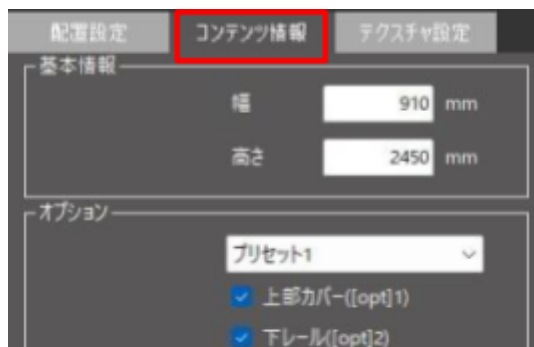
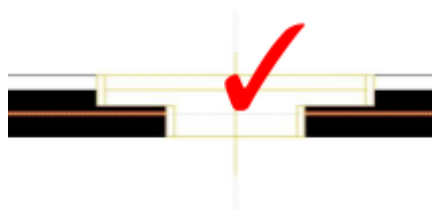
詳細設定 コンテンツ情報

サッシの設定は、配置前・配置後のいずれでも行えます。

- ・ **サッシ配置前** 片引きのツールボタンをクリックし、右側の画面で設定します。



- ・ **サッシ配置後** 配置済みのサッシを選択し、右側の画面で設定します。



基本図形

The screenshot shows a settings panel with three tabs: '配置設定' (Layout Settings), 'コンテンツ情報' (Content Information), and 'テキストチャ設定' (Text Character Settings). The '基本図形' (Basic Shape) section is active, displaying two input fields: '幅' (Width) set to 910 mm and '高さ' (Height) set to 2040 mm.

配置後のサッシのサイズ変更ができます。

オプション

The screenshot shows the 'オプション' (Options) section with a dropdown menu currently set to 'プリセット1'. Below the dropdown are three checked options: '上部カバー([opt]1)', '下レール([opt]2)', and '戸先側縦枠([opt]3)'. Each option has a blue checkmark to its left.

オプションは、各項目のチェックを個別に付け外しすることで設定できます。個別変更を行った場合、セット変更の項目は自動的に「カスタム」に切り替わります。セット変更のプルダウンから「プリセット1」を選択し直すことで、全項目のチェックがすべてオンの状態に戻ります。

その他設定

オプションで有効にした項目と取っ手について、表示や配置などの詳細設定を行うことができます。

レールの設定

The screenshot shows the 'その他設定' (Other Settings) section with a single input field labeled 'レールカバーサイズ' (Rail Cover Size) set to 150 mm.

レールカバーサイズ レールカバーの高さを変更できます。

取っ手の設定



取手 表示 非表示

横：扉端から mm

縦：扉下から mm

取手をファイルから取り込む

表示／非表示を切り替えることができます。

テクスチャにあらかじめ取っ手が含まれている場合は、非表示に設定してください。

設定を「表示」にした場合は、

扉端からの距離および扉下からの距離を数値で指定できます。

また、「取手をファイルから取り込む」をクリックすると、

外部からdxfファイル、もしくはsbcファイルの取っ手(鍵)データを取り込んで使用できます。

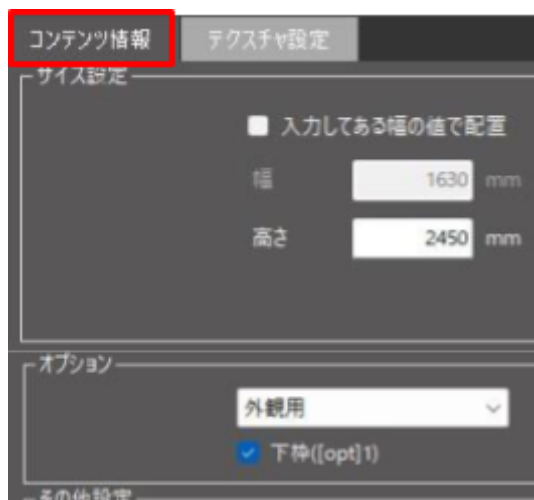
片開き



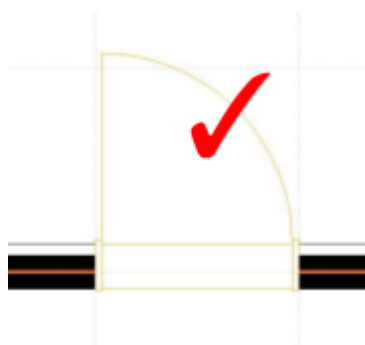
詳細設定 コンテンツ情報

サッシの設定は、配置前・配置後のいずれでも行えます。

- ・ **サッシ配置前** 片引きのツールボタンをクリックし、右側の画面で設定します。



- ・ **サッシ配置後** 配置済みのサッシを選択し、右側の画面で設定します。



基本図形

The screenshot shows a settings panel with three tabs: '配置設定' (Layout Settings), 'コンテンツ情報' (Content Information), and 'テクスチャ設定' (Texture Settings). The '基本図形' (Basic Shape) section is active, displaying two input fields: '幅' (Width) set to 910 mm and '高さ' (Height) set to 2040 mm.

配置後のサッシのサイズ変更ができます。

オプション

The screenshot shows the 'オプション' (Options) section. It features a dropdown menu currently set to '外観用' (Exterior Use) and a checked checkbox labeled '下枠([opt]1)' (Bottom Frame).

チェックのつけ外しをすることで、「下枠」の有る／無しが変更できます。

その他設定

「扉」と「枠」の配置する向きや「取手」の表示／非表示を、詳細設定から指定することができます。

扉、枠の設定

The screenshot shows the 'その他設定' (Other Settings) section. It contains two rows of radio button options: '扉の開き方' (Door Opening Direction) with '左開き' (Left Opening) and '右開き' (Right Opening), and '枠の配置' (Frame Configuration) with '外枠' (Outer Frame) and '内枠' (Inner Frame).

- **扉の開き方** 左開きか右開きか設定できます。
- **枠の配置** 外枠か内枠か設定できます。

取っ手の設定



取手 表示 非表示

横：扉端から mm

縦：扉下から mm

取手をファイルから取り込む

表示、非表示を切り替えることができます。

テクスチャにあらかじめ取っ手が含まれている場合は、非表示に設定してください。

設定を「表示」にした場合は、

扉端からの距離および扉下からの距離を数値で指定できます。

また、「取手をファイルから取り込む」をクリックすると、

外部からdxfファイル、もしくはsbcファイルの取っ手(鍵)データを取り込んで使用できます。

両開き



詳細設定 コンテンツ情報

サッシの設定は、配置前・配置後のいずれでも行えます。

- ・サッシ配置前 片引きのツールボタンをクリックし、右側の画面で設定します。



- ・サッシ配置後 配置済みのサッシを選択し、右側の画面で設定します。



基本図形



配置後のサッシのサイズ変更ができます。

オプション



チェックのつけ外しをすることで、「下枠」の有る／無しが変更できます。

その他設定

「扉」と「枠」の配置する向きや「取手」の表示／非表示を、詳細設定から指定することができます。

扉、枠の設定



- **扉の開き方** 扉の左右のデザインが非対称の場合、左右を入れ替えできます。
(左右反転します)
- **枠の配置** 外枠か内枠か設定できます。

取っ手の設定



取手 表示 非表示

横：扉端から mm

縦：扉下から mm

取手をファイルから取り込む

表示／非表示を切り替えることができます。

テクスチャにあらかじめ取っ手が含まれている場合は、非表示に設定してください。

設定を「表示」にした場合は、

扉端からの距離および扉下からの距離を数値で指定できます。

また、「取手をファイルから取り込む」をクリックすると、

外部からdxfファイル、もしくはsbcファイルの取っ手(鍵)データを取り込んで使用できます。

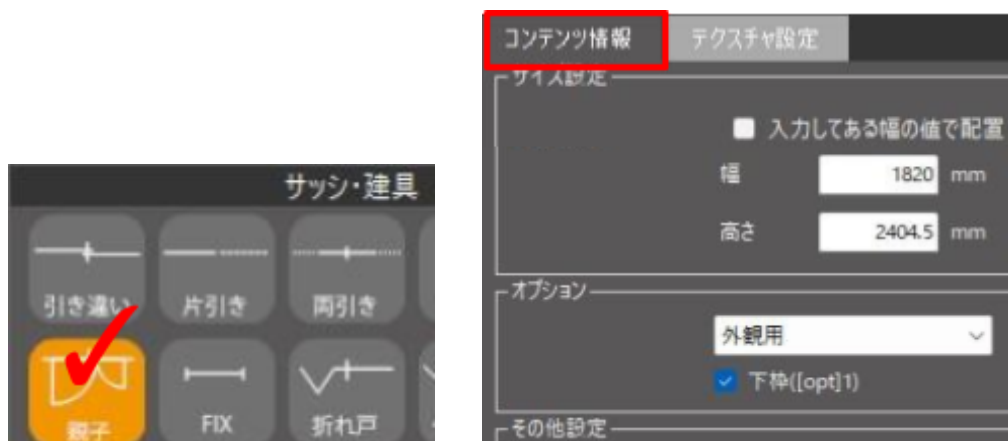
親子



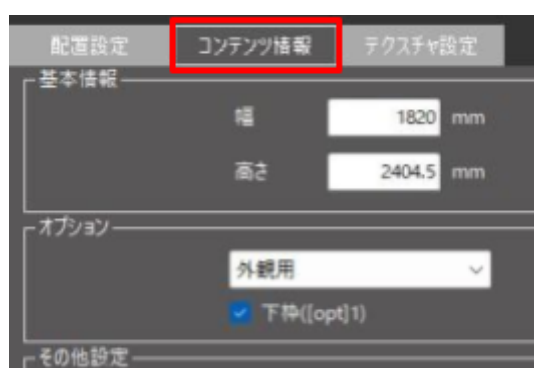
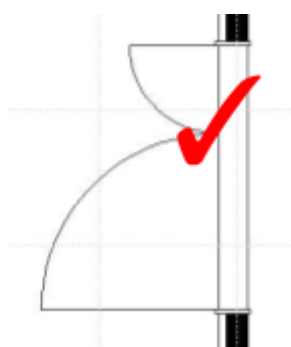
詳細設定 コンテンツ情報

サッシの設定は、配置前・配置後のいずれでも行えます。

- ・サッシ配置前 片引きのツールボタンをクリックし、右側の画面で設定します。



- ・サッシ配置後 配置済みのサッシを選択し、右側の画面で設定します。



基本情報

配置設定 コンテンツ情報 テクスチャ設定

基本情報

幅 1820 mm

高さ 2404.5 mm

配置後のサッシのサイズ変更ができます。

オプション

オプション

外観用

下枠([opt]1)

チェックのつけ外しをすることで、「下枠」の有る／無しが変更できます。

その他設定

「扉」と「枠」の配置する向きや「取手」の表示／非表示を、詳細設定から指定することができます。

窓の設定

その他設定

扉の開き方 左開き 右開き

枠の配置 外枠 内枠

- **扉の開き方** 左開きか右開きか設定できます。
- **枠の配置** 外枠か内枠か設定できます。

取っ手の設定



取手 表示 非表示

横：扉端から mm

縦：扉下から mm

取手をファイルから取り込む

表示／非表示を切り替えることができます。

テクスチャにあらかじめ取っ手が含まれている場合は、非表示に設定してください。

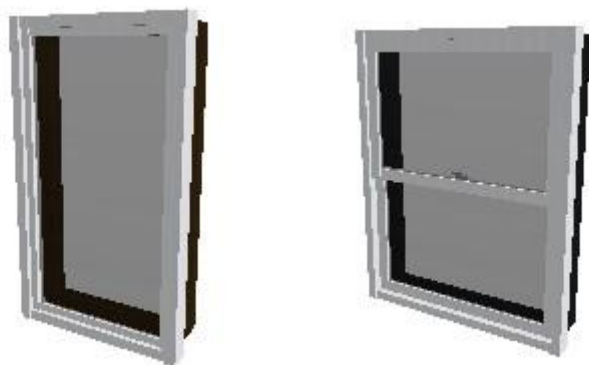
設定を「表示」にした場合は、

扉端からの距離および扉下からの距離を数値で指定できます。

また、「取手をファイルから取り込む」をクリックすると、

外部からdxfファイル、もしくはsbcファイルの取っ手(鍵)データを取り込んで使用できます。

FIX、上げ下げ窓



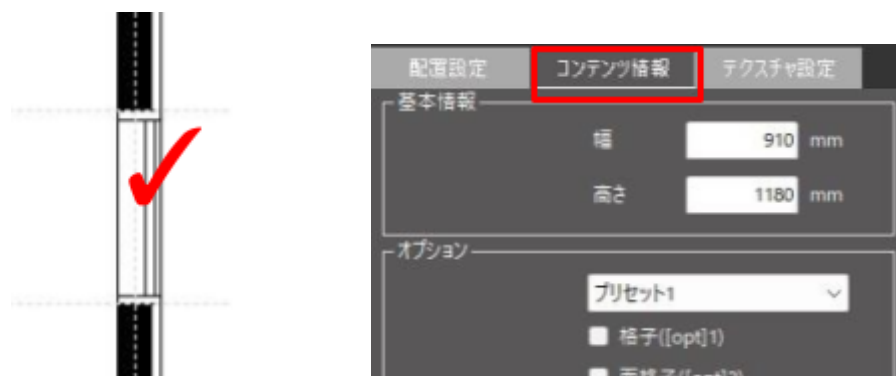
詳細設定 コンテンツ情報

サッシの設定は、配置前・配置後のいずれでも行えます。

- ・ **サッシ配置前** fixもしくは上げ下げ窓のツールボタンをクリックし右側の画面で設定します。



- ・ **サッシ配置後** 配置済みのサッシを選択し、右側の画面で設定します。



基本情報

配置設定	コンテンツ情報	テクスチャ設定
基本情報		
幅	1820	mm
高さ	2404.5	mm

配置後のサッシのサイズ変更ができます。

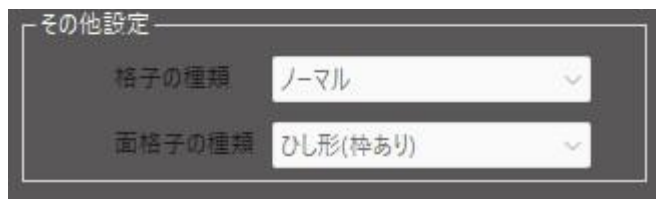
オプション

オプション
プリセット1
<input type="checkbox"/> 格子([opt]1)
<input type="checkbox"/> 面格子([opt]2)

チェックのつけ外しをすることで、「格子」「面格子」の有る／無しが変更できます。個別変更を行った場合、セット変更の項目は自動的に「カスタム」に切り替わります。セット変更のプルダウンから「プリセット1」を選択し直すことで、全項目のチェックがすべてオフの状態に戻ります。

その他設定

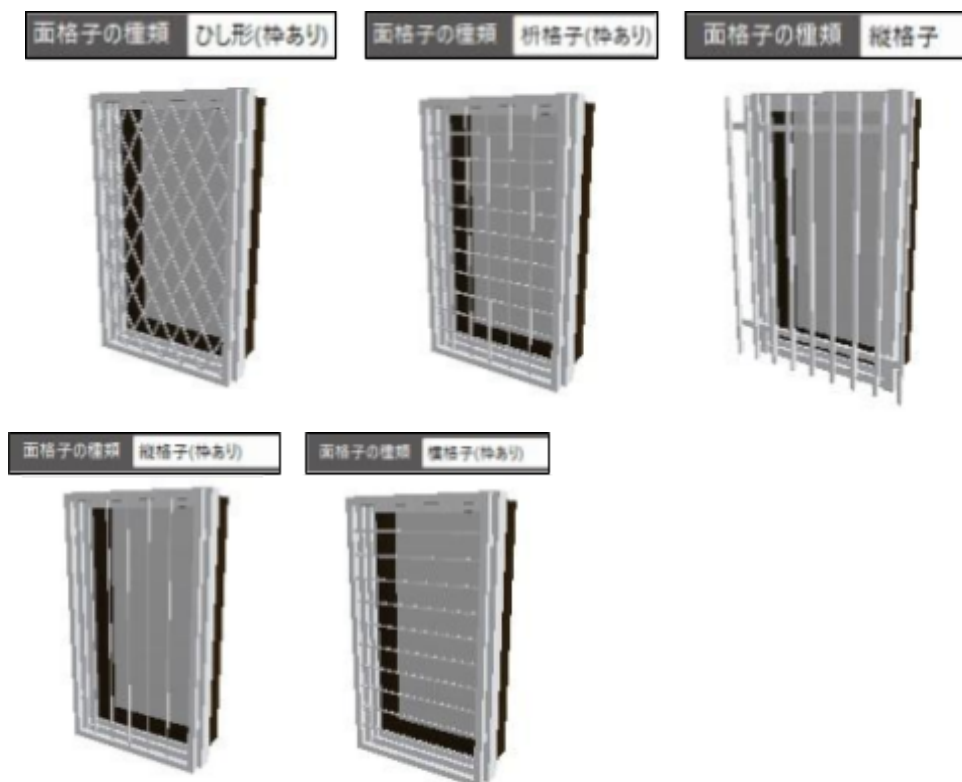
オプションで有効にした項目の種類を変更できます。



- **格子の種類** 格子の種類を設定できます。



- **面格子の種類** 格子の種類を設定できます。



折れ戸



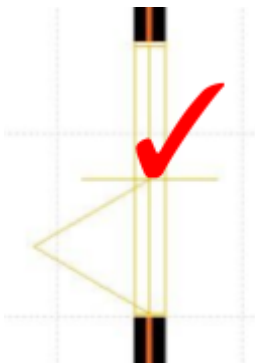
詳細設定 コンテンツ情報

サッシの設定は、配置前・配置後のいずれでも行えます。

- ・ **サッシ配置前** 折れ戸のツールボタンをクリックし、右側の画面で設定します。



- ・ **サッシ配置後** 配置済みのサッシを選択し、右側の画面で設定します。



基本図形

配置設定	コンテンツ情報	テクスチャ設定
基本図形		
幅	910	mm
高さ	2040	mm

配置後のサッシのサイズ変更ができます。

その他設定

扉の位置を詳細設定から指定することができます。

その他設定		
扉の位置	<input type="radio"/> 左	<input checked="" type="radio"/> 右

- **扉の位置** 左開きか右開きか設定できます。

クローゼット



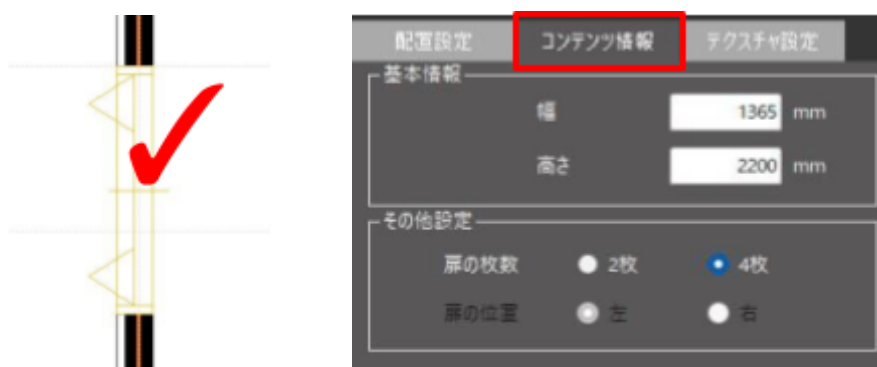
詳細設定 コンテンツ情報

サッシの設定は、配置前・配置後のいずれでも行えます。

- ・サッシ配置前 クローゼットのツールボタンをクリックし、右側の画面で設定します。



- ・サッシ配置後 配置済みのサッシを選択し、右側の画面で設定します。



基本情報

配置設定	コンテンツ情報	テクスチャ設定
基本情報		
幅	<input type="text" value="1365"/>	mm
高さ	<input type="text" value="2200"/>	mm

配置後のサッシのサイズ変更ができます。

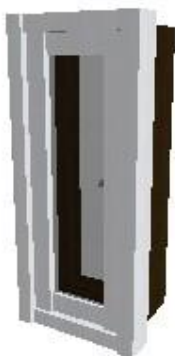
その他設定

扉の枚数、位置を設定できます。

その他設定	
扉の枚数	<input type="radio"/> 2枚 <input checked="" type="radio"/> 4枚
扉の位置	<input type="radio"/> 左 <input type="radio"/> 右

- **窓の枚数** 窓の枚数を2枚、4枚に設定できます。
- **窓の位置** 窓の枚数が2枚の場合、左開きか右開きかを設定できます。

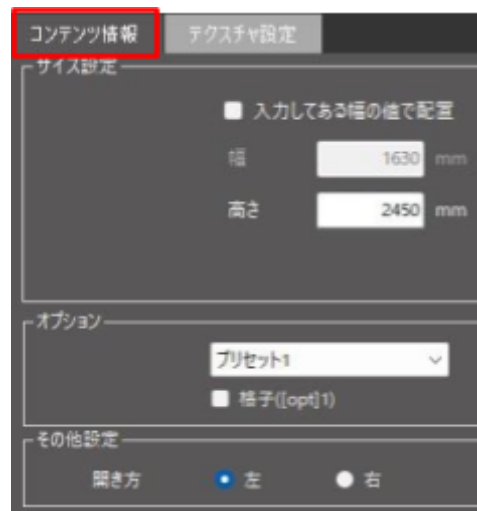
縦滑り出し



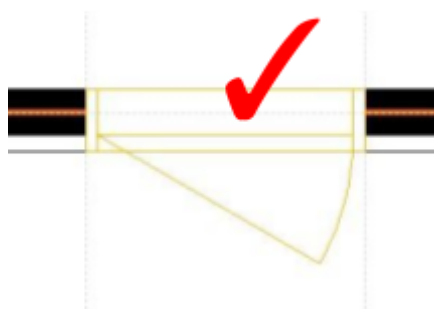
詳細設定 コンテンツ情報

サッシの設定は、配置前・配置後のいずれでも行えます。

- ・サッシ配置前 縦滑り出しのツールボタンをクリックし、右側の画面で設定します。



- ・サッシ配置後 配置済みのサッシを選択し、右側の画面で設定します。



基本図形

The screenshot shows a settings interface with three tabs: '配置設定' (Layout Settings), 'コンテンツ情報' (Content Information), and 'テクスチャ設定' (Texture Settings). The '基本図形' (Basic Shape) section is active, displaying two input fields: '幅' (Width) set to 910 mm and '高さ' (Height) set to 2040 mm.

配置後のサッシのサイズ変更ができます。

オプション

The screenshot shows the 'オプション' (Options) section. It features a dropdown menu currently set to 'プリセット1' and a checkbox labeled '格子([opt]1)' which is currently unchecked.

チェックのつけ外しをすることで、「格子」の有る／無しが変更できます。

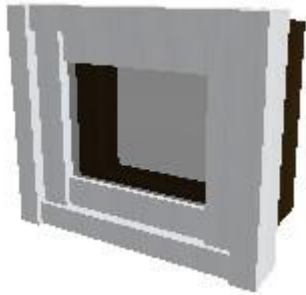
その他設定

「扉」の開き方を設定できます。

The screenshot shows the 'その他設定' (Other Settings) section. Under the '開き方' (Opening Method) label, there are two radio buttons: '左' (Left) is selected, and '右' (Right) is unselected.

- 扉の開き方 左開きか右開きか設定できます。

横滑り出し



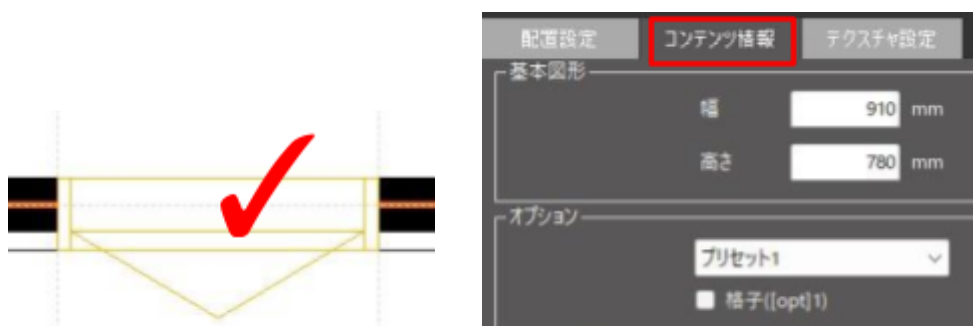
詳細設定 コンテンツ情報

サッシの設定は、配置前・配置後のいずれでも行えます。

- ・サッシ配置前 横滑り出しのツールボタンをクリックし、右側の画面で設定します。



- ・サッシ配置後 配置済みのサッシを選択し、右側の画面で設定します。



基本図形



配置設定 コンテンツ情報 テクスチャ設定

基本図形

幅 910 mm

高さ 2040 mm

配置後のサッシのサイズ変更ができます。

オプション



オプション

プリセット1

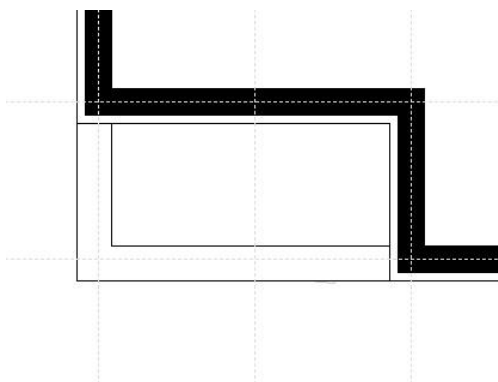
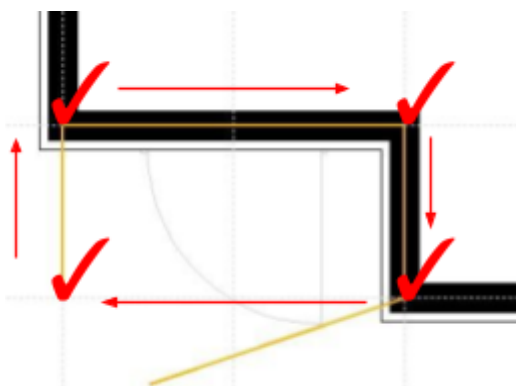
格子([opt]1)

チェックのつけ外しをすることで、「格子」の有る／無しが変更できます。

バルコニーを作成する



1. 画面左の「バルコニー」ツールをクリックし、作成範囲の各頂点をクリックします。



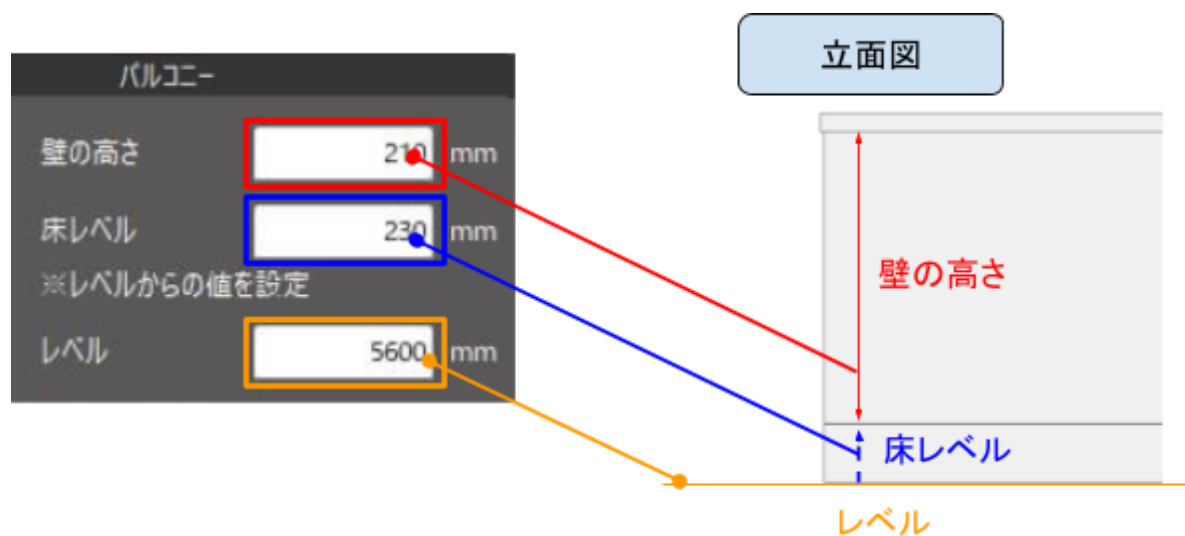
2. ツールで先ほど作成したバルコニーを選択し、画面右の詳細設定で壁の高さや笠木、壁厚などを変更することができます。



The image shows a software interface for editing a balcony. At the top, a menu bar includes 'ファイル(F)', '編集(E)', '加工(P)', and '表示(V)'. Below it is a toolbar with icons for hand, selection (highlighted with a red box), and other tools. The main workspace shows a 2D floor plan of a balcony with a red checkmark indicating it is selected. On the right, a settings panel titled 'バルコニー' (Balcony) is open, displaying various configuration options.

バルコニー	
壁の高さ	1100 mm
床レベル	200 mm
※レベルからの値を設定	
レベル	3000 mm
外壁設定	
<input checked="" type="checkbox"/> 笠木を設定する	
笠木の幅	230 mm
笠木の高さ	65 mm
手すり設定	
バルコニー壁設定	
内壁の厚み	150 mm
外壁の厚み	50 mm
<input checked="" type="checkbox"/> 水切りを設定する	
水切りの幅	10 mm
水切りの高さ	28 mm

バルコニーの詳細設定



- **壁の高さ** 「床レベル」から笠木までの高さをさします。
- **床レベル** バルコニーの「レベル」から床までの高さをさします。
床レベルを変更するとバルコニーの天端が変わらないように「壁の高さ」が自動調整されます。
- **レベル** バルコニーの下端のレベルをさします。
07CADで設定したレベルと同じ基準で考えます。

外壁設定

※外壁、幕板の設定ができます。

笠木を設定する

笠木の幅 230 mm

笠木の高さ 65 mm

※笠木をON、OFFできます。

※笠木の幅、高さを変更できます。

手すり設定

※手すりの種類を変更できます。

外壁設定・・・外壁、幕板の設定ができます。

(※WEBマニュアル「[外壁設定](#)」 or 本紙Ref 66を参照)

笠木を設定する・・・笠木をON、OFFできます。

笠木の幅、高さ・・・笠木の幅、高さを変更できます。

手すり設定・・・手すりの種類を変更できます。

(※WEBマニュアル「[手すり変更](#)」 or 本紙Ref 118を参照)

パラペット壁厚

内壁の厚み 150 mm

外壁の厚み 50 mm

※外壁の厚みを入力できます。

水切りを設定する

水切りの幅 10 mm

水切りの高さ 28 mm

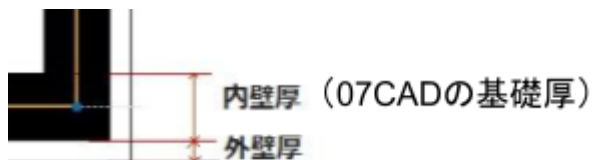
※水切りをON、OFFできます。

※水切りの幅、高さを変更できます。

内壁厚 (07CADの基礎厚)

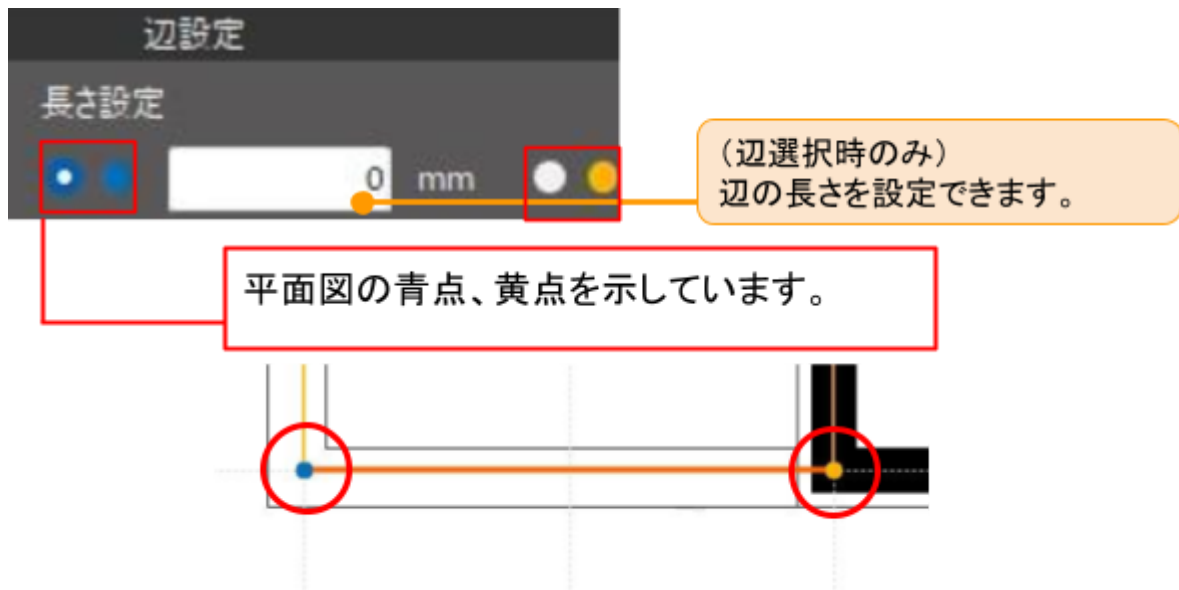
外壁厚

外壁の厚み・・・外壁の厚みを入力できます。



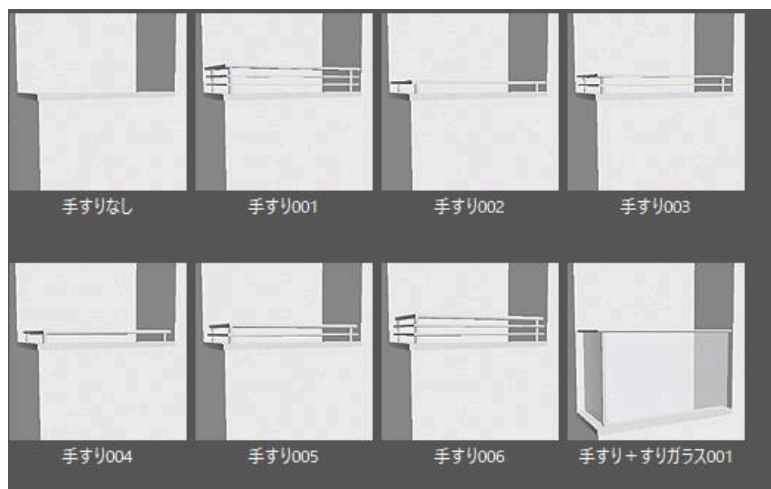
水切りを設定する・・・水切りをON、OFFできます。

水切りの幅、高さ・・・水切りの幅、高さを変更できます。

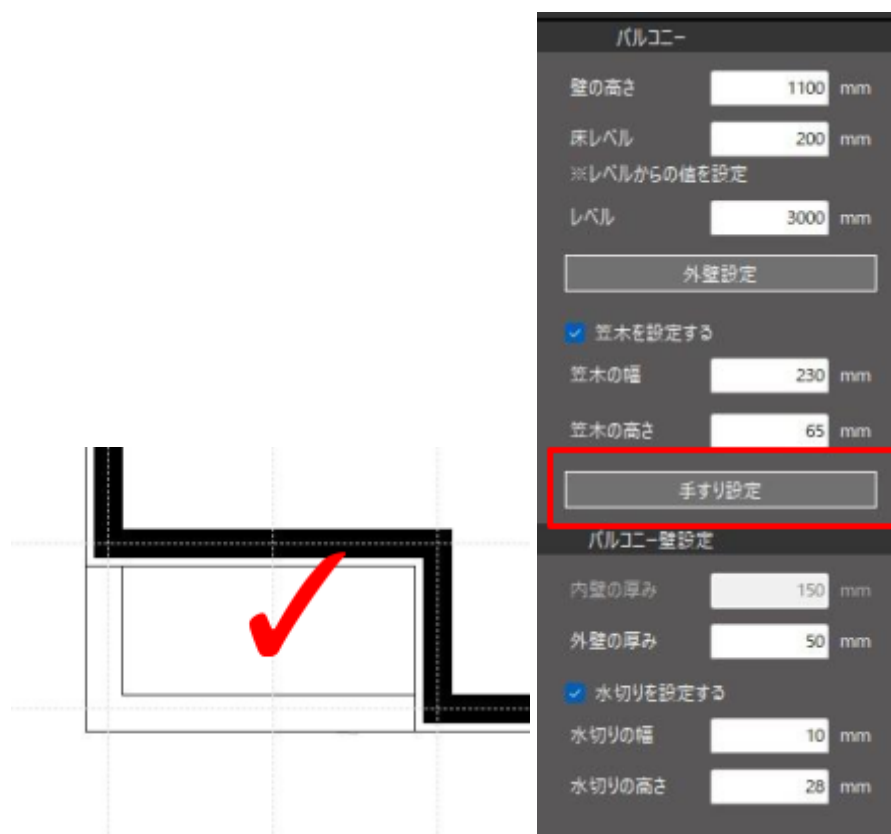


長さ設定・・・開始点を青点、もしくは黄点に設定し、長さを指定できます。
(青点、黄点は平面図の青点、黄点を示しています。)

手すり変更



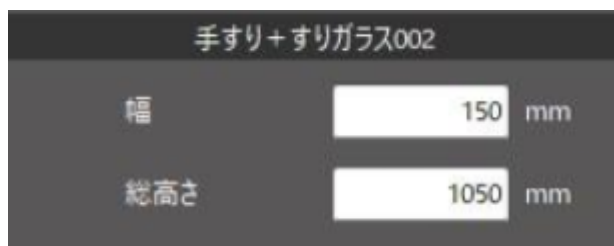
手摺・笠木を変更するバルコニー部分を選択し、画面右の手すり設定をクリックすると、手すり設定画面が立ち上がります。



使いたい手すりの種類を左側の画面で選択します。
(ホイールを転がして下にスクロールできます。)

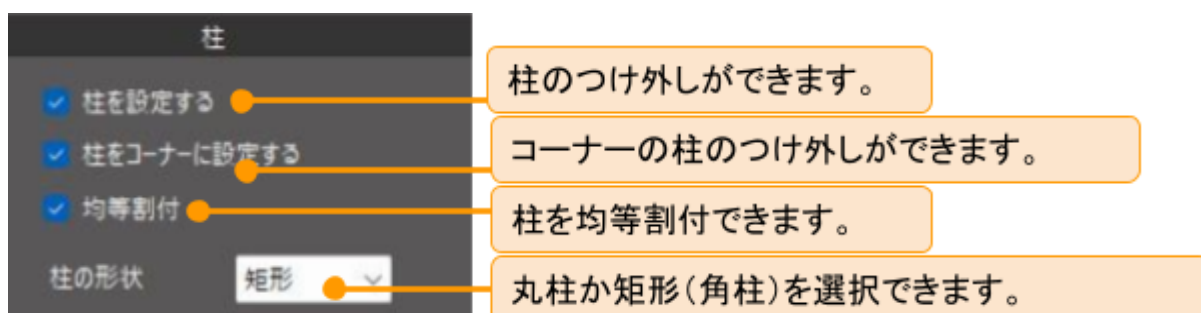


画面左側で詳細設定ができます。



幅・・・手すりの幅を変更出来ます。

総高さ・・・手すりの総高さを変更出来ます。



柱を設定する・・・柱のつけ外しができます。

柱をコーナーに設定する・・・コーナーの柱のつけ外しができます。

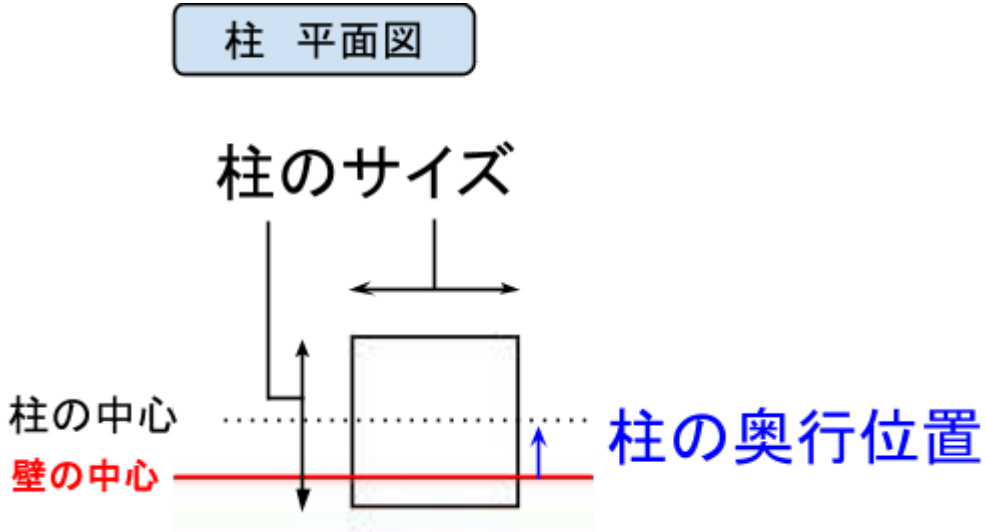
均等割付・・・柱を均等割付できます。

柱の形状・・・丸柱か矩形(角柱)を選択できます。

柱のサイズ	30	mm
柱の間隔	1830	mm
柱の開始位置	500	mm
柱の奥行位置	10	mm

下図参照

- 柱のサイズ・・・角柱は縦横の長さ、円柱は直径を変更できます。
- 柱の間隔・・・柱の芯から次の柱の芯までの長さを変更できます。
- 柱の開始位置・・・バルコニーの端から柱の芯までの距離を変更できます。
- 柱の奥行位置・・・壁の中心から柱の芯までの距離を変更できます。



屋根伏図への切り替え方法

平面図から屋根伏図への切り替え

平面図を屋根伏図に切り替えることで屋根を編集できるようになります。
屋根伏図に切り替える方法は以下の4通りあります。

方法1 画面右下のレイヤで屋根を選択



方法2 「屋根一括」or「屋根」or「パラペット」ボタンをクリック



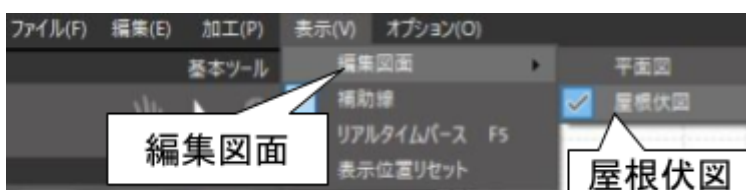
方法3 平面図で右クリック→「屋根伏図編集に切替」をクリック



方法4 リアルタイムパースで屋根をクリック



方法5 「表示」メニューから「編集図面」→「屋根伏図」をクリック



屋根伏図から平面図への切り替え

屋根伏図から平面図へ切り替えする方法は以下のとおりです。

方法1 画面右下のレイヤで屋根を選択

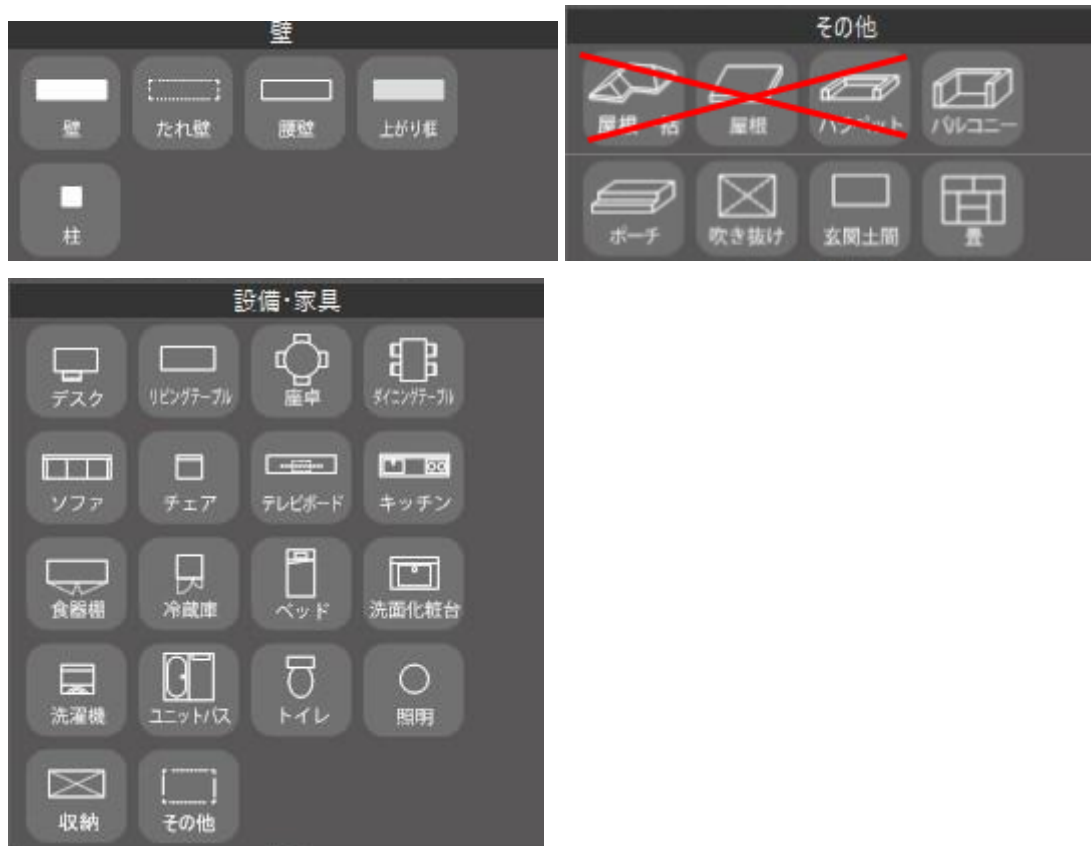


方法2 「屋根一括」or「屋根」or「パラペット」ボタンが選択された状態で一回クリック

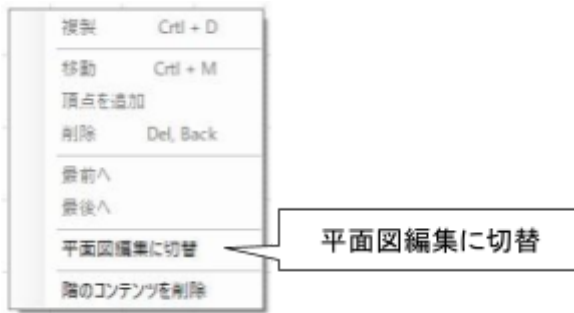
黄色い状態でクリック



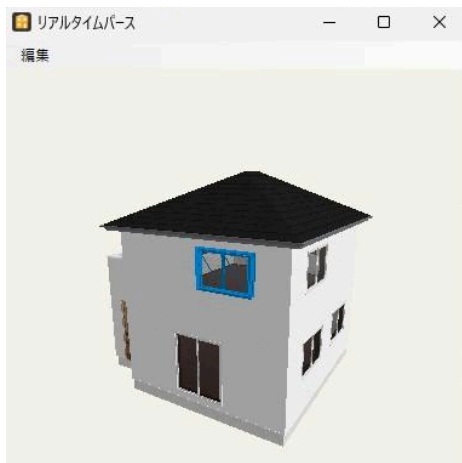
方法3 「壁」ツール、or「その他」ツールの一部or「設備・家具」ツールをクリック



方法4 屋根伏図で右クリック→「平面図編集に切替」をクリック



方法5 リアルタイムパースで窓、もしくは外壁、家具などをクリック

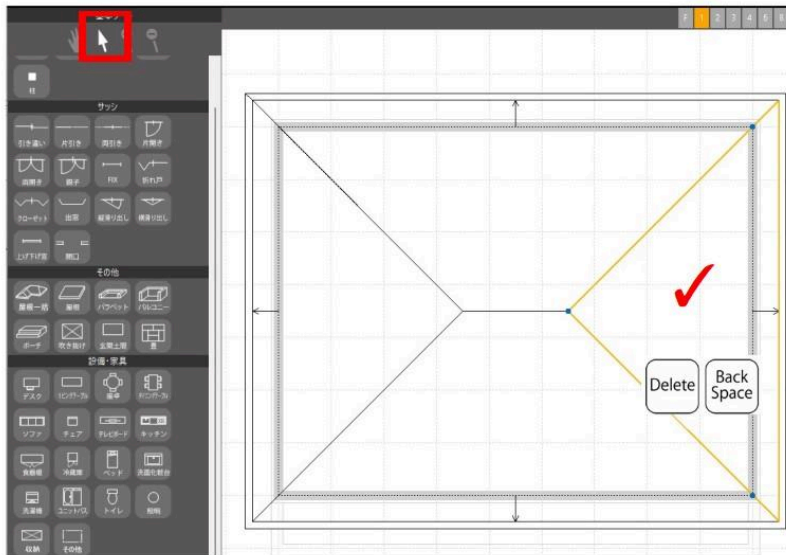


方法6 「表示」メニューから「編集図面」→「平面図」をクリック

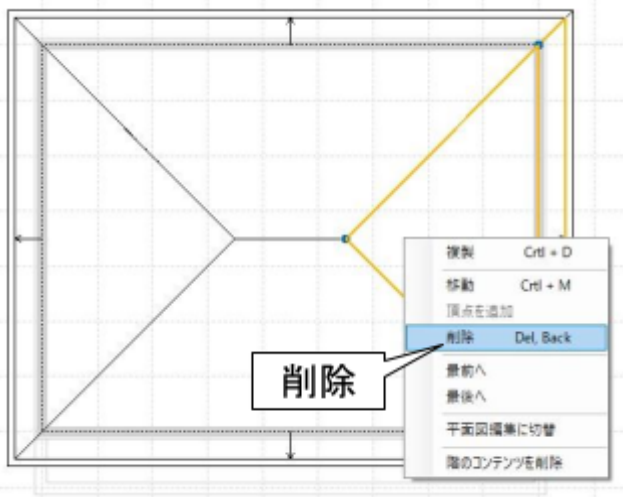


屋根の削除

「矢印」ツールをクリックし、屋根を選択します。
(shiftキーを長押ししながらクリックで複数同時選択できます。)
「Delete」キーまたは「Backspace」を押すと屋根が削除されます。



もしくは屋根を右選択→「削除」でも屋根を削除できます。



屋根作成ツールの説明

動画説明 > [屋根作成ツールの説明](#)

屋根を作成するツールは2つあります。
どちらのツールも屋根形状を作成後、形状変更、勾配や軒の出の詳細設定ができます。

「屋根」「屋根一括」ツールをクリックした時に形が合っていない屋根がある場合は、
「矢印」ツールを選択して、削除してから書き始めてください。

①屋根一括

壁の形状を元に寄棟の屋根を自動作成します。



1. 屋根を作成したい範囲の外形を書きます。
2. 形に合わせた寄棟屋根ができます。

②屋根

屋根伏せ形状を自分で書いて作成します。



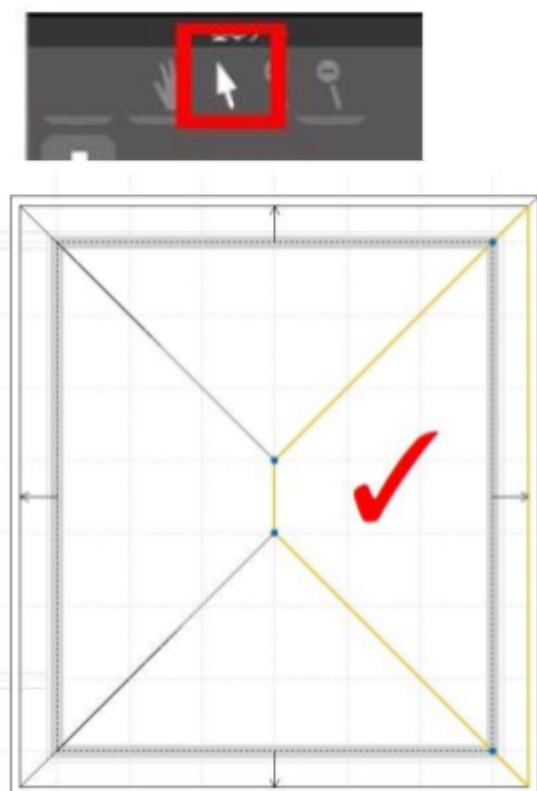
1. 屋根伏図を書きます。
2. 「矢印」ツールに切り替え、屋根面を選択して、軒の出幅などを入力します。
(屋根面を選択した状態では勾配を設定できません。)
3. 軒下となる辺を選択し、勾配などを設定します。

屋根の詳細設定

動画説明 >> [屋根詳細設定](#)

屋根の全体設定

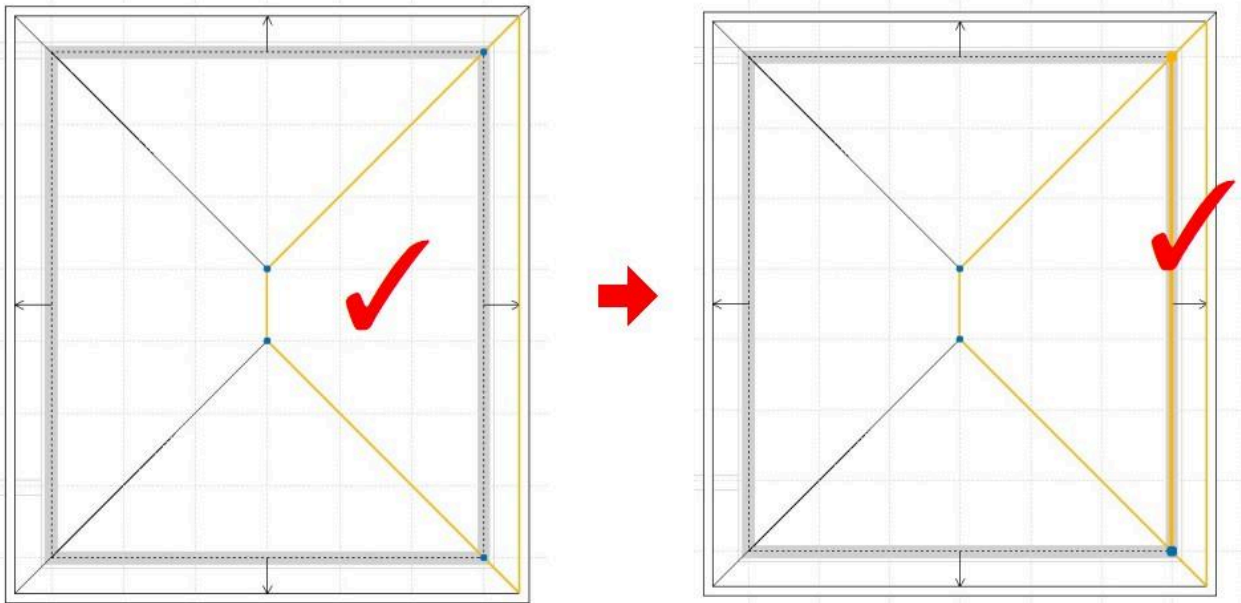
屋根伏図に切り替えた状態で「矢印」ツールをクリックし、作図画面上で屋根を選択すると画面右側に屋根の設定項目が表示されます。屋根の設定は、全て同じ設定にする場合、複数選択して行います。個別に調整する場合は1つひとつの屋根ごとに行います。一方の屋根を変更した場合は、他の屋根も同じように個別に設定してください。



屋根	
軒の出幅	<input type="text" value="455"/> mm
勾配	<input type="text" value="5"/> /10
基準線オフセット	<input type="text" value="0"/> mm
表面厚み	<input type="text" value="20"/> mm
畷し段数	<input type="text" value="2"/> 段
畷し厚み	<input type="text" value="180"/> mm
<input checked="" type="checkbox"/> 壁を設定する	
<input checked="" type="checkbox"/> 壁形状を連動させる	
<input checked="" type="checkbox"/> 雨樋を設定する	
<input checked="" type="checkbox"/> 勾配設定位置に軒天を設定	
<input type="checkbox"/> 破風を設定する	
屋根端部	
<input checked="" type="radio"/> 面垂直	<input type="radio"/> 垂直
軒高 (桁レベル+桁高)	
桁高	<input type="text" value="150"/> mm
桁レベル	<input type="text" value="5600"/> mm
屋根壁厚	
内壁の厚み	<input type="text" value="150"/> mm
外壁の厚み	<input type="text" value="50"/> mm

屋根辺の設定

屋根面を選択した後に、「屋根の辺」を選択すると屋根の辺ごとに設定ができます。



屋根辺	
軒の出幅	<input type="text" value="455"/> mm
勾配	<input type="text" value="5"/> /10
基準線オフセット	<input type="text" value="0"/> mm
<input checked="" type="checkbox"/> 雨樋を設定する	
<input checked="" type="checkbox"/> 勾配設定位置に軒天を設定	
<input type="checkbox"/> 破風を設定する	
屋根壁厚	
内壁の厚み	<input type="text" value="150"/> mm
外壁の厚み	<input type="text" value="50"/> mm
屋根辺	
長さ設定	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="text" value="6370"/> mm <input type="radio"/>

「屋根」ツールで書いた屋根の勾配を設定する際は、必ず辺設定で行います。
軒の出を辺ごとに設定したいときも辺設定で行います。

屋根の設定項目①

屋根	
軒の出幅	<input type="text" value="0"/> mm
勾配	<input type="text" value="4"/> /10
基準線オフセット	<input type="text" value="-910"/> mm
表面厚み	<input type="text" value="20"/> mm
鼻隠し段数	<input type="text" value="2"/> 段
鼻隠し厚み	<input type="text" value="180"/> mm

- 外壁の芯から鼻隠し先端までの距離を設定できます。(下図A)
- 屋根ツールで作成した場合は屋根の辺をクリックして編集します。
- ※
- 黒い部分、表層の厚みの部分を変えることができます。(下図B)
- 1段、もしくは2段が設定できます
- 180が初期値になっています。
数値を変えて鼻隠しの厚みを変更することができます。(下図C)

(※WEBマニュアル「[基準線オフセット](#)」 or 本紙Ref 130を参照)

・軒の出幅(図A)

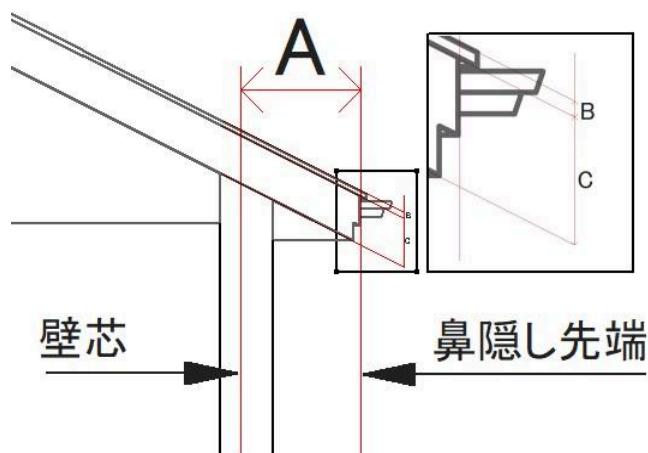
壁芯～鼻隠し先端までの距離を表します。

・表面厚み(図B)

屋根の一番上の部分の厚みを表します。

・鼻隠し厚み(図C)

鼻隠し部分の厚みを表します。

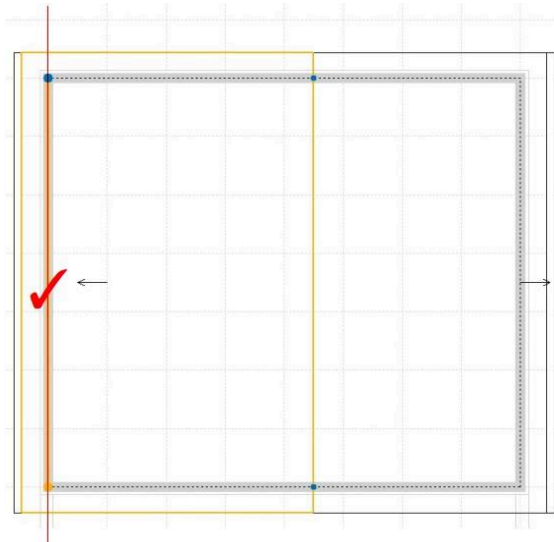


- A・・・軒の出幅
- B・・・表面厚み
- C・・・鼻隠し厚み

基準線オフセット

基準線オフセットの基準線とは勾配を設定した辺の位置を指します。

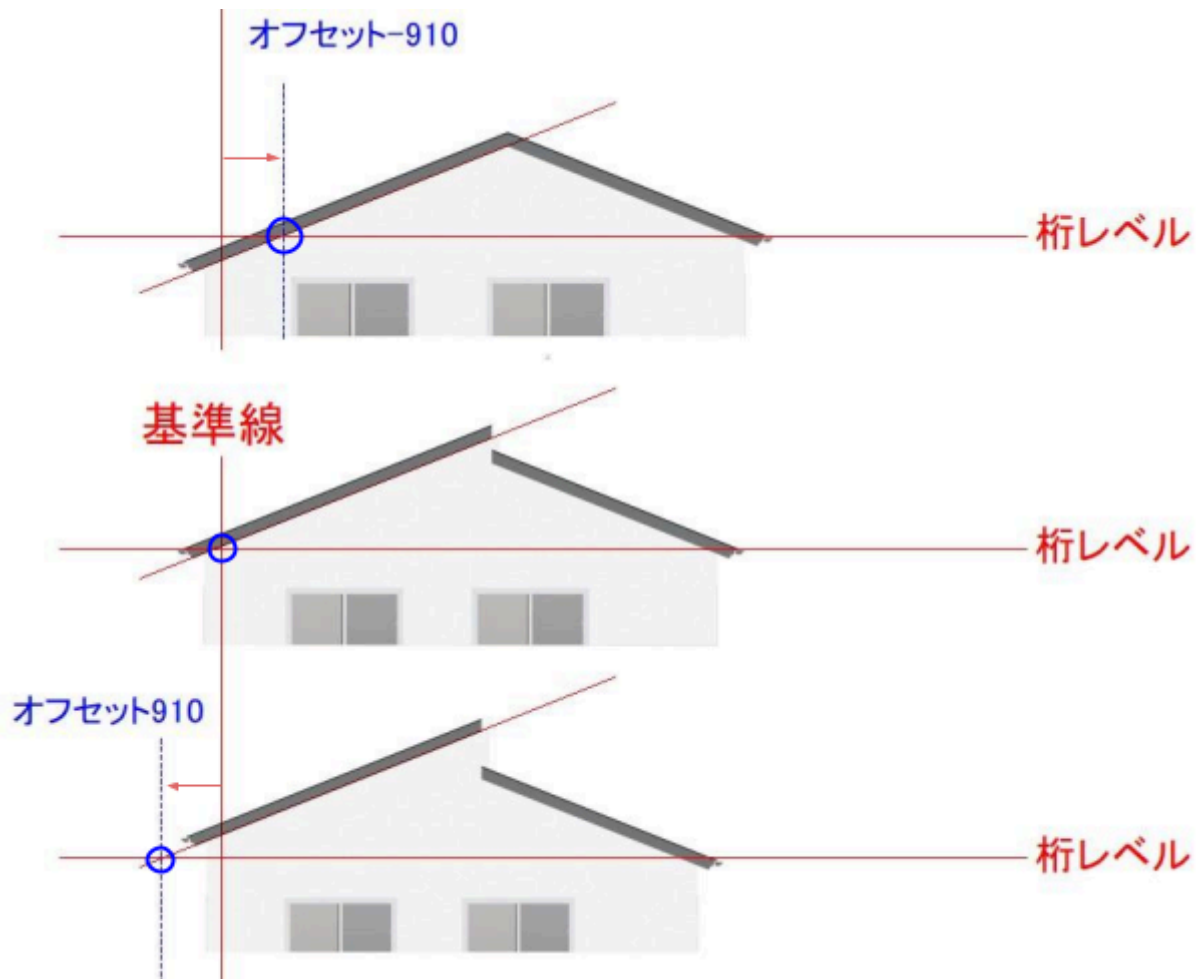
立面図で見ると、基準線と桁レベル(外壁天端レベル)が交わる位置に屋根が来ます。



基準線

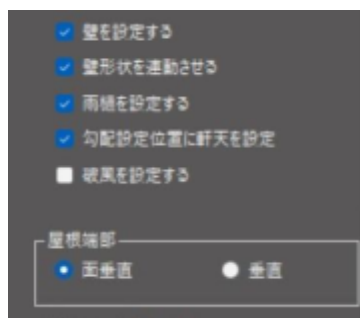


基準線オフセットを使うことで基準線をずらすことができます。
負の数で入力すると建物の内側に基準線がずれ、棟が低くなります。
正の数で入力すると建物の外側に基準線がずれ、棟が高くなります。



基準線のオフセットを使用すると母屋下がりや半切妻などの屋根が作成できます。
基準線オフセットの数値はプルダウン、もしくは手入力で入力可能です。

屋根の設定項目②



- チェックを外すと、屋根下部分の壁を表示しないようにすることができます。
 - 下図参照
 - チェックのON/OFFで雨樋のつけ外しができます。
 - チェックを入れると軒下の部分に三角形の形状の軒天をつくることができます。
 - チェックを入れるとケラバ部分に破風を入れることができます。
- 屋根の端部の形状を変更できます。
- 面垂直：屋根面に対して垂直
 - 垂直：地面に対して垂直

壁形状を連動させる

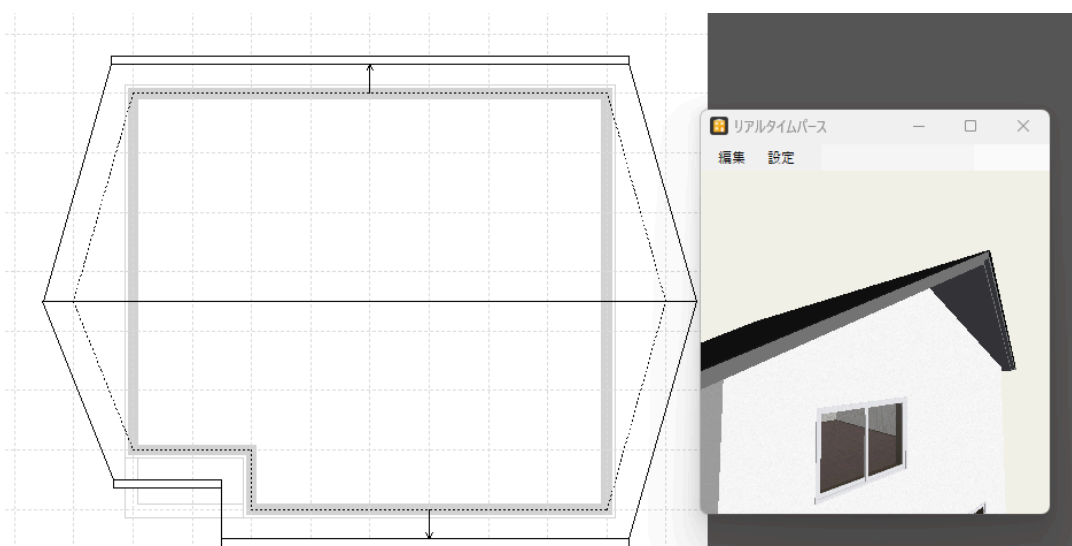
壁の形状を固定して、屋根面の形状だけを変形できます。

基本的にはチェックがついた状態で使用します。

チェックがついている時は、屋根の形状と壁の形状の動きがリンクします。

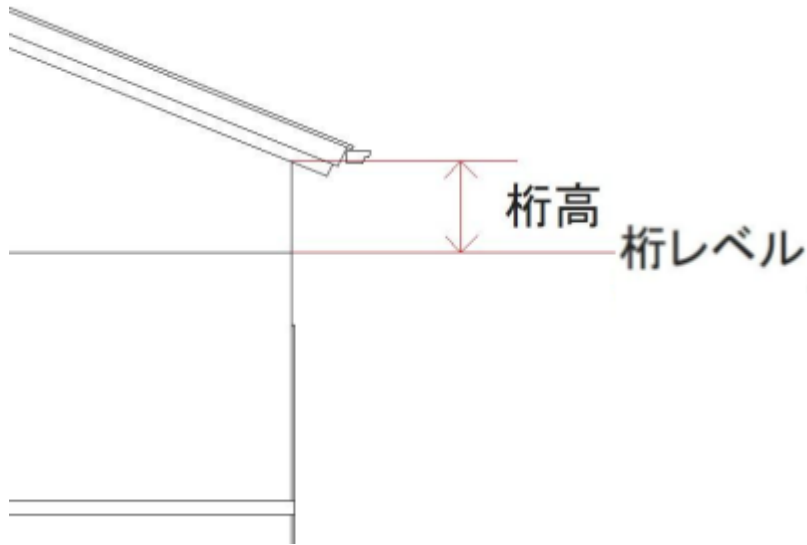
チェックがついていない時は、屋根面だけ形状が変化します。

(下図のような屋根を作成する時に便利な機能です。)



桁高

桁レベルから立ち上がっている壁の高さが桁高になります。



桁高を0にすると鼻隠しが薄い場合に

屋根の面から壁が飛び出して見えることがありますので初期設定は150となっております。

パラペット（陸屋根）を作成する



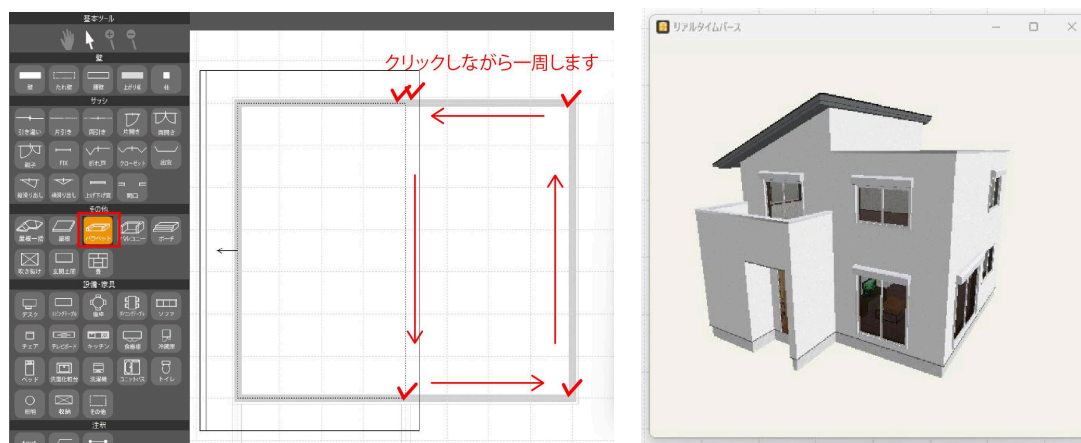
屋根伏図に切り替えます。

(WEBマニュアル「[屋根伏図への切り替え方法](#)」 or 本紙Ref 122を参照)

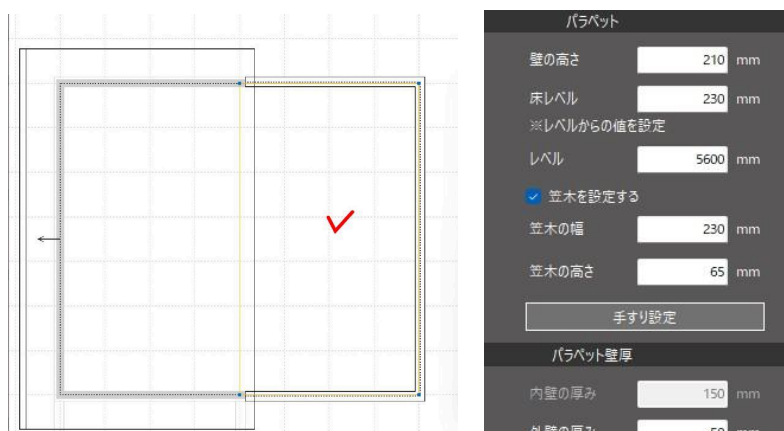
すでにできている屋根を削除します。

(WEBマニュアル「[屋根の削除](#)」 or 本紙Ref 125を参照)

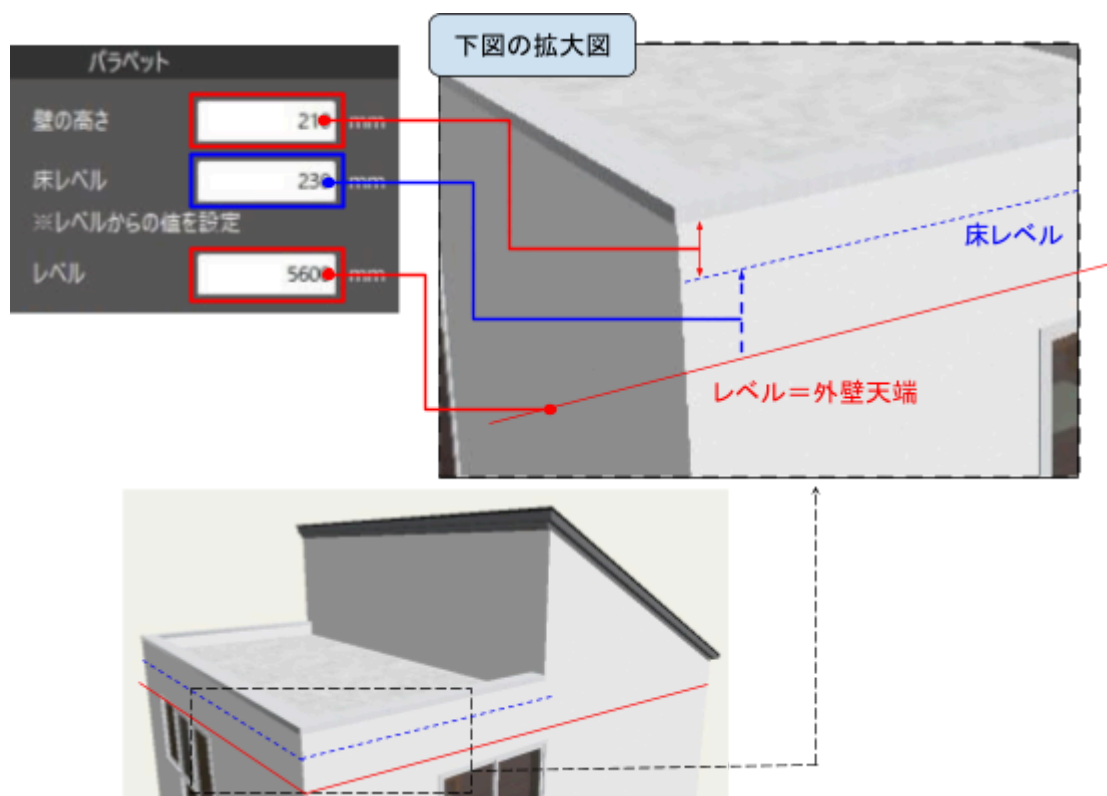
1. 画面左の「パラペット」ツールをクリックし、作成範囲の各頂点をクリックします。



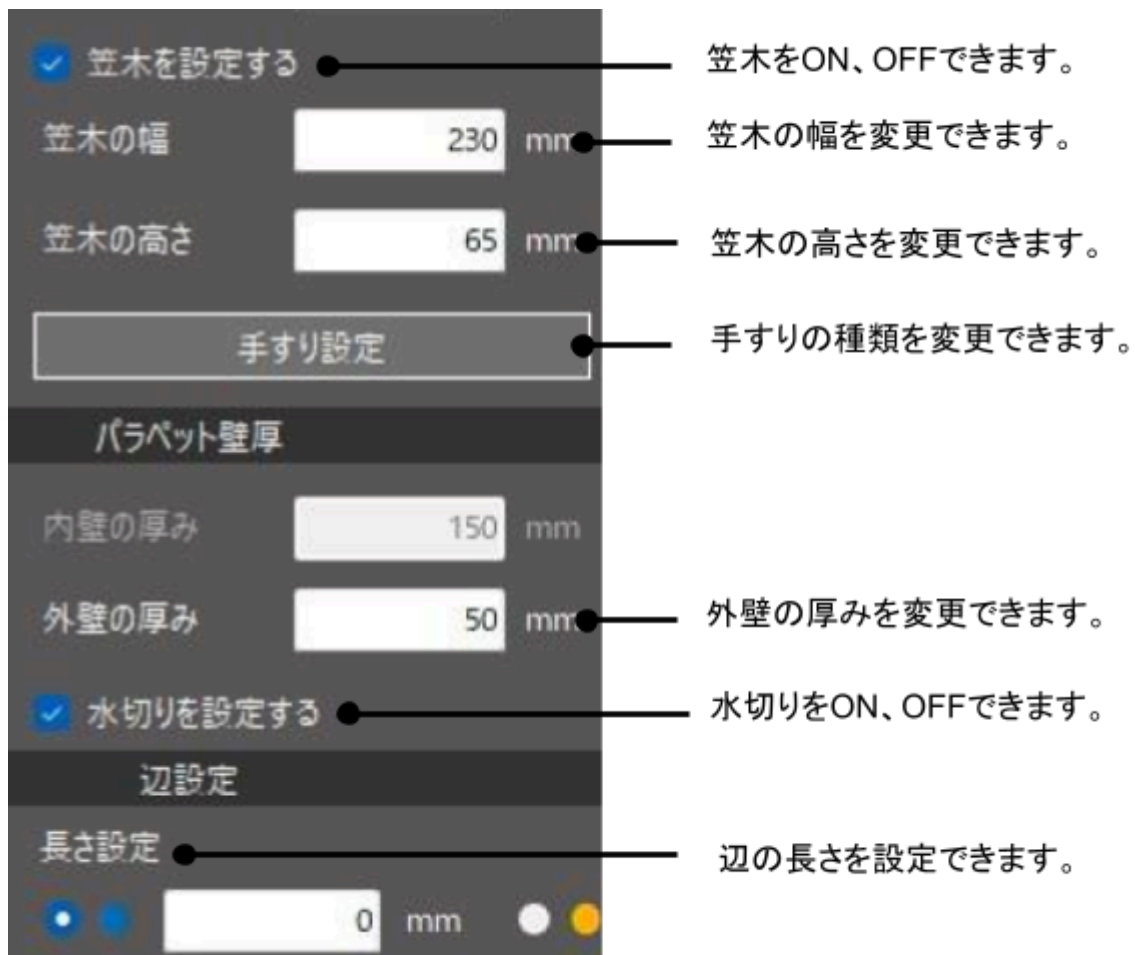
2. ツールでパラペット部分を選択すると、画面右の詳細設定で壁の高さや笠木、壁厚などを変更することができます。



パラペットの詳細設定

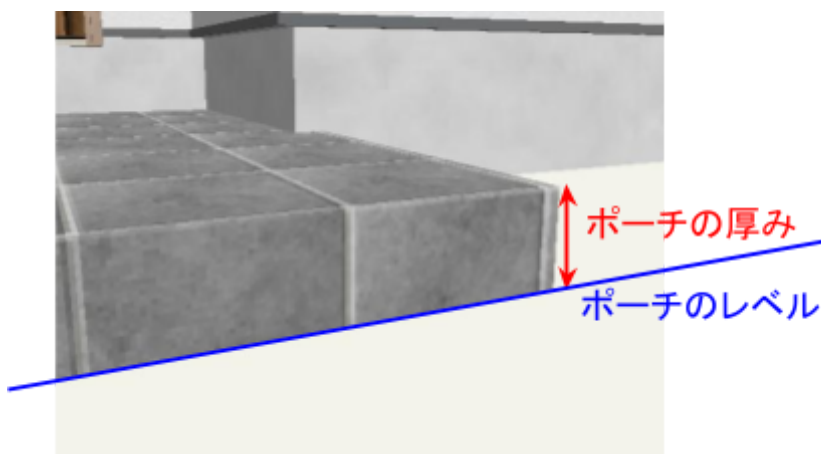
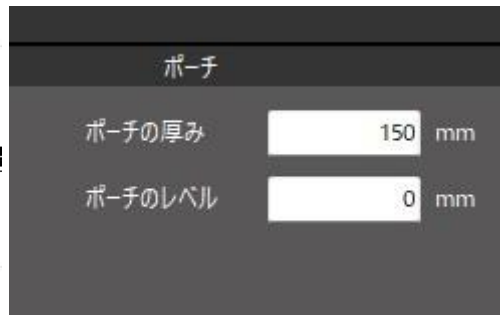
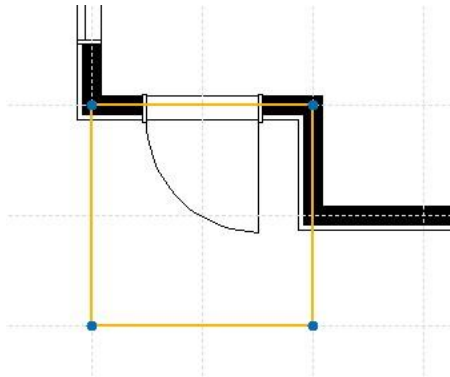


- **壁の高さ** 「床レベル」から笠木までの高さをさします。
- **床レベル** パラペットの「レベル」から床までの高さをさします。
床レベルを変更するとパラペットの天端が変わらないように壁の高さが自動調整されます。
- **レベル** 同じフロアの外壁天端を変更すると連動して変更されます。
パラペットの立ち上がりのレベルをさします。



- **笠木を設定する** 笠木をON、OFFできます。
- **笠木の幅** 笠木の幅を変更できます。
- **笠木の高さ** 笠木の高さを変更できます。
- **手すりの設定** 手すりの種類を変更できます。
- **外壁の厚み** 外壁の厚みを変更できます。
- **水切りを設定する** 水切りをON、OFFできます。
- **辺の設定** **長さ設定** 辺の長さを設定できます。

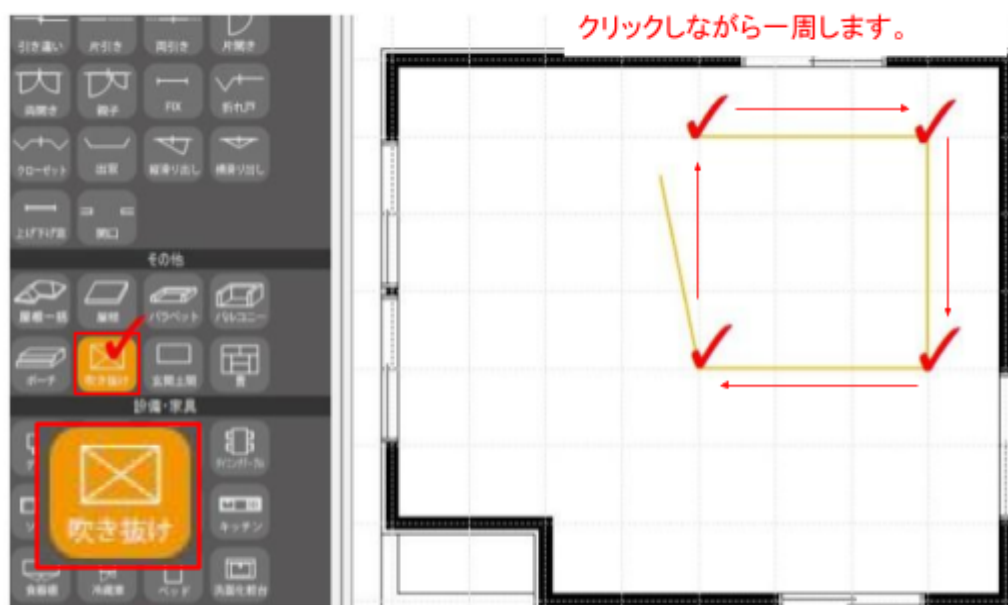
2. ツールでポーチ部分を選択すると、画面右の詳細設定でポーチの厚み、レベルを変更することができます。「ポーチのレベル」は07CADで設定したレベルと同じ基準で考えます。



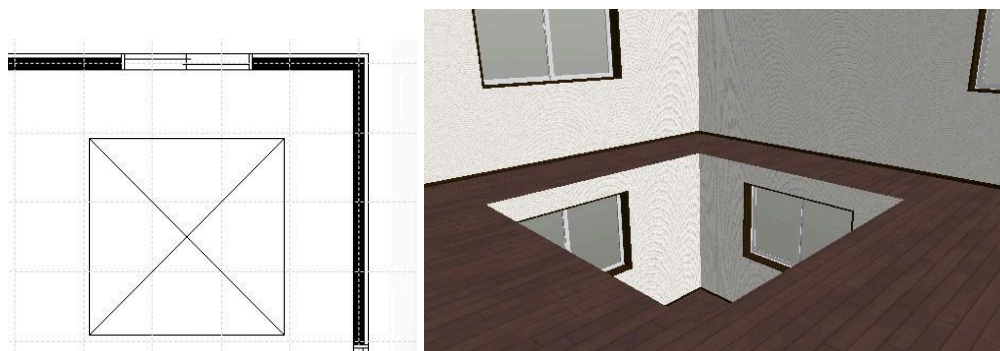
吹き抜け



画面左の「吹き抜け」ボタンをクリックし、作成範囲の各頂点をクリックします。
(作成した部分の床がくり抜かれます。基本的には2階より上の階で使用します。)



吹き抜けが作成されます。

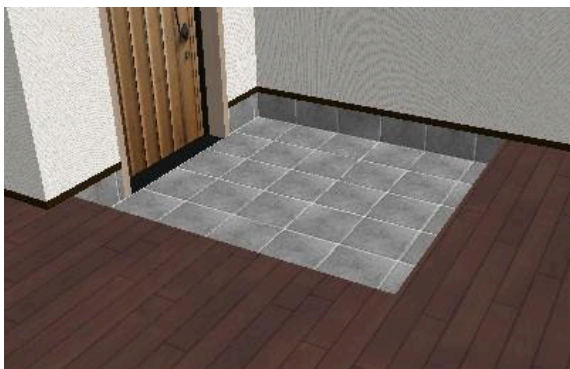


腰壁の作成方法は(※WEBマニュアル「[腰壁](#)」or 本紙Ref 57を参照)
壁の作成方法は(※WEBマニュアル「[壁](#)」or 本紙Ref 48を参照)

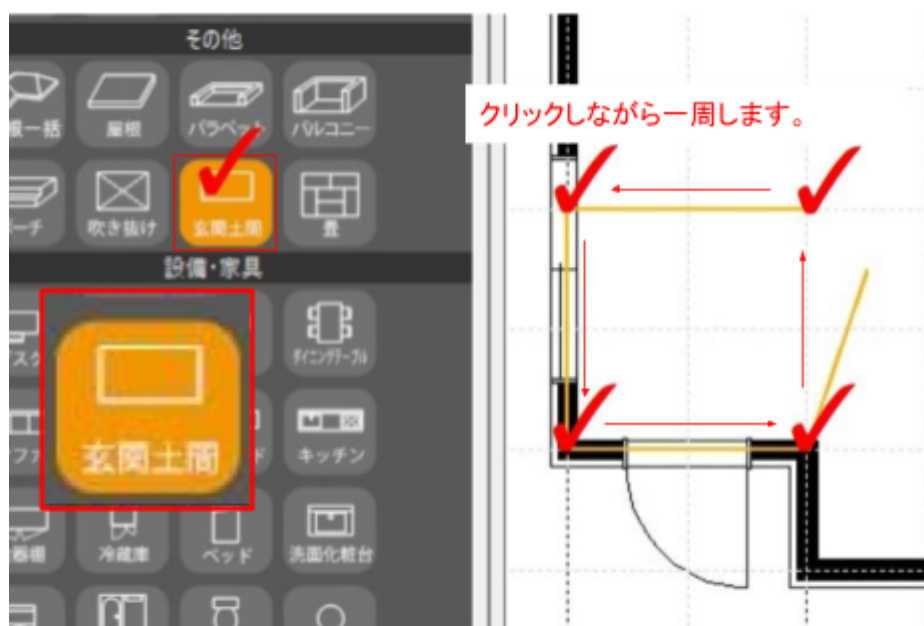
作成が終わったら矢印ツールに戻しておきましょう。



玄関土間



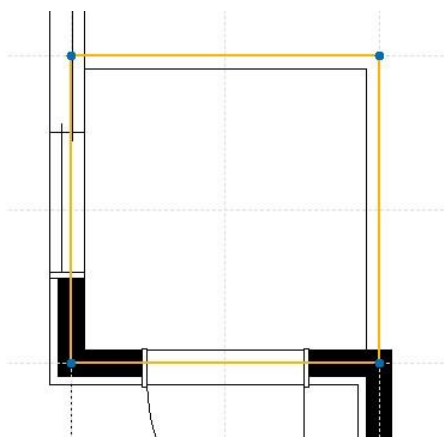
1. 画面左の「玄関土間」ボタンをクリックし、作成範囲の各頂点をクリックします。



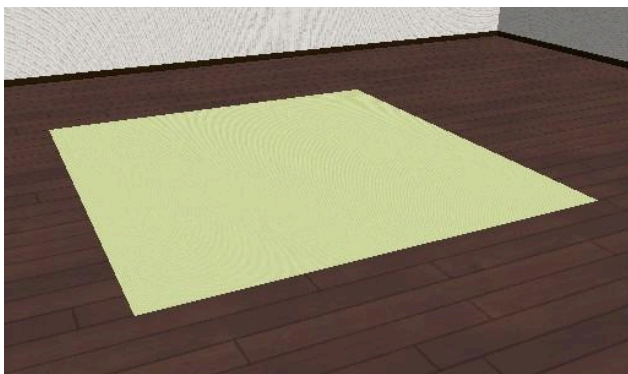
玄関土間が作成されます。作成した部分が切り抜かれタイル貼りになります。



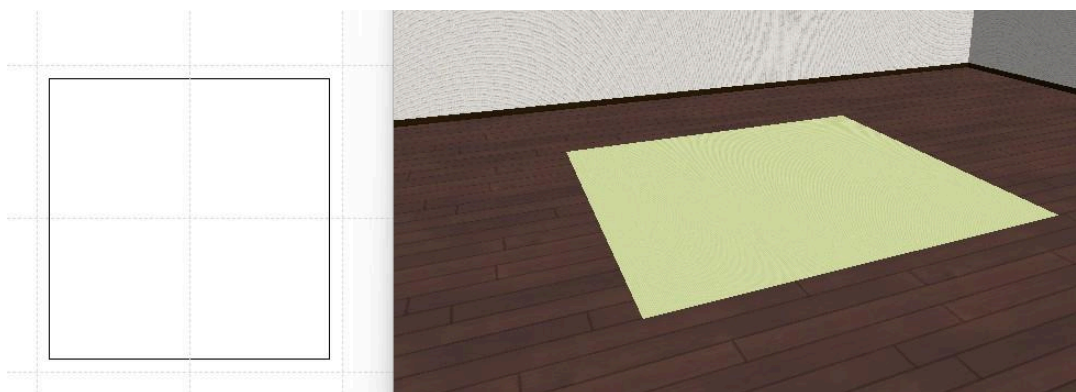
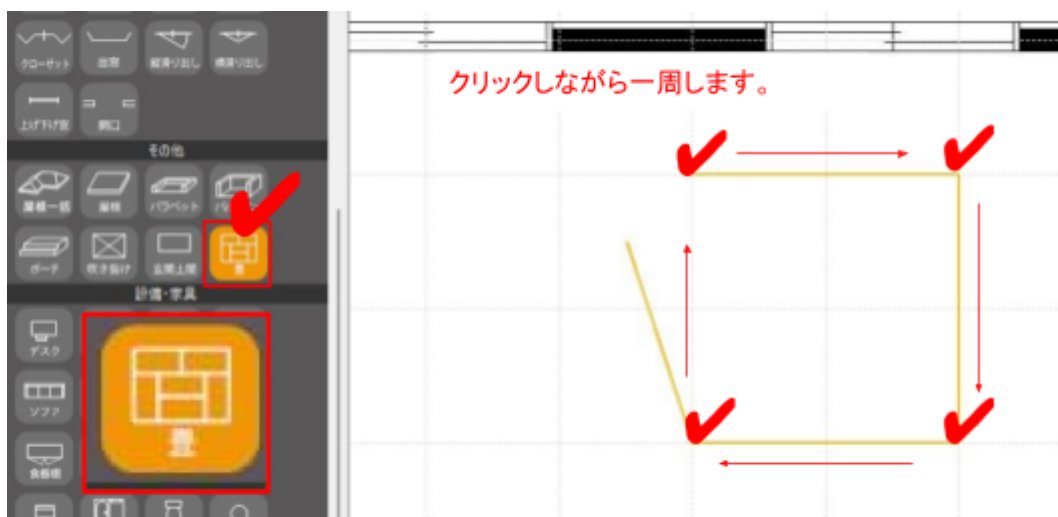
2. ツールでポーチ部分を選択すると、画面右の詳細設定で厚みを変更することができます。「厚み」は床レベルから玄関土間までの高さを指します。



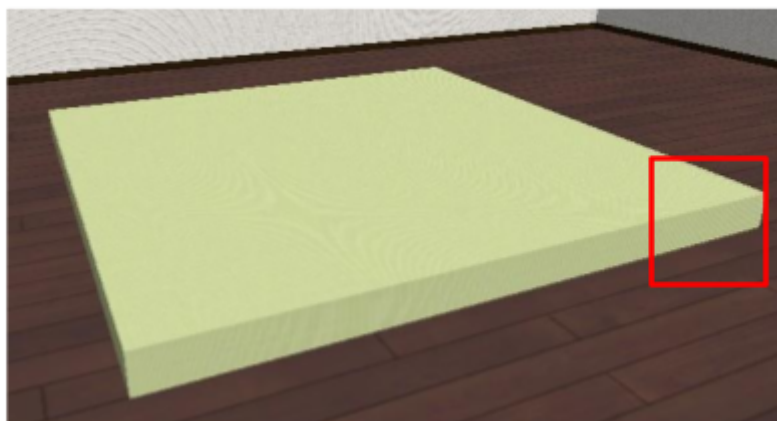
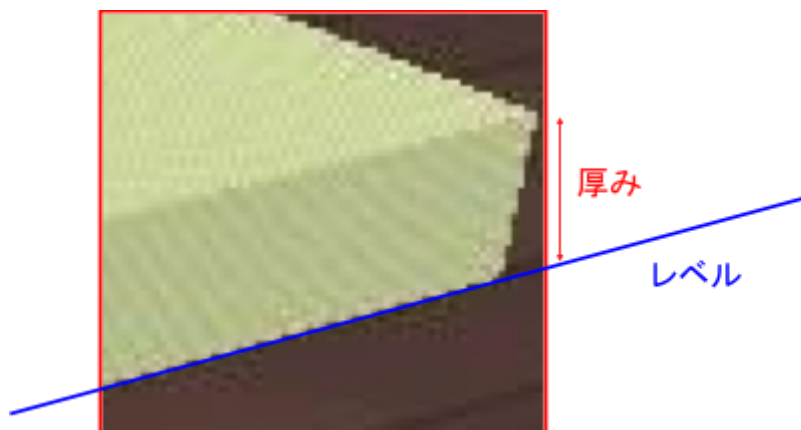
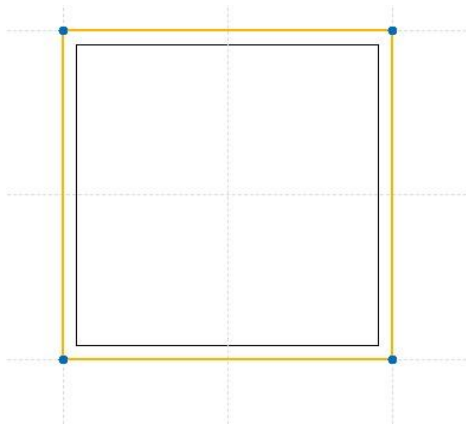
畳



1. 画面左の「畳」ボタンをクリックし、作成範囲の各頂点をクリックします。



2. ツールでポーチ部分を選択すると、画面右の詳細設定で厚み、レベルを変更することができます。(レベルはFL=0とした数値です。)



設備・家具

入力方法

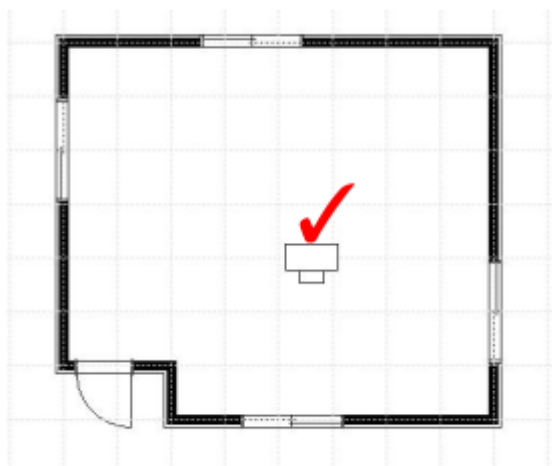
1. 入力したい設備・家具をクリックします。
(四角については次のページで解説)



2. 入力したいオブジェクトを選択し、「開く」をクリックします。

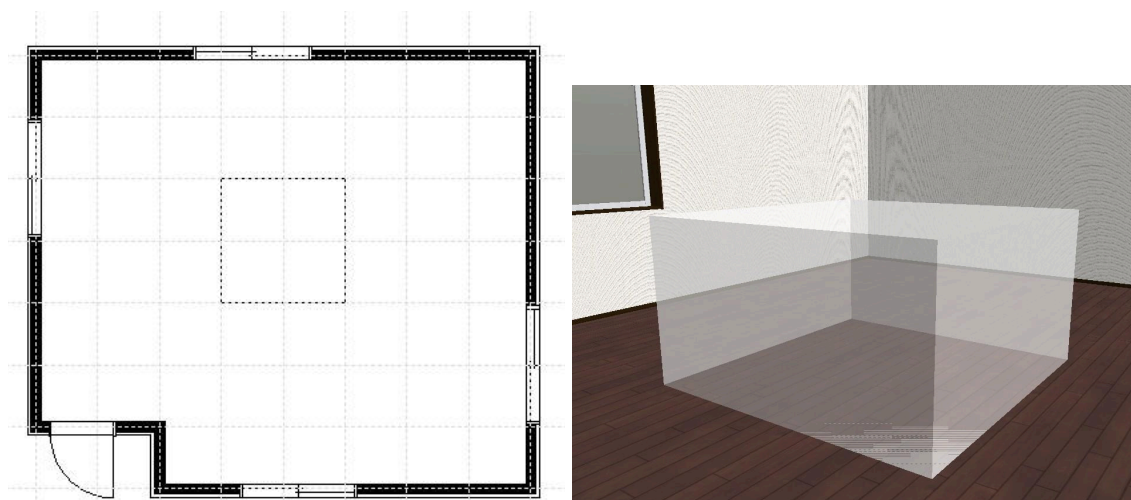
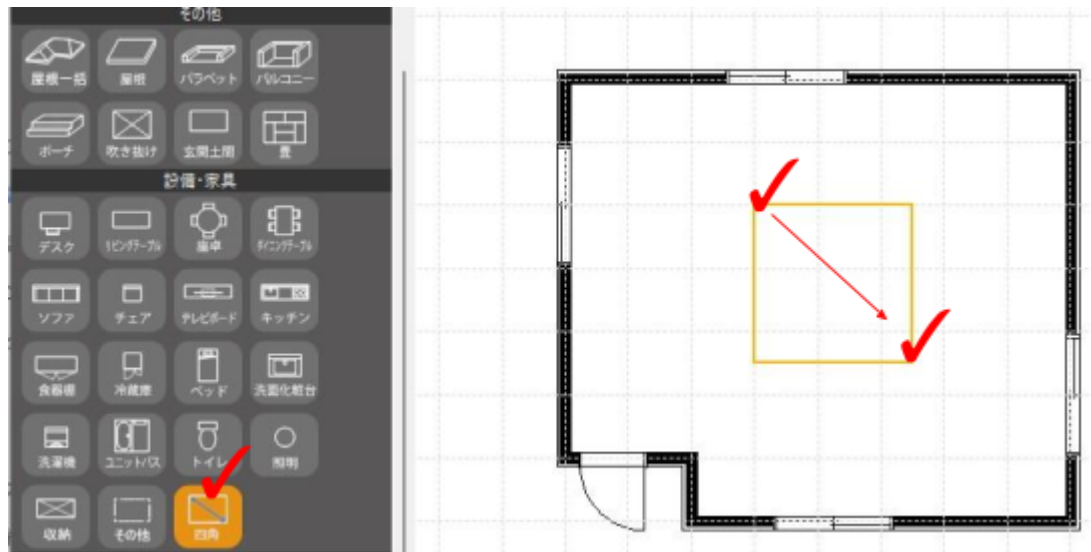


3. 配置したい場所でクリックして配置します。



四角

他の設備・家具と違い、入力したいサイズをクリックで指定して配置できます。



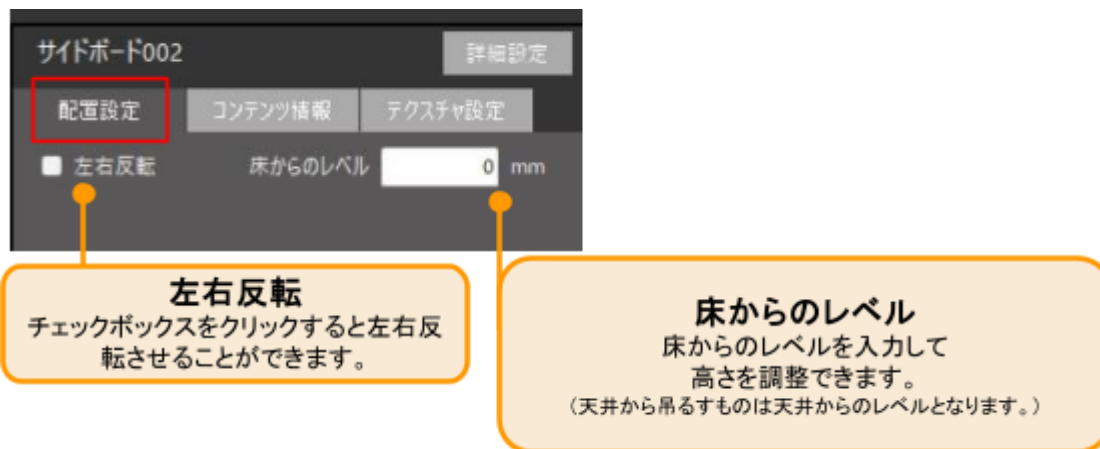
設備・家具で登録がないものでも簡易的に表現することができます。

詳細設定



カーソルツールで設置した家具を選択すると、右側の画面で詳細設定ができます。

配置設定



左右反転

チェックボックスをクリックすると左右反転させることができます。

左右反転

床からのレベルを入力して高さを調整できます。
(天井から吊るすものは天井からのレベルとなります。)

コンテンツ情報

サイドボード002		詳細設定
配置設定	コンテンツ情報	テクスチャ設定
基本図形		
幅	895	mm
奥行	400	mm
高さ	925	mm

数値入力して選択したもののサイズを変更できます。

テクスチャ設定

サイドボード002

配置設定 コンテンツ情報 テクスチャ設定

テクスチャセット ダークブラウン

個別設定

- 本体
- 取手
- ガラス

テクスチャ選択

- ダーク ブラウン001縦
- ベージュ001縦

テクスチャセット
登録されているテクスチャの組み合わせを選択できます。

個別設定 (部材選択)
個別でテクスチャ設定をしたい部材を選択します。

個別設定 (テクスチャ選択)
設定したいテクスチャを選択します。
テクスチャ名をクリックしてから
チェックボックスをクリックしてください。

テクスチャセット

登録されているテクスチャの組み合わせを選択できます。

個別設定 (部材選択)

個別でテクスチャ設定をしたい部材を選択します。

個別設定 (テクスチャ選択)

設定したいテクスチャを選択します。

テクスチャ名をクリックしてからチェックボックスをクリックしてください。

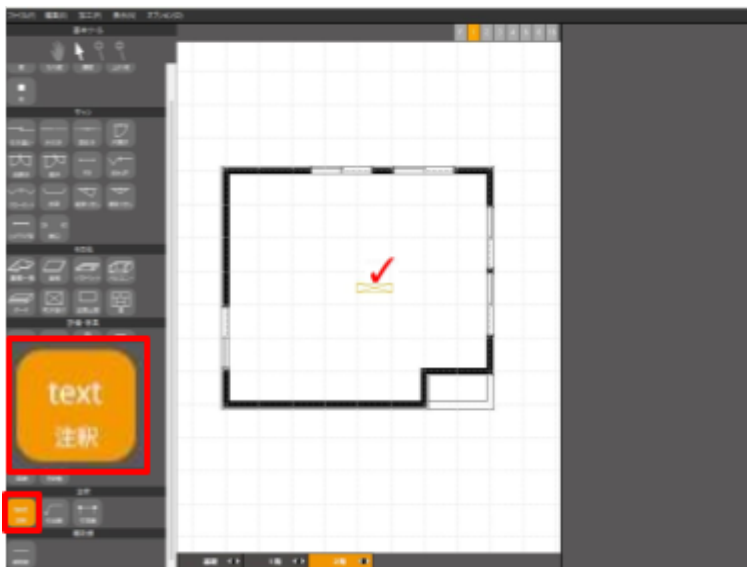
注釈



注釈

入力方法

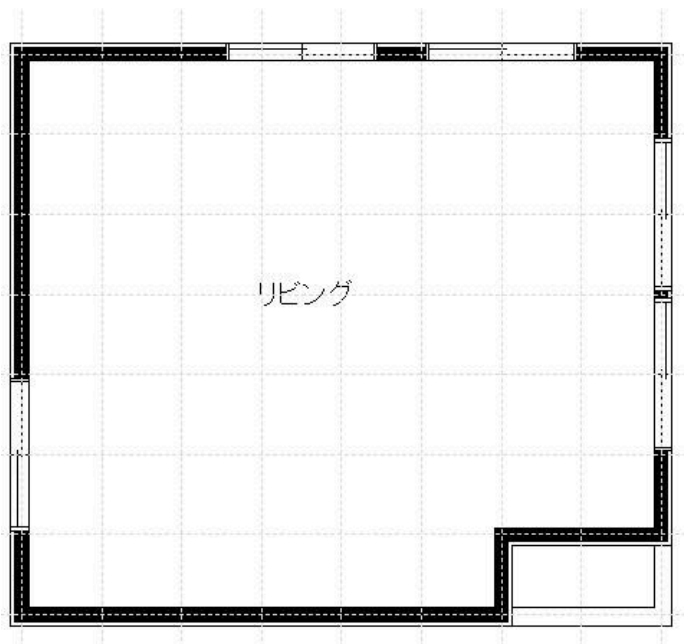
1. 注釈ボタンをクリックし、注釈を配置したい場所でクリックします。



2. 文字を入力します。
左下のボタンでフォント設定やカラー設定ができます。



3. OKボタンをクリックすると注釈文字が配置されます。



4. 作成が終わったら矢印ツールに戻しておきましょう。

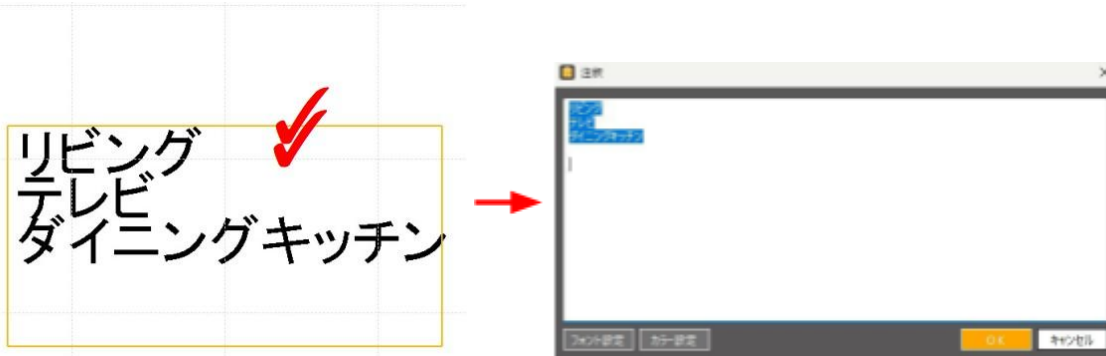


詳細設定

入力した注釈を選択すると、画面右側で文字の位置を調整できます。
文字が2段以上ある場合に、文字を寄せる位置を調整できます。



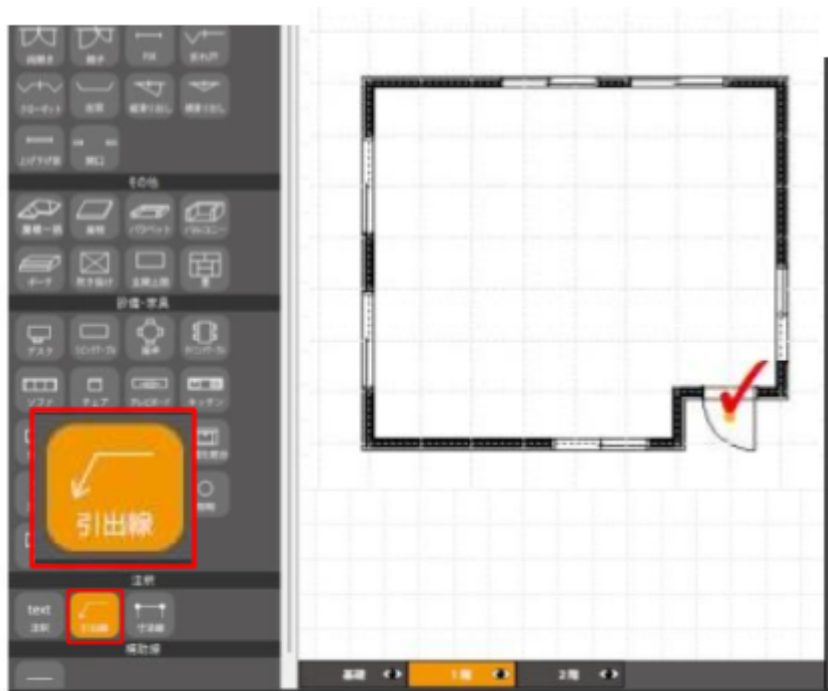
文字をダブルクリックすると編集画面が開きます。



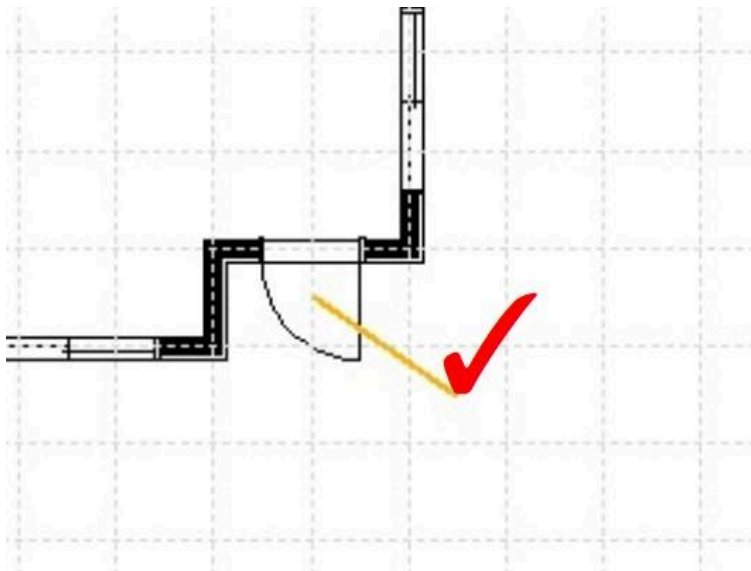
引出線

入力方法

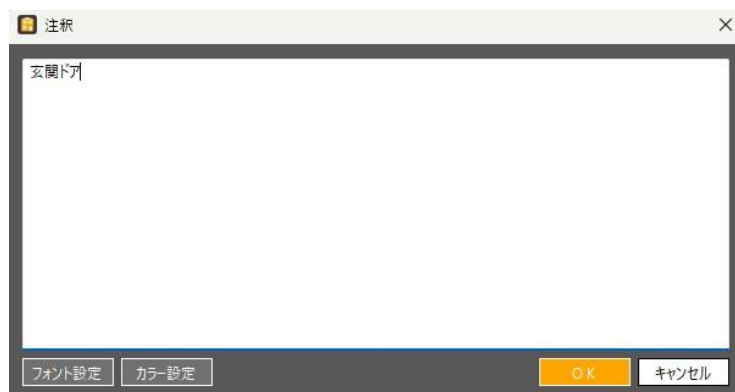
1. 引出線ボタンをクリックし、引出線の矢印の先をクリックで指定します。



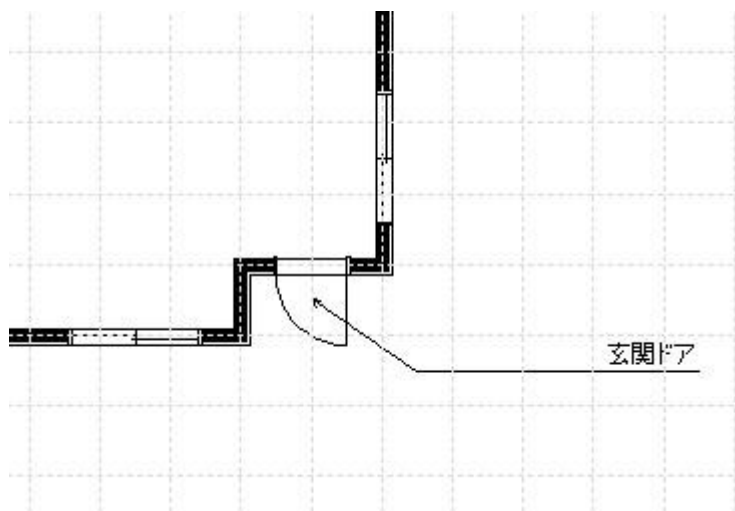
2. 線が折れる位置をクリックして指定します。



3. 文字を入力します。
左下のボタンでフォント設定やカラー設定ができます。



4. OKをクリックすると引出線が配置されます。



5. 作成が終わったら矢印ツールに戻しておきましょう。

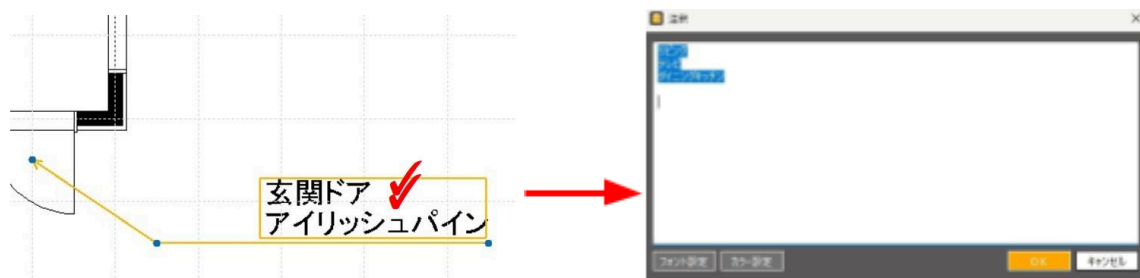


詳細設定

入力した注釈を選択すると、画面右側で文字の位置を調整できます。
文字が2段以上ある場合に、文字を寄せる位置を調整できます。



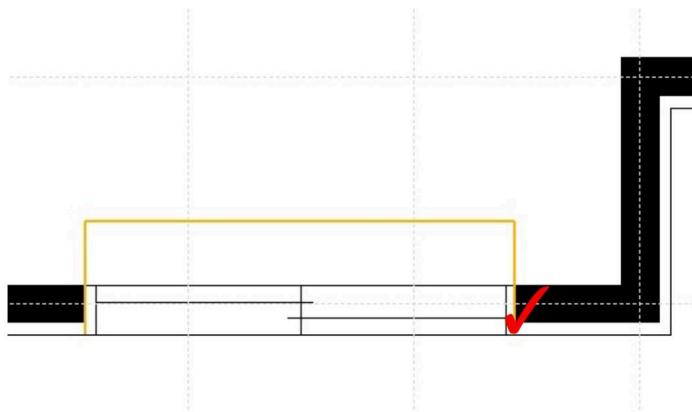
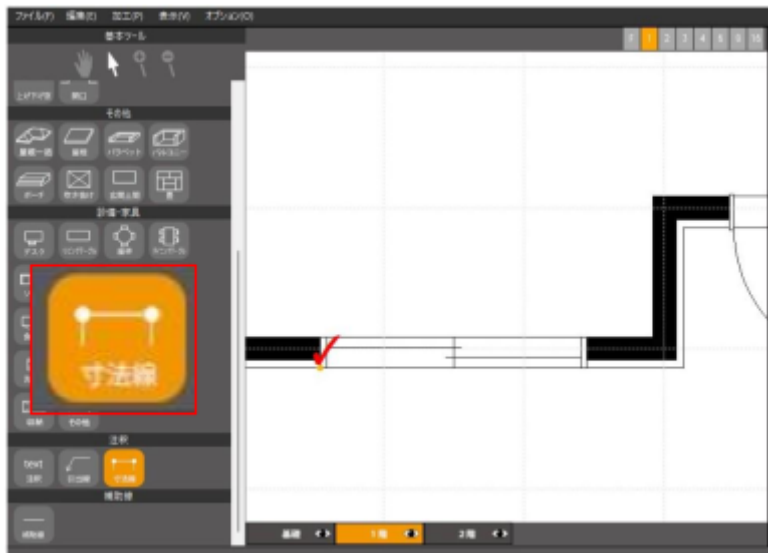
文字をダブルクリックすると編集画面が開きます。



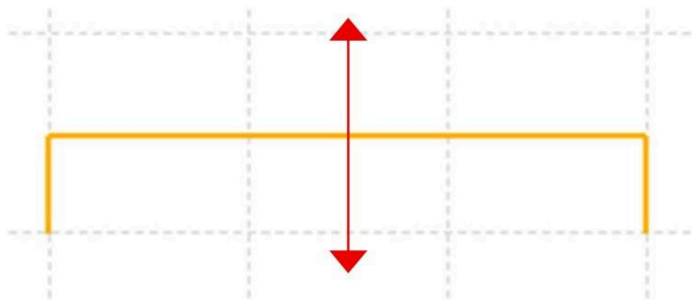
寸法線

入力方法

1. 寸法線ボタンをクリックし、寸法を表記したい範囲の両端をクリックします。



2. 寸法線を配置したい向きになるようにマウスを動かし、クリックして配置します。



配置したい向きを確定させる前に、近くの寸法線の先端か黒点の部分にマウスをあててからクリックすると、その寸法線とくっつけて配置することもできます。

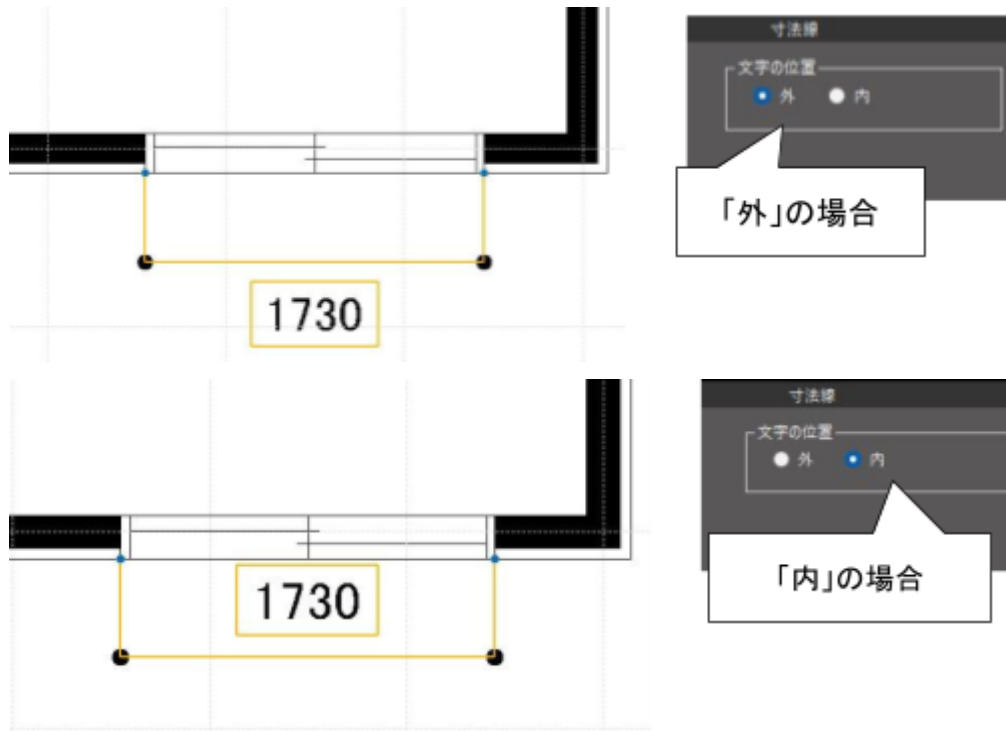


作成が終わったら矢印ツールに戻しておきましょう。



詳細設定

入力した寸法線を選択すると、画面右側で文字の位置を調整できます。
寸法の数字が外にくるか、内にくるかを調整できます。



文字をダブルクリックすると数字を変更することができます。
(数値以外は入力できません。別途注釈をご利用下さい。)
左下のボタンでフォント設定やカラー設定ができます。

